

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習 I	a		17101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
南 夏世	必修	2				

### 授業の到達目標

日常生活の中には、音や音楽があふれている。つまり人間が存在するということはそこに音があり、音楽とともに生きていくということである。そんな音や音楽の研究を通して自分の知見を広げ、発表や意見交換を重ねながら、研究すること、論文を書くことの基本を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

演習 I では、自分と関わりのある身近な音や音楽、または音楽教育に関わる文献を読み、発表や意見交換を通して、文章力やプレゼンテーション力を高めるとともに自分の知識や興味の幅を広げる。また、自らが探求したい研究テーマを模索し、研究方法を学修する。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 研究の方法 1
- 3 文献購読
- 4 文献購読
- 5 文献購読
- 6 文献購読
- 7 各自の研究テーマについて
- 8 音・音楽の研究
- 9 研究の方法 2
- 10 個人研究のリサーチと発表
- 11 個人研究のリサーチと発表
- 12 個人研究のリサーチと発表
- 13 個人研究のリサーチと発表
- 14 研究の方法 3
- 15 まとめと次期に向けて
- 16

### 授業の方法

講義、プレゼンテーション、ディスカッションを均等に実施する。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①課題の提出
- ②平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

学内の規定に準ずる。

### テキスト

必要に応じて、提示・紹介する。

### 参考図書

必要に応じて、提示・紹介する。

### 留意事項

課題の提出等は、定められた締め切りを守ること。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習 I	b		17101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

### 授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、問題意識を持って具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

### 授業の概要

様々な心理臨床領域における心理学論文の研究論文を文献講読する。学生が各自、関連する文献を収集・要約・発表し、その研究方法や課題について話し合う中で、各自の卒業研究のテーマを見出す機会を設ける。要約文は各自毎回提出とする。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 全員で共通の文献講読 1
- 3 全員で共通の文献講読 2
- 4 全員で共通の文献講読 3
- 5 共同研究のためのリサーチの準備
- 6 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 7 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 8 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 9 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 10 リサーチ・結果の処理・データ入力
- 11 リサーチ・結果をまとめて各自で発表原稿を作成
- 12 共同研究の発表の準備
- 13 共同研究の発表の準備
- 14 共同研究の発表の準備
- 15 全体の振り返りと、個人のテーマの評価

### 授業の方法

教材とする研究論文を熟読することで、研究論文のスタイルについて学ぶ。また、自分の関心のあるテーマや研究法を探しながら、要約文を作成し、発表することで、論文作成に必要な姿勢を身に付ける。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

共同研究への取り組みと課題の提出状況を評価する。

### 欠席について

一回の欠席につき5点、遅刻は2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

### テキスト

適宜紹介する。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

課題は毎回の授業で提出とする。心理統計法を受講していることが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	b		17105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

### 授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

### 授業の概要

卒業研究の作成に向けての文献の収集・要約・調査などを行う。自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、共同研究を通じて必要な研究法・手続きについて学び、最後に自分の研究テーマと研究計画の設定を試みる。要約文は毎回提出とする。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 共同研究発表の準備
- 3 共同研究発表の準備
- 4 共同研究発表の準備・反省会
- 5 各自のリサーチ発表1
- 6 各自のリサーチ発表2
- 7 各自のリサーチ発表3
- 8 研究法・手続きについての話し合い1
- 9 研究法・手続きについての話し合い2
- 10 各自のリサーチ発表4
- 11 各自のリサーチ発表5
- 12 各自の研究計画の立案と発表4
- 13 各自の研究計画の立案と発表5
- 14 卒業研究発表・質疑応答の練習
- 15 まとめ

### 授業の方法

共同研究の発表後、各自で論文のリサーチ・要約・発表を実施し、論文作成に必要な研究法や手続き、調査を実際に体験する。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

共同研究への取り組みの状況と、毎回の提出課題を評価の対象とする。

### 欠席について

欠席は1回につき5点、遅刻は2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

### テキスト

受講生の提出する論文の要約文を元に文献講読を実施するため、テキストはその都度適宜紹介することとする。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

課題は毎週提出とする。心理統計法を受講していることが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	c		17105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳	必修	2				

### 授業の到達目標

個人の研究テーマを決定し、文献の収集、調査、考察を行う。個人の研究でありながらも、社会や保育・教育現場に貢献できる研究となるような意識をもち、状況把握力や課題解決力を養う。卒業研究の作成に向けて研究計画を立て、問いについて明らかにしていく。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

演習Ⅰでの学びや個人研究の調査・発表を通して、研究テーマを決定する。卒業研究の作成に向けて、具体的に研究計画を立てる。研究計画に沿って、必要な文献の収集、調査、考察を行う。中間発表を行い、個人の研究に多角的な意見を踏まえて卒業研究に向け調査や視点を深める。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 演習Ⅱの進め方や個々の方向性の共有
- 3 研究のためのディスカッション(1)
- 4 研究のためのディスカッション(2)
- 5 研究のためのディスカッション(3)
- 6 グループ発表
- 7 研究の調査活動とディスカッション(1)
- 8 研究の調査活動とディスカッション(2)
- 9 研究の調査活動とディスカッション(3)
- 10 研究のためのフィールドワーク(1)
- 11 研究のためのフィールドワーク(2)
- 12 個人研究のミニポスター発表
- 13 調査の方法について
- 14 研究計画や研究方法の仮作成
- 15 まとめ

### 授業の方法

ディスカッションを中心とする。個人研究テーマ決定後、個別に指導を行う。中間発表を行い、多様な意見を聞き更なる調べにつなげる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業内でフィードバックや助言を行う。平常点70%、定期試験30%で評価する。

### 欠席について

学内規定に準ずる。

### テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

主体的に授業や課題に取り組み、他の意見にも耳を傾け自らの研究に活かすこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認すること。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	c		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

演習Ⅱで見出した研究テーマと研究計画に基づき、具体的な調査を通して研究テーマに迫る。そのため、的確なデータの収集と分析を行い考察を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、E（倫理）を養う。

### 授業の概要

研究計画に沿って、先行文献調査と実地調査の両方を実施する。また、適切な調査方法や分析方法について解説し、各自の調査を指導・支援する。調査結果についての発表や討議を踏まえ、今後の研究の見直しをもつようにする。

### 授業計画

- 1 演習Ⅲの進め方について
- 2 卒業研究・論文のまとめ方について
- 3 研究対象と調査期間について
- 4 研究方法と分析方法について
- 5 調査の進捗報告と討議①
- 6 調査の進捗報告と討議②
- 7 各自の先行文献調査のまとめ①
- 8 各自の先行文献調査のまとめ②
- 9 「問題と目的」の発表・討議①
- 10 「問題と目的」の発表・討議②
- 11 「研究方法」の発表・討議①
- 12 「研究方法」の発表・討議②
- 13 仮説と今後の見直しについて発表・調整①
- 14 仮説と今後の見直しについて発表・調整②
- 15 まとめを行ってから試験をする
- 16

### 授業の方法

各自の報告内容が授業の根幹となる。全体討議では積極的に自己の発表や他者への助言を行い学び合う姿勢を重視する。互いに研究推進へのよい刺激を受け、研究意欲と研究内容を高め合うようにする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う
- ②平常点70%、定期試験30%
- ③卒業研究ルーブリックに中間自己評価を記入する

### 欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点とする。

### テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

各自で研究推進への確かな目標をもち、質的・量的調査について計画的に進めること。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	d		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

### 授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

### 授業の概要

卒業研究の作成に向けて文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。各自が自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、紹介する機会を通じて、自分の研究テーマと研究計画を作成する。心理学研究方法や分析の方法についても復習する。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 リサーチ1・発表・ディスカッション1
- 3 リサーチ2
- 4 リサーチ3
- 5 リサーチ4
- 6 各自の研究の問題と目的について設定・発表
- 7 各自の研究の手法、調査、手続きについて進行報告、ディスカッション1
- 8 進行報告2
- 9 進行報告3
- 10 調査報告1
- 11 調査報告2
- 12 調査報告3
- 13 結果のまとめ方について1
- 14 結果のまとめ方について2
- 15 結果のまとめ方について3

### 授業の方法

卒業研究の作成に向けて文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。各自が自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、紹介する機会を通じて、自分の研究テーマと研究計画を作成する。心理学研究方法や分析の方法についても復習する。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

毎週の課題の提出状況と演習への参加状況を評価の対象とする。

### 欠席について

欠席1回につき5点、遅刻1回につき2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

### テキスト

各受講生の研究テーマに応じて、適宜紹介する。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

課題の提出は毎週とする。心理統計法を受講していることが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	c		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

演習Ⅲに引き続き、具体的な調査結果に基づき考察を繰り返し、卒業研究としてまとめる。様々な視点から研究を見直すことや見解の違いを受け入れ、改善に向けて努力する。そして、自己の研究内容を高めるようにする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）A（自律）I（知性）E（倫理）を養う。

### 授業の概要

各自の調査における分析結果を発表・討議する。他者の考え方や見方、分析結果の読み取り方に触れることで、客観性をもたせ、考察をより深めるようにする。

### 授業計画

- 1 分析結果報告・仮説の検証①
- 2 分析結果報告・仮説の検証②
- 3 分析結果と考察①
- 4 分析結果と考察②
- 5 分析結果と考察③
- 6 分析結果と考察④
- 7 分析結果と考察⑤
- 8 研究のまとめと総合考察①
- 9 研究のまとめと総合考察②
- 10 今後の課題について
- 11 分析結果一覧表の作成
- 12 卒業研究の校正①
- 13 卒業研究の校正②
- 14 最終発表と調整
- 15 まとめ
- 16

### 授業の方法

各自の調査結果の報告とその読み取りに関して、個人やグループでの発表・討議を通して考察を深める。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う
- ②平常点70%、定期試験30%
- ③卒業研究ルーブリックに最終自己評価を記入する

### 欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点する。

### テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

口頭試問まで主体的に取り組み、研究に対する意欲と責任感を持ち続けること。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	d		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

### 授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

### 授業の概要

卒業研究作成のために、全体指導と個別指導を実施する。研究経過の発表や討議を重ねながら、卒業研究を完成させる。

### 授業計画

- 1 調査結果のまとめ1
- 2 調査結果のまとめ2
- 3 調査結果のまとめ3
- 4 結果報告1
- 5 結果報告2
- 6 結果報告3
- 7 結果報告4
- 8 まとめと考察1
- 9 まとめと考察2
- 10 まとめと考察3
- 11 要約作成・発表1
- 12 要約作成・発表2
- 13 要約作成・発表3
- 14 研究発表1
- 15 研究発表2

### 授業の方法

卒業研究の進捗状況の報告、プレゼンテーションと質疑応答が中心となる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

課題の提出状況、演習への参加状況を評価の対象とする。

### 欠席について

1回の欠席につき5点、遅刻につき2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

### テキスト

受講生の研究テーマに応じて適宜紹介する。

### 参考図書

適宜紹介する

### 留意事項

心理統計法を受講していることが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学概論		17327	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

臨床心理学の誕生から現在までの歴史の変遷を概観し、臨床心理学の代表的な理論について学習する。その上で、臨床心理学の実際として、心理アセスメントと基本的な心理療法について学ぶ。そして最終的に、臨床心理学における基礎知識とさらに、臨床心理学的に人間を理解するという視点を獲得する事を目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

本講義では、臨床心理学の成り立ちを歴史の変遷を通して概観し、その発展を支え、臨床心理学の基礎となった代表的な学者の理論（人格理論・精神発達理論）を中心に解説していく。また、実際の臨床場面において使われている心理アセスメントや代表的な心理療法についても紹介していく。そして、最終的に臨床心理学的観点から人間を理解するという点について考えてもらう。

### 授業計画

- 1 臨床心理学とは
- 2 臨床心理学の成り立ち
- 3 こころのしくみとパーソナリティ①フロイトの考え方
- 4 こころのしくみとパーソナリティ②ユングの考え方
- 5 こころの発達理論①エリクソンの考え方
- 6 こころの発達理論②クラインの考え方
- 7 こころの発達理論③マラーの考え方
- 8 こころの発達理論④ウイニコットの考え方
- 9 臨床心理学の実際ー心理アセスメントについて
- 10 臨床心理学の実際ー心理療法とは
- 11 心理療法①精神分析療法・分析心理学派
- 12 心理療法②クライエント中心療法
- 13 心理療法③森田療法・内観療法・遊戯療法
- 14 心理療法④芸術療法・認知行動療法・家族療法
- 15 総括・テスト

### 授業の方法

講義を中心に進めていくが、授業時間中にわからなかったところなどを確認するために、感想レポートなどの提出も適宜課していく。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

実習などの特別な欠席を除き、1回の欠席につき、2点を減点する。

### テキスト

特に決まったテキストは用いない。

### 参考図書

授業の中でその都度紹介する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
知覚・認知心理学		17331	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士		

### 授業の到達目標

人間が身体と心を動員して環境に臨むなかで、それを知覚し、判断し、行動するシステムが機能することを、その成り立ちとともに解説し、人間が「環境内存在」であることの理解を深める。人の感覚・知覚等の機序及びその障害、また、人の認知・思考等の機序及びその障害についても理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

見る、聞く、触れる、思考する、記憶するという人間の基本的な精神機能は、常に主体と環境との連続した循環的な反応の環のなかで実現している。人間が能動的かつ協同的な存在であるがゆえに、これらの基本的な機能は実現されているということを、心理学的システムとして理解し、その成り立ちについて、進化心理学的あるいは発生心理学的な視点から考察していく。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 人間の知覚的特性:視覚
- 3 人間の知覚的特性:聴覚
- 4 人間の知覚的特性:運動感覚と認知
- 5 人間の知覚的特性:空間知覚
- 6 注意と記憶 1
- 7 注意と記憶 2
- 8 イメージ処理
- 9 言語と談話理解 1
- 10 言語と談話理解 2
- 11 推論と問題解決
- 12 思考と言語 1
- 13 思考と言語 2
- 14 社会的認知
- 15 まとめと期末テスト

### 授業の方法

講義と単元内容に相当した、感覚、知覚、文章記憶、意味表象、物語認知、出来事認知、日常の問題解決などについての課題に実験などの活動を通じて毎時間回答しながら学習をすすめる。レポート作

成が課題となる。また小テストも実施する。

### 準備学修

心理学概論で学んだ感覚、知覚、記憶、思考などの基本的な概念をよく理解しておくこと。Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

一回の欠席で3点、遅刻で2点の減点とし、5回以上の欠席は不合格とする。

### テキスト

『心理学の最先端』末田啓二編著 あいり出版 2013

### 留意事項

毎週実験を実施するため、欠席した場合は必ず補習を受け、実験レポートを提出すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理的アセスメント		17344	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士		

### 授業の到達目標

心理的アセスメントの目的及び倫理、そして心理的アセスメントの観点及び展開について学ぶ。心理的アセスメントの方法（観察、面接及び心理検査）を実際に体験し、その分析結果を適切な記録及び報告としてまとめることが出来るようになる。基本的な心理検査を通じて自己分析し、自己理解につなげる。また、子ども理解を深めるために、子どもの発達状況を捉える発達検査や知能検査について知り、実施方法を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

基本的な心理検査・発達検査・知能検査等を、検査者・被検査者の両方の立場で体験し、検査の背景・実施方法・検査結果のまとめ方を学び、身に付ける。課題ごとに検査結果の所見をレポートにして提出する。

### 授業計画

- 1 はじめに：心理検査法概論
- 2 東大式エゴグラム
- 3 矢田部・ギルフォード性格検査
- 4 コーネルメディカルインデックス
- 5 BIG FIVE尺度
- 6 津守・稲毛式乳幼児発達診断1
- 7 津守・稲毛式乳幼児発達診断2
- 8 遠城寺式乳幼児分析的発達診断検査
- 9 新版K式発達検査①
- 10 新版K式発達検査②
- 11 新版K式発達検査③
- 12 WISC知能検査①
- 13 WISC知能検査②
- 14 WISC知能検査③
- 15 総括・期末試験

### 授業の方法

毎回テーマとなる検査を実施し、検査結果の所見をレポートで提出させる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

全てのレポート作成と提出で合格となるため、欠席は認められない。やむを得ず欠席した場合は必ず教員指定の日時に補習を受けること。

### テキスト

資料を毎回の授業中に配布予定。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

検査についての事前学習・事後学習を行い、理解を深めること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。オフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理調査・データ処理法		17345	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
新美 裕之	選択	2	認知症専門病院の心理師、児童心理治療施設・児童養護施設の主任セラピスト、臨床心理士・公認心理師		

### 授業の到達目標

- ・心理学における調査法の基本的な考え方を理解する。
- ・実際に調査を行い、得られたデータを統計的な解析に持ち込み、評価できるまでの心理統計的な技法と理論を活用する力を身につける。
- ・このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

心理学研究法のとりわけ調査法について、統計的な手法を用い、データ解析を取り入れた研究方法について学ぶ。論文などの具体的な調査を参考にしつつ、調査の実施法について、問題の設定、質問紙の作成、データの収集、統計解析手法、結果の解釈、結果の表現にいたるまでのプロセスを実践的に学んでゆく。また、その際に必要な研究倫理についても学ぶ。

### 授業計画

- 1 質問紙法による人間理解：心理学の各研究法の特徴について学ぶ
- 2 質問紙作成の基礎：心理学の各研究法の特徴と各研究法の長所と短所について、比較しながら学ぶ
- 3 質問紙法の実施方法①：項目作成の基礎と、回答方法の種類について学ぶ
- 4 質問紙法の実施方法②：質問紙法の実施法、特にサンプリングの方法について学ぶ
- 5 質問紙法の実施方法③：質問紙法の実施法の種類と長所・短所、また研究における倫理などについても学ぶ
- 6 コーディングと入力：コーディングと入力の仕方について学ぶ
- 7 心理尺度の作成：心理尺度の作成と、尺度の信頼性と妥当性について学ぶ
- 8 量的資料収集のための質問紙作成：量的資料収集のための質問紙の作成について学ぶ
- 9 質的資料収集のための質問紙作成：質的資料収集のための質問紙の作成、文章完成法と自由記述法を学ぶ
- 10 心理尺度の作成：項目分析と信頼性と妥当性の検討について学ぶ
- 11 データの処理法①質的データの集計：実際のデータを用いながら、質的データの取り扱いについて学ぶ
- 12 データの処理法②平均値の比較：平均値の比較について、t検定を

### 学ぶ

- 13 データの処理法③相関分析：相関分析について学ぶ
- 14 質問紙法の実践：質問紙法の実践について学ぶ
- 15 質問紙法のまとめ：授業の振り返り、まとめを行う

### 授業の方法

単元内容に相応した、質問紙の作成、調査の実施、統計などの具体的な手順を教科書を中心に、レジュメ等の資料を用いて講義形式で学習を進める。

### 準備学修

webで参照すること

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

通常欠席は5回を超えると不合格とする。遅刻・早退は減点する。特例欠席において、補填を希望する場合には、必ずその旨を申し出ること。

### テキスト

鎌原雅彦・宮下一博・大野木裕明・中澤潤 1998 心理学マニュアル 1 質問紙法 北大路書房

### 留意事項

この講義を受講する学生は「情報リテラシーⅡ」「統計学入門」および「心理統計学」についても受講すること。授業はテキストに沿って進めるため、テキストを購入すること。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学実習（心理テスト法）		17375	Ⅲ	春	※1名/1グループ
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	1	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、小・中スクールカウンセラー（神戸市）		

### 授業の到達目標

心理臨床現場（保健所、児童相談所、病院など）における幼児期の発達状況を捉え発達検査や心理判定の際に役立つ基本的な心理検査について知り、身につけることを目標とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

各心理検査の意図を理解し、各心理検査において検査場面を想定したロールプレイを行い、検査者と被検査者のそれぞれを体験し、検査の実施方法や検査結果のまとめ方を学び、身につける。課題ごとに検査結果の所見をレポートにして提出する。

### 授業計画

- 1 はじめに 心理テスト概論
- 2 心理検査法実習の復習
- 3 P-Fスタディ①
- 4 P-Fスタディ②
- 5 文章完成法 SCT
- 6 内田クレペリン作業検査
- 7 新版K式発達検査④
- 8 新版K式発達検査⑤
- 9 WISC知能検査④
- 10 WISC知能検査⑤
- 11 バウムテスト
- 12 風景構成法
- 13 スクイグル法
- 14 箱庭療法①
- 15 箱庭療法②・統括・期末テスト

### 授業の方法

実習形式で行い、検査結果を分析し、所見をレポートで提出させる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

実習なので、基本欠席は認めない。

### テキスト

授業中に資料配布する。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

定員20名までとし、超過する場合は資格取得予定者を優先する。レポート課題の提出は、実習の翌週とする。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学的支援法		17383	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	1	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

本授業では、心理学的支援とは何かについて学ぶ。代表的な心理療法並びに、カウンセリングの歴史、概念、意義、について学び、さらにそれらの適応及び限界についても触れる。その際、適宜事例も紹介していく。また、今後ますます必要になってくると思われる訪問による支援や地域支援の意義、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援の重要性についても学ぶ。そして、心理学的支援を行う上で必要な、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について、プライバシーへの配慮に触れながら実習などを通して学ぶ。心の健康教育の重要性についても考える。このクラスでは、海星パーソナリティのK（思いやり）とA（自律）を養う。

### 授業の概要

心理学的支援について、①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応、及び限界、②訪問による支援や地域支援の意義、③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、④プライバシーへの配慮、⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援、⑥心の健康教育、を中心に講義と実習（グループワーク、ペアワーク）を通して心理学的支援とは何かについて学ぶ。

### 授業計画

- 1 心理療法とカウンセリング①
- 2 心理療法とカウンセリング②
- 3 心理療法とカウンセリング③
- 4 心理療法とカウンセリング④
- 5 信頼実習
- 6 助言の実習
- 7 心理学的支援におけるプライバシーへの配慮
- 8 地域支援と訪問支援
- 9 「宝探しの地図」実習
- 10 心理学的支援を要する人の関係者に対する支援
- 11 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション
- 12 コンセンサスの実習
- 13 「共感」実習
- 14 「純粋性」実習
- 15 心の健康教育

### 授業の方法

講義と実習（グループ、ペア）を中心とする。実習の後には振り返りを行い、それを基にレポートを提出してもらう。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①グループ実習やペア実習の後には、講義の中で振り返りを行い、レポートの提出を求める。
- ②平常点70%、定期試験30%にて評価を行う。

### 欠席について

連絡なしの欠席は大幅な減点の対象とする。

### テキスト

特に用いない。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理演習		17839	IV	秋	副心理師資格 10名まで 履修可能
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員(神戸市教育委員会)、スクールカウンセラー(神戸市)、施設心理士		

### 授業の到達目標

医療機関・福祉施設・教育機関等での臨床心理士または心理専門職としての心理支援に関する実務経験をもとに具体的な場面を設定した演習を実施し、公認心理師として必要とされる知識及び技能の基本的な水準の習得を目的とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI(知性)とE(倫理)を養う。

### 授業の概要

心理に関する支援を要する者等に関するコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等の知識及び技能の習得、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について、具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイ)や事例検討等を実施する。

### 授業計画

- オリエンテーション  
対人支援者としての姿勢、公認心理師としての職業倫理及び法的義務を理解する
- コミュニケーション実習(1) 非言語的交流  
身なり、他者に添う動き、姿勢、距離、アイコンタクト等の非言語的交流の意識化を行い、話し手が話を聴いてもらえていると感じる関わりについて学ぶ。
- コミュニケーション実習(2) 傾聴と応答  
あいづち、短い言葉の応答のみを行いながら、相手の話しを傾聴し、話し手の気持ち、感情を理解する。
- コミュニケーション実習(3) 傾聴とストーリー理解  
傾聴後、大切と思われる箇所を相手の言葉を使用して短い言葉でのみ返し、理解の確認、質問、話の焦点づけを行いながらストーリーを理解する。
- コミュニケーション実習(4) 傾聴とストーリー理解の伝え直し  
実習(1)～(3)で学んだことを総合し、話し手の伝えたい感情や内容を、相手の言葉を用いてストーリーとして伝え返す関わり方について学ぶ。
- 心理面接のロールプレイング(1)  
CI役、CIの観察者役、Th役、Thの観察者役、全体の観察者役になり、ロールプレイングを行い、その後フィードバックを行う。
- 心理面接のロールプレイング(2)  
CI役、CIの観察者役、Th役、Thの観察者役、全体の観察者役になり、ロールプレイングを行い、その後フィードバックを行う。
- 心理検査のロールプレイング(1) 質問紙法  
心理検査の準備、ラポールの持ち方、施行、フィードバックについて学ぶ。施行者、受検者、観察者役をつけて、話し合いとフィードバックを行う。
- 心理検査のロールプレイング(2) 描画法  
心理検査の準備、ラポールのつけ方、施行、フィードバックについて学ぶ。施行者、受検者、観察者役をつけて、話し合いとフィードバックを行う。
- 心理検査のロールプレイング(3) 投影法  
心理検査の準備、ラポールのつけ方、施行、フィードバックについて学ぶ。施行者、受検者、観察者役をつけて、話し合いとフィードバックを行う。

- 事例の理解(1)  
保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働、その他の分野からの事例報告を通して、支援を要する者等への理解とニーズの把握、および支援計画の作成について学ぶ。
- 事例の理解(2)  
保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働、その他の分野からの事例報告を通して、支援を要する者等への理解とニーズの把握、および支援計画の作成について学ぶ。
- 事例の理解(3)  
保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働、その他の分野からの事例報告を通して、支援を要する者等への理解とニーズの把握、および支援計画の作成について学ぶ。
- 多職種連携と地域支援  
支援を要する者等に対するチームアプローチの意義、および多職種間の連携と地域支援について理解する。
- 総括・振り返り・達成度の評価  
ここまでの授業内容の振り返りを行う。出題された授業内課題を各自行う。

### 授業の方法

講義、ロールプレイング、グループ学習を通して、支援者としての姿勢を身に付けていく。逐語記録の提出等の課題作業もある。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

2～10回はロールプレイ等への積極的参加、授業終了時の達成度、授業内・事後課題がある場合にはその内容を評価する  
11～14回は事例検討への積極的参加、授業内・事後課題がある場合にはその内容を評価する  
15回は授業内に行う課題を評価する  
評価の配分は2～14回が各回7点満点、15回が9点満点とする。

### 欠席について

欠席は認められない。やむを得ず欠席した場合は必ず教員指定の日時に補習を受けること。

### テキスト

資料を毎回の授業中に配布予定。

### 参考図書

プロカウンセラーの聞く技術、東山紘久著、創元社

### 留意事項

公認心理師養成大学院受験予定者は受講すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。オフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
公認心理師の職責		17843	IV	春	副心理師資格 10名まで 履修可能
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員(神戸市教育委員会)、スクールカウンセラー(神戸市)、施設心理士		

### 授業の到達目標

公認心理師が担う職務と責任の内容を理解し、公認心理師を目指すための基礎的な知識を習得する。

- 公認心理師の役割について理解し、法的義務や倫理、チーム支援、守秘義務のあり方等についての知識を身につける。
- 保健医療、福祉、教育、司法・矯正、産業・労働分野における公認心理師の具体的な業務の内容について理解し、説明できる。
- 心理的援助者としての自己の課題に向き合い、課題解決能力を身につけるのに必要なことを考え、生涯学習の準備に取り組んでいる態度を獲得する。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)I(知性)とE(倫理)を養う。

### 授業の概要

公認心理師の学びの導入として、公認心理師の職責に求められる8つの事項を踏まえた授業内容となる。8つの事項は次のとおりである。「①. 公認心理師の役割」「②. 公認心理師の法的義務及び倫理」「③. 心理に関する支援を要する者等の安全の確保」「④. 情報の適切な取り扱い」「⑤. 保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務」「⑥. 自己課題発見・解決能力」「⑦. 生涯学習への準備」「⑧. 多職種連携及び地域連携」

### 授業計画

- オリエンテーション
- 心理学的支援の歴史 心理学・臨床心理学の成り立ちについての振り返り
- 公認心理師の役割 公認心理師法
- 公認心理師の法的義務・倫理
- 公認心理師の職業倫理
- 心理に関する支援を要する者等の安全の確保
- 情報の適切な取り扱いについて  
守秘義務 個人情報保護
- 情報共有・連携について  
多職種連携・地域連携 多職種連携 地域連携 生物・心理・社会モデル
- 公認心理師の業務①  
保健医療分野における公認心理師の具体的な業務

- 公認心理師の業務②  
福祉分野における公認心理師の具体的な業務
- 公認心理師の業務③  
教育分野における公認心理師の具体的な業務
- 公認心理師の業務④  
司法・犯罪分野における公認心理師の具体的な業務
- 公認心理師の業務⑤  
産業・労働分野における公認心理師の具体的な業務
- 問題解決能力と生涯学習
- 期末試験

### 授業の方法

テキストを中心にした講義形式である。リサーチしたことを発表する時間も設定する。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

1回の欠席につき平常点より3点減点、遅刻は2点減点となる。

### テキスト

野島一彦編 公認心理師の職責 遠見書房 2018

### 留意事項

- 公認心理師養成大学院受験予定者は受講すること。
- 事例等を活用した倫理問題などを扱うこともあるので、受講者はしっかりとプライバシー保護の意識をもって授業に臨むこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。オフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。



専門基礎科目〈専門基礎科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
発達心理学			17201	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	必修	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員			

### 授業の到達目標

人間の心身の発達と行動を、完成されたものとして丹念に記述するだけでなく、それが現状に至る経緯を跡付けるとともに、現在も変化あるものとして捉え、その形成を実践の中で支援することができる視点を育成する。特に以下の点を重視する。

1 認知機能の発達 2 自己と他者との関係の在り方と心理的発達 3 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 4 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 5 高齢者の心理  
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)、I(知性)、E(倫理)を養う。

### 授業の概要

人間の心身は、他者を含む環境との相互的関わりを通して発達していくことを、代表的な発達・学習理論を通じて紹介していく。また、精神活動の成立と展開にとつての初期経験の重要性、生涯発達という視点の大切さに触れながら、特に乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達等についての具体的な保育・教育実践の課題を考察する。さらに特に以下の点を重視する。

1 認知機能の発達 2 自己と他者との関係の在り方と心理的発達 3 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 4 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 5 高齢者の心理

### 授業計画

- 1 精神機能を発生的に把握するという事 生物としての発生
- 2 精神機能を発生的に把握するという事 遺伝と環境
- 3 発達段階論とPiagetの発達理論の成立
- 4 知的精神機能の発達:感覚運動期1(新生児期)
- 5 知的精神機能の発達:感覚運動期2(乳幼児期)・運動の発達
- 6 知的精神機能の発達:前操作期1(幼児期)・言語の発達
- 7 知的精神機能の発達:前操作期2(幼児期)・認知の発達
- 8 知的精神機能の発達:具体的操作期(学童期)・動機づけ・集団づくり
- 9 知的精神機能の発達:形式的操作期(学童期・青年期以降) 学習活動の在り方
- 10 初期経験と発達:野生児の例から
- 11 対人関係と発達:愛着、社会性、遊びの発達
- 12 対人関係の発達:コミュニケーション能力の発達

- 13 発達研究における生態学的視点
- 14 発達における障害の位置づけと診断・療育
- 15 人格としての生涯発達およびまとめ
- 16

### 授業の方法

講義と単元内容に相応した発達に関連する課題に毎時間回答しながら学習を進める。

### 準備学修

講義は各回が前回を前提として進められるので、毎回の講義内容をよく復習して授業に臨むようにしてください。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

欠席は1回につき5点の減点とする

### テキスト

必要な場合授業時に指示する

### 参考図書

佐藤眞子編 『人間関係の発達心理学 2 乳幼児期の人間関係』培風館  
川島一夫、渡辺弥生編著 『図で理解する発達-新しい発達心理学への招待-』福村出版 2010

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
感情・人格心理学			17311	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

心理学の様々な理論、人格の形成要因や発達過程、感情が行動におよぼす影響、心の病などの視点から人格とは何かを学び、人間の個性を理解することで人間の心に関する理解を深める。「感情に関する理論及び感情喚起の機序」、「感情が行動に及ぼす影響」、「人格の概念及び形成過程」、「人格の類型、特性等」について学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI(知性)とE(倫理)を学ぶ。

### 授業の概要

人間の行動の仕方には個人差があることから人格という言葉が生まれた。その複雑な個人差を測定する方法を知るとともに、人格の形成過程や人格理論、さらには不適応の問題についても学び、自己と他者のより深い理解をめざす。

### 授業計画

- 1 はじめに:人格の定義と歴史
- 2 人格を理解する観点と理論Ⅰ:理論
- 3 人格を理解する観点と理論Ⅱ:類型論
- 4 人格を理解する観点と理論Ⅲ:特性論
- 5 人格の発達Ⅰ:人格形成の要因
- 6 人格の発達Ⅱ:ライフサイクル
- 7 人格と関係性
- 8 人間関係と性格(適性)
- 9 適性とやる気
- 10 適応と不適応
- 11 パーソナリティと不適応
- 12 交流分析とTEGⅡ他心理査定
- 13 感情とは何かⅠ-感情に関する理論および感情喚起の機序
- 14 感情とは何かⅡ-感情の進化と行動に及ぼす影響
- 15 総括

### 授業の方法

講義とグループワークを中心とする。また、適宜心理検査を紹介する。

### 準備学修

授業後の復習が必要である。

### 課題・評価方法、その他

定期試験(50%)、小レポート(20%)、出席状況(15%)、授業後の感想レポート(15%)

### 欠席について

欠席が5回以上で不合格とする。

### テキスト

適宜プリント資料として配布する。

### 参考図書

詫摩武俊・瀧本孝雄・鈴木乙史・松井豊『性格心理学への招待 自分を知り他者を理解するために』サイエンス社  
大山泰宏・佐々木玲仁『感情・人格心理学』NHK出版

### 留意事項

「授業」は授業者と学生の相互の協力のもとに成立するものであるから、学生諸君は要望、意見を忌憚なく述べて欲しい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学概論		17327	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

臨床心理学の誕生から現在までの歴史の変遷を概観し、臨床心理学の代表的な理論について学習する。その上で、臨床心理学の実際として、心理アセスメントと基本的な心理療法について学ぶ。そして最終的に、臨床心理学における基礎知識とさらに、臨床心理学的に人間を理解するという視点を獲得する事を目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

本講義では、臨床心理学の成り立ちを歴史の変遷を通して概観し、その発展を支え、臨床心理学の基礎となった代表的な学者の理論（人格理論・精神発達理論）を中心に解説していく。また、実際の臨床場面において使われている心理アセスメントや代表的な心理療法についても紹介していく。そして、最終的に臨床心理学的観点から人間を理解するという点について考えてもらう。

### 授業計画

- 1 臨床心理学とは
- 2 臨床心理学の成り立ち
- 3 こころのしくみとパーソナリティ①フロイトの考え方
- 4 こころのしくみとパーソナリティ②ユングの考え方
- 5 こころの発達理論①エリクソンの考え方
- 6 こころの発達理論②クラインの考え方
- 7 こころの発達理論③マラーの考え方
- 8 こころの発達理論④ウイニコットの考え方
- 9 臨床心理学の実際ー心理アセスメントについて
- 10 臨床心理学の実際ー心理療法とは
- 11 心理療法①精神分析療法・分析心理学派
- 12 心理療法②クライエント中心療法
- 13 心理療法③森田療法・内観療法・遊戯療法
- 14 心理療法④芸術療法・認知行動療法・家族療法
- 15 総括・テスト

### 授業の方法

講義を中心に進めていくが、授業時間中にわからなかったところなどを確認するために、感想レポートなどの提出も適宜課していく。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

実習などの特別な欠席を除き、1回の欠席につき、2点を減点する。

### テキスト

特に決まったテキストは用いない。

### 参考図書

授業の中でその都度紹介する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
知覚・認知心理学		17331	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士		

### 授業の到達目標

人間が身体と心を動員して環境に臨むなかで、それを知覚し、判断し、行動するシステムが機能することを、その成り立ちとともに解説し、人間が「環境内存在」であることの理解を深める。人の感覚・知覚等の機序及びその障害、また、人の認知・思考等の機序及びその障害についても理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

見る、聞く、触れる、思考する、記憶するという人間の基本的な精神機能は、常に主体と環境との連続した循環的な反応の環のなかで実現している。人間が能動的かつ協同的な存在であるがゆえに、これらの基本的な機能は実現されているということを、心理学的システムとして理解し、その成り立ちについて、進化心理学的あるいは発生心理学的な視点から考察していく。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 人間の知覚的特性: 視覚
- 3 人間の知覚的特性: 聴覚
- 4 人間の知覚的特性: 運動感覚と認知
- 5 人間の知覚的特性: 空間知覚
- 6 注意と記憶 1
- 7 注意と記憶 2
- 8 イメージ処理
- 9 言語と談話理解 1
- 10 言語と談話理解 2
- 11 推論と問題解決
- 12 思考と言語 1
- 13 思考と言語 2
- 14 社会的認知
- 15 まとめと期末テスト

### 授業の方法

講義と単元内容に相当した、感覚、知覚、文章記憶、意味表象、物語認知、出来事認知、日常の問題解決などについての課題に実験などの活動を通じて毎時間回答しながら学習をすすめる。レポート作

成が課題となる。また小テストも実施する。

### 準備学修

心理学概論で学んだ感覚、知覚、記憶、思考などの基本的な概念をよく理解しておくこと。Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

一回の欠席で3点、遅刻で2点の減点とし、5回以上の欠席は不合格とする。

### テキスト

『心理学の最先端』末田啓二編著 あいり出版 2013

### 留意事項

毎週実験を実施するため、欠席した場合は必ず補習を受け、実験レポートを提出すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学統計法		17339	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
安岡 勇輝	選択	2			

### 授業の到達目標

心理学で用いられる統計手法の基本的な技法とその考え方を、心理学的な領域のデータを扱いながら、自ら活用できるような力を養う。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

心理学研究の解析手法を支える統計学について、その理論的な意味と、統計に関する基礎的な知識について解説する。講義は、できる限り具体的なデータを学生が扱い、実際の統計の手法について触れ、記述統計から推測統計まで、処理プロセスと統計手法、個々の概念について学んでゆく。

### 授業計画

- データの性質について①
- データの性質について②
- データの表現
- 代表値と散布度
- 標準化とは何か
- 相関係数とは何か①
- 相関係数とは何か②
- 標本と母集団①
- 標本と母集団②
- 統計的仮説検定の考え方①
- 統計的仮説検定の考え方②
- ノンパラメトリックな検定
- 平均値の差の検定
- データの分散と条件の比較
- 試験

### 授業の方法

講義と単元内容と相応した、確率、変数の性質、データ分布、代表値、散布度、標準化、相関係数、カイ二乗検定、t検定など具体的な計算や検定作業を行いながら、レジメと教科書を用いて学習を進める。

### 準備学修

事前に記述統計の基本について、復習しておくこと。授業ごとに、教科書とレジメを読み込み、毎日20分程度、予習・復習すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

通常欠席は5回を超えると不合格とする。遅刻・早退は減点する。特例欠席において、補填を希望する場合には、必ずその旨を申し出る事。

### テキスト

山田剛史・村井潤一郎 2004 よくわかる心理統計 ミネルヴァ書房

### 参考図書

石村貞夫 1993 すぐわかる統計解析 東京図書  
 吉村寿夫 1998 本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 北大路書房  
 田中敏・山際勇一郎 1992 ユーザーのための教育心理統計と実験計画法 教育出版  
 南原風朝和 2002 心理統計学の基礎 有斐閣

### 留意事項

本講義では「統計学入門」を履修しておくことを前提として進める。講義では電卓を使用することがあるので準備しておくこと。授業は教科書にそって進めるため、教科書を購入すること。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学実験		17342	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

心理学研究のとりわけ実験的な手法について、問題と目的の設定、実験計画の方法、実験手続き、結果の処理、考察にいたるまでのプロセスを学ぶ。実験実習を通して「実験の計画立案」と「統計に関する基礎的な知識」について学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とA（自律）を養う。

### 授業の概要

知覚から記憶までの広い範囲にわたる基礎的な実験心理学の課題に、学生各自が実験者・被験者となって取り組みながら、その手法を学んでいく。各実験毎にレポートを課す。各実験とレポートの書き方、説明とがワンセットになっているので、いずれか一方を欠席するとレポートは書けないことになるので注意すること。

### 授業計画

- オリエンテーション
- 心理学実験と統計の基礎知識
- 知覚1ーミューラー・リヤー錯覚
- 知覚2ーミューラー・リヤー錯覚
- 認知・学習1ー鏡映描写
- 認知・学習2ー鏡映描写
- 記憶と忘却1
- 記憶と忘却2
- 要求水準1
- 要求水準2
- イメージの測定(SD法)1
- イメージの測定(SD法)2
- 社会的促進1
- 社会的促進2
- まとめ

### 授業の方法

主に実習（実験）形式で行う。

### 準備学修

平均値の求め方を復習しておく。各実験レポートを作成する。(10時間)

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

適宜配布する。

### 留意事項

結果の処理にあたり、各自電算機を用意しておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学実習（心理テスト法）		17375	Ⅲ	春	※1名/1グループ
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	1	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、小・中スクールカウンセラー（神戸市）		

### 授業の到達目標

心理臨床現場（保健所、児童相談所、病院など）における幼児期の発達状況を捉え発達検査や心理判定の際に役立つ基本的な心理検査について知り、身につけることを目標とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

各心理検査の意図を理解し、各心理検査において検査場面を想定したロールプレイを行い、検査者と被験者のそれぞれを体験し、検査の実施方法や検査結果のまとめ方を学び、身につける。課題ごとに検査結果の所見をレポートにして提出する。

### 授業計画

- 1 はじめに 心理テスト概論
- 2 心理検査法実習の復習
- 3 P-Fスタディ①
- 4 P-Fスタディ②
- 5 文章完成法 SCT
- 6 内田クレペリン作業検査
- 7 新版K式発達検査④
- 8 新版K式発達検査⑤
- 9 WISC知能検査④
- 10 WISC知能検査⑤
- 11 バウムテスト
- 12 風景構成法
- 13 スクイグル法
- 14 箱庭療法①
- 15 箱庭療法②・統括・期末テスト

### 授業の方法

実習形式で行い、検査結果を分析し、所見をレポートで提出させる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

実習なので、基本欠席は認めない。

### テキスト

授業中に資料配布する。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

定員20名までとし、超過する場合は資格取得予定者を優先する。レポート課題の提出は、実習の翌週とする。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学的支援法		17383	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	1	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

本授業では、心理学的支援とは何かについて学ぶ。代表的な心理療法並びに、カウンセリングの歴史、概念、意義、について学び、さらにそれらの適応及び限界についても触れる。その際、適宜事例も紹介していく。また、今後ますます必要になってくると思われる訪問による支援や地域支援の意義、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援の重要性についても学ぶ。そして、心理学的支援を行う上で必要な、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について、プライバシーへの配慮に触れながら実習などを通して学ぶ。心の健康教育の重要性についても考える。このクラスでは、海星パーソナリティのK（思いやり）とA（自律）を養う。

### 授業の概要

心理学的支援について、①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応、及び限界、②訪問による支援や地域支援の意義、③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、④プライバシーへの配慮、⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援、⑥心の健康教育、を中心に講義と実習（グループワーク、ペアワーク）を通して心理学的支援とは何かについて学ぶ。

### 授業計画

- 1 心理療法とカウンセリング①
- 2 心理療法とカウンセリング②
- 3 心理療法とカウンセリング③
- 4 心理療法とカウンセリング④
- 5 信頼実習
- 6 助言の実習
- 7 心理学的支援におけるプライバシーへの配慮
- 8 地域支援と訪問支援
- 9 「宝探しの地図」実習
- 10 心理学的支援を要する人の関係者に対する支援
- 11 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション
- 12 コンセンサスの実習
- 13 「共感」実習
- 14 「純粋性」実習
- 15 心の健康教育

### 授業の方法

講義と実習（グループ、ペア）を中心とする。実習の後には振り返りを行い、それを基にレポートを提出してもらう。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①グループ実習やペア実習の後には、講義の中で振り返りを行い、レポートの提出を求める。
- ②平常点70%、定期試験30%にて評価を行う。

### 欠席について

連絡なしの欠席は大幅な減点の対象とする。

### テキスト

特に用いない。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理学研究法			17387	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

心理学における基礎的な研究方法には様々な方法がある。本講義は「心理学における実証的研究法（量的研究及び質的研究）」、「データを用いた実証的な思考方法」、「研究における倫理」について学ぶ。実証的な研究方法、データの分析、研究倫理の基礎を学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

主に心理学における研究方法の基礎知識について学ぶ。研究計画を立て、データを分析し、考察を加えるという基本的な研究の流れと各研究方法について学び、研究する力を養う。

### 授業計画

- 1 心理学における研究
- 2 心理学研究の基礎知識
- 3 先行研究の調査
- 4 研究法の概説 量的研究
- 5 研究法の概説 質的研究
- 6 心理統計法1
- 7 心理統計法2
- 8 実験法
- 9 調査法
- 10 観察法
- 11 面接法
- 12 研究倫理1
- 13 研究倫理2
- 14 研究のまとめ方
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義形式を中心に基礎的な知識について学ぶ。授業で学んだことを振り返る時間も設ける。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

振り返りの後、担当教員によるフィードバックを行う。  
平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

三浦麻子 著『心理学ベーシック第1巻 なるほど！心理学研究法』北大路書房

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会・集団・家族心理学			17399	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

人は社会の中で生き、他者から影響を受ける存在である。本講義は「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」について学ぶ。対人関係や集団、人の態度に関わる心の働き、文化や社会から人が受ける影響について学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

主に社会心理学と家族心理学の基礎知識を身につける。集団や対人関係、人の態度に関わる心理学的な知識を学ぶ。また、文化や社会から人が受ける影響について学ぶ。最も身近な集団である家族と家族に関わる心理についても学ぶ。

### 授業計画

- 1 社会心理学とは
- 2 認知と感情
- 3 自己概念と自己評価
- 4 ステレオタイプ
- 5 態度と態度変化
- 6 対人関係
- 7 集団と個人1
- 8 集団と個人2
- 9 組織と個人
- 10 集団行動
- 11 心と文化1
- 12 心と文化2
- 13 家族という集団
- 14 家族の心理
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義形式を中心に基礎的な知識について学ぶ。授業で学んだことを振り返る時間も設ける。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

振り返りの後、担当教員によるフィードバックを行う。  
平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

池田謙一・唐沢 穣・工藤恵理子・村本由紀子 著『社会心理学補訂版』有斐閣

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳幼児心理学		17445	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渡邊 恵梨佳	選択	2			

### 授業の到達目標

乳幼児期の運動・知覚・認知・知性・言葉・社会性・遊びの発達について学ぶ。乳幼児期の発達過程における基本的な理論や知識を身につけ、乳幼児に対する理解を深める。また、人の一生の中で乳幼児期がどのような時期なのかについて考察を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

保育者として実践にかかわる際に、子どもの発達理論の基礎と、発達をとらえる視点を身につけておく必要がある。そのため、この授業では特に乳幼児期の身体・運動、認知、言語発達の過程について、新生児や乳幼児が獲得する能力の豊かさと多様性についての知識を深めるとともに、環境構成された保育場面で対人的な相互作用に着目しつつ学びを深める。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション:子ども観・保育観と発達
- 2 子どもの発達と環境
- 3 子どもの身体的機能と運動の発達
- 4 子どもの情動や感情と社会性の発達
- 5 乳児期の知覚・認知発達
- 6 乳児期の感覚運動発達
- 7 乳幼児期の言葉の獲得と発達
- 8 子どもの心理的な発達(心の理論)
- 9 幼児期の認知発達(思考と行動)
- 10 子どもの自己中心性
- 11 発達障害の理解と心理①ASDと療育
- 12 発達障害の理解と心理②SLDとADHD
- 13 対人的なコミュニケーションを通じた発達
- 14 子どもの特性に応じた学びの体験や環境の構成
- 15 子どもの発達課題と学びを支える保育者の役割や対応

### 授業の方法

講義とグループワークを中心とする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点70%、定期試験30%で評価する。

### 欠席について

学内規定に準ずる。

### テキスト

適宜配布する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
学習・言語心理学		17447	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

### 授業の到達目標

人は言語を獲得することを通して、思考や行動の統制、気持ちを表現する力を身に付ける。本講義は「人の行動が変化する過程」と「言語の習得における機序」について学ぶ。人が新たに行動を獲得する心理学的な理論及び、言語を獲得する発達過程、言語の持つ力、心理学のナラティブ理論について学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

子どもの行動の学習とことばの発達過程について学ぶ。前半は、人が新しい行動を身につける過程を示した学習理論や、動機づけ、認知について学ぶ。後半は、言葉の発達過程を中心に、言葉と自己、思考、行動のコントロールについて学ぶ。また、言葉に関わる心理学の分野であるナラティブについても学ぶ。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 学習理論1
- 3 学習理論2
- 4 学習理論と動機づけ
- 5 自己とことば1
- 6 自己とことば2
- 7 ことばの発達1
- 8 ことばの発達2
- 9 ことばの発達3
- 10 ことばの発達4
- 11 思考とことば
- 12 行動のコントロール
- 13 ことばを育むために
- 14 ことばにおけるナラティブ理論
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義形式を中心に、具体例を紹介しつつ、基礎的な知識について学ぶ。授業で学んだことを振り返る時間も設ける。

### 準備学修

毎日30分程度、予習・復習を行う。

### 課題・評価方法、その他

- 振り返りの後、担当教員によるフィードバックを行う。
- 平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

松川利広監修 横山真貴子編著 『子どもの育ちとことば』教育情報出版

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
障害者・障害児心理学			17783	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

本講義では、障害をもつ子どもたちへの教育、障害理解のための心理社会的知識、特別支援教育の在り方を学ぶことを目的としている。「身体障害、知的障害及び精神障害の概要」と「障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援」について、特別支援教育の観点から学ぶ。このクラスは、KAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とI（知性）を考える。

### 授業の概要

特別支援教育の制度、背景、どのような取り組みがなされているのかを学ぶ。それだけでなく、障害理解のために必要な専門知識を身に付ける。それらを踏まえ、子どもの一生涯における発達と教育の在り方について考える。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 特別支援教育の現状
- 3 視覚障害の理解と特別支援教育
- 4 聴覚障害の理解と特別支援教育
- 5 言語障害の理解と特別支援教育
- 6 知的障害の理解と特別支援教育
- 7 発達障害の理解と特別支援教育 1
- 8 発達障害の理解と特別支援教育 2
- 9 肢体不自由の理解と特別支援教育
- 10 それぞれの障害の理解と特別支援教育 1
- 11 それぞれの障害の理解と特別支援教育 2
- 12 特別支援教育の変遷
- 13 生涯発達支援について 1
- 14 生涯発達支援について 2
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義形式を中心に、受講者が実際の教育現場でどのように実践するかを考える時間を設ける。

### 準備学修

毎日テキストを30分程度、読む。

### 課題・評価方法、その他

考える時間を設けた後は、担当教員からフィードバックを行う。平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

高橋 智 編著『インクルージョン時代の障害理解と生涯発達支援』（日本文化科学社）

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育実習指導（小学校）	教職小		17785	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	1	公立小学校教員			

### 授業の到達目標

小学校で教育実習を行う責任と心構えを認識するとともに、実習に必要な知識・技術を身に付ける。また、教育実習の成果と課題を振り返り、さらに身に付けるべき知識や技能等について理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

教育実習に必要な基礎的・基本的な知識、教育現場の現状や実習中の心構え等について講義を進める。また、具体例や実践を通して、小学校教師の様々な仕事と職責について学ぶ。

### 授業計画

- 1 受講の心構え・授業内容についてのガイダンス、小学校教育実習を受ける前に
- 2 実習校との事前打合せ、小学校の組織と日程
- 3 実習中の心得(勤務、礼儀、言葉遣い、服装、持ち物)
- 4 実習中の心得(学級経営、給食指導、休み時間)
- 5 児童や教職員との接し方
- 6 実習記録の書き方
- 7 学習指導と生徒指導
- 8 算数科模擬授業(低学年)
- 9 算数科模擬授業(高学年)
- 10 教育実習の成果と課題
- 11

### 授業の方法

書く活動と発表を多く取り入れる。

### 準備学修

テキストの指定ページを予習したり、指導案を作成したりしておくこと。詳細については、Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①指導案と模擬授業について、評価とアドバイスをを行う。
- ②評価方法は平常点70%、定期試験30%とする。

### 欠席について

欠席は10点減点し、遅刻は3点減点する。

### テキスト

石橋裕子・梅澤実・林幸範『小学校教育実習ガイド』萌文書林

### 参考図書

文部科学省『小学校学習指導要領解説』東洋館出版社

### 留意事項

小学校教育実習の知識や技術を修得し、教師としての心構えを学ぶ授業であることを認識して授業に臨むこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	e		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	必修	2	公立保育所保育士、私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

演習Ⅱにおいて決定した研究テーマに基づき、卒業研究計画書を作成して卒業研究を進めていく。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

各自の研究テーマに基づいて卒業研究を進めていく。研究の方法を決定し、文献の収集、講読、要約等を行い、中間発表を通して、研究を深めていく。

### 授業計画

- 1 演習Ⅲにおけるオリエンテーション
- 2 卒業研究の方法等の確認
- 3 卒業研究の執筆手順やスケジュールの確認を行う。
- 4 卒業研究中間報告に向けて各自作業を行う。①
- 5 卒業研究中間報告に向けて各自作業を行う。②
- 6 卒業研究中間報告に向けて各自作業を行う。③
- 7 卒業研究中間報告に向けて各自作業を行う。④
- 8 卒業研究中間報告に向けて各自作業を行う。⑤
- 9 卒業研究中間報告に向けて各自作業を行う。⑥
- 10 卒業研究中間報告に向けて各自作業を行う。⑦
- 11 卒業研究中間報告に向けて各自作業を行う。⑧
- 12 卒業研究中間報告を行う①
- 13 卒業研究中間報告を行う②
- 14 今後の研究の進め方を確認する。
- 15 まとめ

### 授業の方法

研究内容や取組み状況の報告・発表を通して、討議しあうことを中心とする。

### 準備学修

Webで参照すること

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき5点減点とし、遅刻は2点減点とする。

### テキスト

「よくわかる卒論の書き方」第2版 ミネルヴァ書房  
各受講生の研究テーマに応じて、適宜紹介する。

### 参考図書

授業中に随時紹介する。

### 留意事項

卒業研究に対して各自主体的に取り組むこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	f		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳	必修	2				

### 授業の到達目標

卒業研究へ向けて研究テーマを明確にしていくステップとして、自身の研究テーマについて文献や様々なデータに基づきながら調べて解釈し、研究計画を立てる方法を学ぶ。自身の研究テーマを共有し他者との意見交換をしつつ、研究をより深めていけるようにする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

### 授業の概要

卒業研究に向けて研究計画を進めつつ、先行研究の文献や関連する文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。また、自身の卒業研究に必要な調査方法の検討と、調査の必要性について検討し研究計画を作成する。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 先行研究や関連文献のまとめと発表(1)
- 3 先行研究や関連文献のまとめと発表(2)
- 4 先行研究や関連文献のまとめと発表(3)
- 5 調査方法の検討(1)
- 6 調査方法の検討(2)
- 7 各自の研究(研究法、進行状況)について発表(1)
- 8 各自の研究(研究法、進行状況)について発表(2)
- 9 調査研究について(1)
- 10 調査研究について(2)
- 11 調査研究について(3)
- 12 調査研究と結果のまとめについて(1)
- 13 調査研究と結果のまとめについて(2)
- 14 再リサーチの検討
- 15 まとめ

### 授業の方法

ディスカッションを中心とする。個人研究テーマについて調べて発表を行い、その後個別に指導を行う。中間発表を行い、多様な意見を聞き、さらなる調べにつなげる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業内でフィードバックや助言を行う。  
平常点70%、定期試験30%で評価する。

### 欠席について

学内規定に準ずる。

### テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

主体的に授業や課題に取り組み、他の意見にも耳を傾けながら自らの研究に活かすこと。  
提出物は期限を守ること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。



演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	e		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	必修	2	公立保育所保育士・私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

演習Ⅲに引き続き、色々な角度から研究を見直し、卒業研究を完成させる。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

プレゼンテーション、ディスカッションなどを通して、研究内容を深める。全体指導と個別指導を重ねて、卒業研究を完成させる。

### 授業計画

- 1 卒業研究の進捗状況の確認①
- 2 卒業研究の進捗状況の確認②
- 3 卒業研究の進捗状況の確認③
- 4 卒業研究の報告と討議①
- 5 卒業研究の報告と討議②
- 6 卒業研究の報告と討議③
- 7 卒業研究の報告と討議④
- 8 卒業研究の報告と討議⑤
- 9 卒業研究の報告と討議⑥
- 10 卒業研究の報告と討議⑦
- 11 卒業研究の修正とまとめ
- 12 卒業研究の要約
- 13 卒業研究の修正
- 14 卒業研究の発表
- 15 まとめ

### 授業の方法

研究内容や取り組み状況の報告・発表を通して、討議することを中心に授業を進める。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。  
平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき5点減点とし、遅刻は2点減点とする。

### テキスト

「よくわかる卒論の書き方」第2版 ミネルヴァ書房  
各受講生の研究テーマに応じて、適宜紹介する。

### 参考図書

授業中に必要に応じて紹介する。

### 留意事項

卒業研究に対して、各主体的に取り組むこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	f		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳	必修	2				

### 授業の到達目標

卒業研究完成に向けて、また保育や教育などに関する研究を深めていくものとして様々な観点や探求心を身につけ、具体的に根拠に基づきながら物事を解釈し考察の方法を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

### 授業の概要

卒業研究作成に向けて、各自の研究テーマに沿った個別指導を実施する。また、卒業研究執筆に向けて執筆手順や具体的な方法を全体指導する。研究経過の発表やディスカッションを行い各自調整をしていく。

### 授業計画

- 1 調査結果・分析のまとめ発表(1)
- 2 調査結果・分析のまとめ発表(2)
- 3 調査結果・分析のまとめ発表(3)
- 4 調査結果・分析のまとめ発表(4)
- 5 研究結果から読み取る考察(1)
- 6 研究結果から読み取る考察(2)
- 7 研究結果から読み取る考察(3)
- 8 研究結果から読み取る考察(4)
- 9 卒業研究の総合的なまとめと考察(1)
- 10 卒業研究の総合的なまとめと考察(2)
- 11 卒業研究の総合的なまとめと考察(3)
- 12 卒業研究の要約作成(1)
- 13 卒業研究の要約作成(2)
- 14 卒業研究発表と討議・修正(1)
- 15 卒業研究発表と討議・修正(2)

### 授業の方法

ディスカッションを中心とする。個人研究テーマ決定後、個別に指導を行う。中間発表を行い、多様な意見を聞き、さらなる調べにつなげる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業内でフィードバックや助言を行う。  
平常点70%、定期試験30%で評価する。

### 欠席について

学内規定に準ずる。

### テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

主体的に授業や課題に取り組み、各自で計画的に行動することが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと表現（音楽）		17423	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
南 夏世	選択	1			

### 授業の到達目標

領域「表現」の目標・内容を学び、活動内容や保育者としての配慮を理解するために、音に対する感性を育て、音素材を活かした様々な表現活動を理解し、幼児期の表現活動を展開させる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

領域「表現」のねらい及び内容を理解し、幼児の発達に適した様々な表現の知識・技能を学ぶとともに、保育者としての豊かな表現力を培う。

### 授業計画

- 1 領域「表現」について
- 2 幼児の表現活動
- 3 リズムと楽器
- 4 音を聴く
- 5 歌うこと、演奏すること
- 6 歌うこと、演奏すること
- 7 様々な表現活動を振り返る

### 授業の方法

講義とその内容に即した演習を実施し、授業の最後に発表を行う。個人、グループ、クラス全体など様々な活動形式をとる。

### 準備学修

webで参照する。

### 課題・評価方法、その他

授業での活動は積極的に行うこと。

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点する。

### テキスト

必要に応じて、提示・紹介する。

### 参考図書

必要に応じて、提示・紹介する。

### 留意事項

楽器に触れることが多いので、爪は短く切っておくこと。動きやすい服装で参加すること。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと人間関係		17434	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士		

### 授業の到達目標

幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解し、幼児期の人間関係の発達について、園生活における関係発達論的視点から理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）I（知性）との育成を目指す。

### 授業の概要

現代の幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身に付ける。特に領域「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論を理解し、関係発達論的視点について学び、他者との関係や集団との関係の中で幼児期に人と関わる力が育つことを理解する。

### 授業計画

- 1 子どもと取り巻く人間関係（現代社会と幼児の人間関係）
- 2 保育における人間関係（領域「人間関係」、園生活の中で育まれる「人間関係」）
- 3 乳児期の人間関係（0歳児の人間関係、愛着、大人（保育者、保護者）の役割）
- 4 1歳以上3歳未満児の人間関係（自我の芽生え、遊びと生活、保育者の役割）
- 5 3歳以上児の人間関係（自我の育ちと自己調整、遊びと生活、保育者の役割）
- 6 子どもの人間関係と社会性・道徳性（自己理解、他者理解、道徳性の育ち）
- 7 家庭や地域との連携（保護者と保育者の人間関係、地域、専門機関との連携）
- 8 保育者が紡ぐ「人間関係」（保育者自身の人間関係、子ども理解）まとめ  
定期試験

### 授業の方法

保育実践の事例等を取り入れ具体的にわかりやすい講義を行う。グループ討議等を行い、課題意識を持って主体的に取り組めるようにする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50% 定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

ワークで学ぶ保育内容「人間関係」みらい  
幼稚園教育要領解説

### 参考図書

授業内で紹介する。

### 留意事項

毎回の出席と主体的な取り組みを心がけること。  
日頃から人間関係力について考えておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合はオフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育課程論			17623	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳	選択	2				

### 授業の到達目標

幼児期の子どもの育ちに関する問題に関心を持ち、それを多角的にとらえて考え子どもの育ちを支えるカリキュラムの特性を理解する。幼児を理解し、適切な評価に基づいて改善していくための基本的な考え方や方法を理解し、基本的な知識と技術を身につける。また、幼児期の教育における教育課程の役割・機能・意義を理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

現代社会における幼児教育をめぐる世界的な動向を踏まえ、幼児期に子どもがどのような学びや経験を実現するのか、その枠組みを定めるカリキュラムと教育課程に関する基本的な理解をする。幼児期における教育課程の意義とその編成原理、及びカリキュラム・マネジメント（教育・保育計画と評価）について学び、幼児教育の専門家として求められる知識と技術を身につける。遊ぶ子どもの姿から、豊かな保育や教育を保障するために有効な指導計画のあり方について考える。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション:幼児期の子どもの育ちを考える
- 2 幼児期の教育課程の役割・機能・意義
- 3 幼児期教育課程の編成と基本原理
- 4 幼児期とカリキュラム(1)子どもの育つ環境の変化
- 5 幼児期とカリキュラム(2)世界の保育カリキュラム
- 6 園づくりとカリキュラム・マネジメント
- 7 幼稚園の指導計画の作成、保育所・認定こども園の指導計画の作成
- 8 幼児理解に基づいた評価
- 9 ねらい及び内容・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の考え方と指導計画の関係
- 10 0歳児、1歳から3歳未満の指導計画について(グループワーク)
- 11 3歳・4歳・5歳の指導計画について(グループワーク)
- 12 月の指導計画(月案)の作成について(グループワーク)
- 13 週の指導計画(週案)の作成について(グループワーク)
- 14 日の指導計画(日案)の作成について
- 15 まとめ:教育課程をめぐる現状と課題

### 授業の方法

講義を中心とするが、適宜グループワークを行う。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点70%、定期試験30%で評価する。

### 欠席について

学内規定に準ずる。

### テキスト

適宜配布する。

### 参考図書

「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーバル館

### 留意事項

図書館にある「保育とカリキュラム」や各領域の指導書や文献を読んだり、様々な絵本や歌曲に親しんだりして、保育の視野を広げること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の指導・人間関係			17630	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	2	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのとA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

### 授業の概要

幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、幼児の姿と保育実践とを関連させて理解を深める。その上で、幼児の発達にふさわしい主体的・対話的で深い学びを実現する保育を具体的に構想し、実践する方法を身に付ける。

### 授業計画

- 1 領域「人間関係」について
- 2 子どもの生活の中で育まれる人間関係
- 3 子どもの遊びの中で育まれる人間関係
- 4 保育の展開と指導計画
- 5 指導計画と実践①
- 6 指導計画と実践②
- 7 指導計画と実践③発表
- 8 多様な配慮と保育構想
- 9 小学校生活への接続
- 10 地域連携と保育の構想
- 11 事例検討①
- 12 事例検討②
- 13 事例検討③
- 14 事例検討④
- 15 領域「人間関係」をめぐる現代的諸問題・まとめ

### 授業の方法

講義とグループディスカッション、模擬保育を行う。グループディスカッション・模擬保育後は担当教員がフィードバックを行う。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、課題レポート（指導案作成）20%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

ワークで学ぶ保育内容「人間関係」みらい

### 参考図書

文部科学省「幼稚園教育要領解説」、厚生労働省「保育所保育指針解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

### 留意事項

日頃から人間関係係について考えておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもの保健			17643	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
俊野 尚彦	選択	2	医師			

### 授業の到達目標

子どもの特徴、成長発達、病気の経過、子どもを取り巻く環境の理解などを深める必要がある。そのために以下の項目を理解する。

- 1.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
- 2.子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。
- 3.子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。
- 4.子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。

このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を目指す。

### 授業の概要

解剖生理から心の発達、疾病、子供を取り巻く社会制度やビジネスなどについて解説する。

学生自らも情報を集めていく。

※授業計画表は参考記載。予定は受講人数や状況に応じて適宜変更する。

### 授業計画

- 1 子どもの心身の健康と保健の意義 (1)生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的
- 2 子どもの心身の健康と保健の意義 (2)健康の概念と健康指標
- 3 子どもの心身の健康と保健の意義 (3)現代社会における子どもの健康に関する現状と課題
- 4 子どもの心身の健康と保健の意義 (4)地域における保健活動と子ども虐待防止
- 5 子どもの身体的発育・発達と保健 (1)身体発育及び運動機能の発達と保健
- 6 子どもの身体的発育・発達と保健 (2)生理機能の発達と保健
- 7 子どもの心身の健康状態とその把握 (1)健康状態の観察
- 8 子どもの心身の健康状態とその把握 (2)心身の不調等の早期発見
- 9 子どもの心身の健康状態とその把握 (3)発育・発達の把握と健康診断(I)
- 10 子どもの心身の健康状態とその把握 (3)発育・発達の把握と健康診断(II)
- 11 子どもの心身の健康状態とその把握 (4)保護者との情報共有
- 12 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (1)主な疾病の特徴(I)

- 13 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (1)主な疾病の特徴(II)
- 14 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (1)主な疾病の特徴(III)
- 15 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (2)子どもの疾病の予防と適切な対応

### 授業の方法

スライドや板書を用いた講義。ゲスト講義や体験・グループワークを予定している。

受講人数や要望に応じて適宜考慮する。

### 準備学修

授業内容に関するニュース（研究、難病、社会問題など）に関心を持つ。

PC、特にWordやPowerPoint等を各学生が使用することがある。

### 課題・評価方法、その他

評価方法

①出席を重視

②積極性・授業中の発表や質問など

※状況によってレポートや小テストなどを課す可能性がある。

### 欠席について

神戸海星女子学院大学の欠席条件に合わせる。

### テキスト

新版よくわかる子どもの保健 丸尾良浩/竹内義博 ミネルヴァ書房

### 参考図書

病気が見える Vol15 小児科

### オフィスアワー

授業後

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもの健康と安全			17647	Ⅱ/Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について理解する。関連するガイドライン（※）や近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。子どもの体調不良等に対する適切な対応や保育における感染症対策について具体的に理解する。子どもの発達や状態等に即した適切な対応について具体的に理解する。子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について具体的に理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」（平成23年3月厚生労働省）

「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」（平成30年3月 厚生労働省）

「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」（平成28年3月

内閣府・文部科学省・厚生労働省）等

### 授業の概要

子どもの安全で衛生的な生活を保障し、日々快適に過ごせるための健康・安全に係る保健活動の計画や実践について学ぶ。保健的観点を踏まえた保育環境及び援助、関連するガイドライン（※）や近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に理解する。子どもの体調不良等に対する適切な対応（応急処置や救急処置及び救急蘇生法含む）、感染症対策について具体的に理解する。保育における保健的対応の中で3歳未満児、個別的な配慮を要する子ども、障がいのある子どもへの対応について学ぶ。健康及び安全の管理の実施体制について具体的に理解する。

### 授業計画

- 1 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助 保険における健康及び安全管理①
- 2 保育における健康及び安全管理②
- 3 救急処置及び蘇生法 感染症対策について
- 4 小児救急法【演習】
- 5 小児救急法【演習】

- 6 保育における保健的対応、健康及び安全の管理について
- 7 沐浴指導【演習】まとめ
- 8 まとめ 定期試験

### 授業の方法

講義及び演習を中心とする。グループワークも取り入れる。

### 準備学修

日頃より衛生管理や安全管理を認識し、自己の健康管理にも留意する。

事前に必ずテキストを熟読しておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点40% 課題レポート10% 定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

「子どもの健康と安全」 ななみ書房

### 参考図書

文部科学省「幼稚園教育要領解説」、厚生労働省「保育所保育指針解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」授業時に随時紹介する。

### 留意事項

演習については事前に連絡する。小児救急法（演習）の参加を必須とする。

欠席の場合は別途課題提出。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもの食と栄養			17650	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	2	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

子どもの発育・成長に伴う食と栄養の基本を理解し、自ら考え、現場で対応できる力をつける。子どもの食生活がその後の人生の基盤となり身体が育成されることを学び、適切な食生活の在り方を指導できる力をつける。保育者は、子どもに最も近い距離にあり、多くを伝え、学ぶ機会を与えることの出来る立場となる。特に学ぶべきことは、栄養・食生活・身体の発育の知識はもちろんであるが、その知識を思いやりを持って現場で伝える実践力を養うことにある。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）、A（自律）、S（奉仕）を養う。

### 授業の概要

乳幼児期は、食生活の基礎が形作られる時期であり、子どもが健康な体を育成するためには食生活の正しい習慣付けは重要である。また、小児期の栄養は、保育者に委ねられることから、保育者が正しい栄養の知識と摂取方法、身体の仕組みおよび発達などを理解する必要がある。子どもの段階的な発育・発達を的確に捉え、その時期に必要な食生活と栄養について、現場で指導出来るように、多角的な栄養・健康の知識のみならず、自ら考える力や、実行する力も養うための発表形式の演習も取り入れる。食育基本法や児童福祉施設における食生活の現状や課題、及び特別な配慮を要する子どもの食生活と栄養について理解し対応出来る知識および方法を学ぶ。

### 授業計画

- 1 保育における子どもの食と栄養
- 2 子どもの心身の健康と食生活
- 3 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能
- 4 食事の摂取基準と献立作成・調理の基本
- 5 胎児期、乳児期の授乳・離乳の意義と食生活(1)
- 6 胎児期、乳児期の授乳・離乳の意義と食生活(2)
- 7 幼児期の心身の発達と食生活
- 8 学童期、思春期の心身の発達と食生活
- 9 食育の内容と計画および評価(1)
- 10 食育の内容と計画および評価(2)
- 11 家庭や児童福祉施設における食事と栄養(1)
- 12 家庭や児童福祉施設における食事と栄養(2)
- 13 特別な配慮を要する子どもの食と栄養(1)

- 14 特別な配慮を要する子どもの食と栄養(2)
- 15 子どもの食生活の現状と課題 まとめ

### 授業の方法

講義および実践演習により行う。担当者による発表形式も取り入れる。

### 準備学修

Webで詳細を参照すること。  
出された課題に前向きに取り組むこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、課題レポート20% 定期試験50%  
授業内での提出物の評価は平常点に入れる。

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。  
欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

「子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養」 萌文書林

### 参考図書

必要に応じて随時紹介する。

### 留意事項

毎回の出席と主体的な取り組みを求める。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については、教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の指導・表現（音楽）			17656	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
南 夏世	選択	2				

### 授業の到達目標

子どもたちの表現する喜びや意欲を育てることが出来る指導者を目指し、子どもの発達や現代の環境等を踏まえて様々な音楽表現活動が展開出来るよう教材を研究し、実践する。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

1. 領域「表現」の目標・内容を学び、活動内容や保育者としての配慮を理解する。
2. 音楽の基本となるリズムについて学習し、手拍子やリズム合奏および身体表現活動などの演習を通して、リズムの意義や活動を理解する。
3. 日々の活動に必要な歌唱教材を研究し、子どもの成長に合わせた活動内容や指導方法を修得する。

### 授業計画

- 1 領域「表現」について・子どもの成長と音楽的発達
- 2 リズム・リズム遊び
- 3 器楽合奏
- 4 器楽合奏
- 5 器楽合奏
- 6 身体表現の音楽
- 7 身体表現の音楽
- 8 身体表現の音楽
- 9 身体表現の音楽
- 10 子どもの歌について(わらべうたと童謡)
- 11 子どもの歌教材研究
- 12 子どもの歌教材研究
- 13 子どもの歌教材研究
- 14 指導案作成と実践
- 15 指導案作成と実践
- 16 授業の振り返りとまとめ

### 授業の方法

講義内容に則り、演習・発表を行う。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ① 授業の課題ごとの発表や演奏に対し、フィールドバックを行う。
- ② 平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

授業毎の発表や演習が評価対象になるので、できるだけ欠席しないこと。

### テキスト

「あそぶうた大全集200」 細田淳子著 永岡書店発行  
「マイレパートリー」 (yamaha music media corporation)

### 参考図書

授業時に指示する。

### 留意事項

爪は必ず切ること。動きやすい服装で受講すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児理解の理論と方法（教育相談を含む）			17727	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	2	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

幼児の実態に即し、生育環境や集団の中での育ち合い等の多様な環境を背景とした幼児理解の意義を理解する。また、幼児の発達や学びを捉える基礎資料となる観察、記録の基礎的事項、多面的な考察と分析の重要性を理解する。幼児のつまりぎ等の発達上の課題や保護者の多様な思いに対応する保育者の姿勢やカウンセリングの方法を理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）の育成を目指す。

### 授業の概要

幼児理解の意義と重要性を理解し、保育実践やエピソード記録、カンファレンスの実践を通して、幼児を多面的に理解する力を身に付ける。また、幼児の発達や生育環境など、幼児一人ひとりの実態に即した指導や、専門家を交えたチームでの対応方法、保護者の心情を理解した連携とカウンセリングマインドを基にした支援方法を身に付ける。

### 授業計画

- 1 保育の場における相談ニーズとカウンセリングマインド
- 2 子どもの発達理解と相談・支援
- 3 保護者理解とその対応(1)
- 4 保護者理解とその対応(2)
- 5 発達障害や気になる子どもとその保護者へのかかわり(1)
- 6 発達障害や気になる子どもとその保護者へのかかわり(2)
- 7 子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ
- 8 保育場面でのカウンセリング技法の活用(1)
- 9 保育場面でのカウンセリング技法の活用(2)
- 10 【演習】事例検討 保護者対応を想定したロールプレイから学ぶ支援の在り方
- 11 【演習】行動観察やエピソード記録を通じた幼児理解
- 12 園・地域における専門家との連携による相談・支援
- 13 保育者の専門性と相談活動
- 14 基礎的対人関係のトレーニング
- 15 まとめ

### 授業の方法

保育実践の事例を取り入れ講義を行う。グループ討議や演習を行

い、課題意識を持って主体的に取り組めるようにする。

### 準備学修

Webで詳細を参照とすること。  
出された課題に前向きに取り組むこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点50% 定期試験50%

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。  
欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

「子どもの理解と保育・教育相談【第2版】」 みらい

### 参考図書

「どの子にもあ〜楽しかった！の毎日を」 ひとなる書房  
「やさしく学べる保育カウンセリング」 金子書房  
文部科学省「幼稚園教育要領解説」、厚生労働省「保育所保育指針解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

### 留意事項

グループ演習等が多いため、毎回の出席と主体的な取り組みを心がけること。  
毎回の授業での振り返りシートの提出を求める。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等音楽科指導法			17733	Ⅱ/Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
南 夏世	選択	2				

### 授業の到達目標

教科「音楽」の意義を理解し、実態を視野に入れた授業を構成できる能力や、幅広い音楽活動の指導ができる技術を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とA（自律）を養う。

### 授業の概要

『小学校学習指導要領（音楽）』の内容について理解し、音楽教育の歴史についての知識を修得するとともに、これからの音楽教育について考察する。歌唱指導・鑑賞指導・器楽指導のための教材研究ならびに演習や発表を行い、現代の環境に適した音楽指導法を研究する。

### 授業計画

- 1 「小学校学習指導要領（音楽）」の概説と理解
- 2 「小学校学習指導要領（音楽）」の概説と理解
- 3 楽典の基礎と他教科とのかかわり。
- 4 リコーダーの理解と合奏
- 5 いろいろな楽器の理解と奏法
- 6 合奏教材と指揮法基礎演習
- 7 歌唱教材の研究と演習
- 8 歌唱教材の研究と演習
- 9 鑑賞教材の研究（音楽の歴史）
- 10 鑑賞教材の研究（日本の音楽・世界の音楽）
- 11 日本の音楽教育
- 12 ピアノ演習
- 13 模擬授業
- 14 模擬授業
- 15 振り返りと展望
- 16

### 授業の方法

講義と個人あるいはグループでの演習や研究発表。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①授業で研究発表、演奏を行い、フィールドバックをする。
- ②平常点50%、定期試験50% 各項目ごとの発表は平常点に反映する。定期テストは筆記試験を実施する。

### 欠席について

授業時の発表や演習も評価の対象になるので、できるだけ欠席しないこと。

### テキスト

初等科音楽教育法（音楽之友社）

### 参考図書

小学校音楽用指導書（教育芸術社）

### 留意事項

グループ演習も多いので、毎回の出席と積極的な活動を心がけること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子ども家庭支援の心理学			17763	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
島田 麻美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。子どもの精神保健とその課題について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

生涯発達という視点から、発達の諸特徴や発達課題、初期経験の重要性について学ぶ。また、社会や文化の時代的変化とともに変容し、多様化してきた家族・家庭について理解を深める。保育者として、人の生涯発達について理解した上で、家庭の持つ意味と現状、そしてさまざまな課題を抱える子どもや家庭の理解と支援につながる力を身につけることを目指す。テーマに関連する事例を挙げ、具体的な支援場面へどうつなげていくかを考える。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション、生涯発達とは
- 2 乳幼児期から学童期前期にかけての発達
- 3 学童期後期から青年期にかけての発達
- 4 成人期から老年期にかけての発達
- 5 家族関係・親子関係の理解
- 6 子育ての経験と親としての育ち
- 7 子育てを取り巻く社会的状況
- 8 ライフコースと仕事・子育て
- 9 多様な家庭とその理解
- 10 特別な配慮を要する家庭への支援①
- 11 特別な配慮を要する家庭への支援②
- 12 子どもの精神保健とその課題
- 13 子どもの生活・生育環境とその影響
- 14 子どもの心の健康にかかわる問題
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

グループ発表後は、担当教員よりフィードバックを行う。  
平常点30%、課題レポート20%、定期試験50%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

適宜プリントを配布する。

### 参考図書

原信夫・井上美鈴編著『子ども家庭支援の心理学』北樹出版  
松本園子他『子ども家庭支援の心理学』ななみ書房

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子育て支援			17768	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者支援（相談、助言、情報提供、行動見本の揭示等の支援（保育相談支援））について、その特性と展開を具体的に理解する。保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例を通して具体的に理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）I（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

保育士の行う子育て支援の特性を理解し、実践事例を考察しながら、保育士の行う子育て支援の展開として、支援計画や環境構成、支援の実際・記録・評価・カンファレンスについて理解を深める。また、保育士の行う子育て支援とその実際として具体例を挙げ、双方向の討議を取り入れて意見交換できるようにする。様々な子どもに対する対応やその家庭に対する支援について理解する。まとめとして、「子どもの最善の利益」を保障するための6つの視点からこれからの子育て支援について考察する。

### 授業計画

- 1 保育所・幼稚園・認定こども園における子育て支援の必要性
- 2 子育て支援の基本について
- 3 環境構成を活用した子育て支援
- 4 子育て支援のむずかしさ
- 5 保育者の「役割の二重性」と子育て支援の葛藤
- 6 「子どもの最善の利益」を保障するための6つの視点
- 7 保育士の行う子育て支援の実際
- 8 まとめ 定期試験

### 授業の方法

保育実践の事例を取り入れ講義を行う。グループ討議等を行い、課題意識を持って主体的に取り組めるようにする。

### 準備学修

Webで参照とすること。

### 課題・評価方法、その他

平常点40% 課題レポート10% 定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

「保育の専門性を生かした子育て支援」わかば社

### 参考図書

授業内で紹介する。

### 留意事項

毎回の出席と主体的な取り組みを心がけること。地域の子育て支援について調べておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳児保育Ⅱ			17779	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

乳児保育Ⅰを踏まえて、乳児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助やかかわりについての理解を深め、養護と教育の一体性を考えた生活や遊びと、保育の方法について、実際体験を通して具体的に理解する。また、そのための指導計画のあり方を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）E（倫理）を考える。

### 授業の概要

乳児保育Ⅰでの授業を振り返りながら、乳児保育とはどういうものであるかを、実際体験や演習を通して再認識し、またその保育をする上での計画について理解を深め、乳児保育にあたる保育者として専門的能力を身につけられるようにする。

### 授業計画

- 1 乳児保育の基本 乳児保育はなぜ必要か。
- 2 乳児保育の基本 乳児保育の役割。
- 3 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 4 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 5 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 6 乳児保育の実際(教室を出て実際体験をする。DVD視聴)
- 7 乳児保育における計画の実際
- 8 乳児保育における配慮の実際
- 9
- 10

### 授業の方法

講義と演習を中心とし、内容に沿ったDVD視聴を取り入れたり、実際体験をする。

### 準備学修

Webで確認すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%  
レポート提出を求め、講義の中でのフィードバックを行う。

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

はじめて学ぶ 乳児保育 第3版 同文書院 志村聡子編著者

### 参考図書

保育所保育指針解説（フレーベル館）  
新時代の保育双書 乳児保育 第3版 （株）みらい 大橋貴美子編  
乳児の生活と保育（改訂版） ななみ書房 松本園子編著  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

教室を出ての実際体験もあるため、授業計画の変更もある。教務課前掲示板をよく注意しておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
障害児保育			17782	Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	2	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

- ①障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。
  - ②個々の特性や心身の発達等にに応じた援助や配慮について理解する。
  - ③障害児その他の配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。
  - ④障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。
  - ⑤障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。
- 以上をライフステージを見通して理解する。このクラスは、KAISEIパーソナリティK（思いやり）とI（知性）を考える。

### 授業の概要

障害児保育を支える理念を理解し、障害児その他の特別な配慮を要する子どもの理解と保育における発達の援助について、個々の特性を具体例を挙げて理解を深めていく。また、子どもの保育の実践として、指導計画及び個別の支援計画の作成や個々の発達を促す生活や遊びの環境、子ども同士の関わりと育ち合いについて、実践例から考えていく。グループディスカッションを通して、意見交換を行い、発表を行う。  
発表後、教員がフィードバックを行う。障害児その他の配慮を要する子どもの家庭支援について、具体例を挙げて解説する。最後に現状と課題について考察していく。

### 授業計画

- 1 障害児保育を支える理念
- 2 知的障害児の理解と支援
- 3 肢体不自由児・重症心身障害児・医療的ケアの理解と支援
- 4 視覚障害児・聴覚障害児の理解と支援
- 5 言語障害・場面緘黙のある子どもの理解と支援
- 6 発達障害児の理解と支援①（ASD）
- 7 発達障害児の理解と支援②（ADHD・LD）
- 8 生活課題を抱える家庭の子どもの理解と援助
- 9 子ども同士の関わりと育ち合いと子どもをみる視点
- 10 指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働

- 11 保護者や家族に対する理解と支援、保護者間の交流や支え合い
- 12 障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の連携・協働
- 13 小学校等との連携・就学に向けて
- 14 特別な配慮を必要とする子どもの保育に関わる現状と課題
- 15 まとめ 定期試験

### 授業の方法

講義を主とするが、双方向の討議も取り入れて受講者が主体的に参加できる形式も採り入れる。

### 準備学修

日常生活の一コマを、一つの考え方にこだわらずに複数の視点で考えてみる姿勢を望む。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

障害児保育演習ブック ミネルヴァ書房

### 参考図書

授業中に紹介する。

### 留意事項

国の障害者施策および事業に関心を持つ

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。



関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育実習指導 I A			17812	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

保育所実習の意義・目的および実習の内容を理解し、自らの課題を明確化する。なお保育所実習を円滑に進めていくため実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、実習がより効果的に行えるようにする。また、子どもの人権と最善の利益、プライバシーなどの守秘義務について理解する。事後指導においては、「保育実習Ⅱ」に向けての課題や学習目標を明確にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

### 授業の概要

保育所実習の意義・目的・方法を理解し、実習内容・心構え・実習記録の意義と記録の仕方について学ぶ。なお初めての保育所実習を受けるにあたり各教科の講義で得た知識をもとに「保育所とは」を理解し、保育所の機能や保育士の役割、子どもの理解、日々の子どもの生活や遊びの援助の仕方について習得し、保育現場での実践に結びつけられるようにする。事後指導では、「保育実習Ⅰ」の総括と自己評価を行い、「保育実習Ⅱ」に向けての新たな課題や学習目標を明確にし、より「保育実習Ⅱ」が効果的に行えるようにする。

### 授業計画

- 1 保育所実習の意義・目的・概要について理解する
- 2 保育所の役割と機能を理解する
- 3 発達過程の理解を深める
- 4 保育の計画について再認識し、理解を深める 実習指導案の書き方を知る
- 5 保育内容の実践
- 6 実習生個人票の作成およびオリエンテーションの受け方、事務手続きについて理解する
- 7 実習記録の書き方を知る
- 8 実習に際しての心構え、留意事項(事後の実習園に対するお礼状の書き方等含む)
- 9 事後指導における実習の総括と自己評価・課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席は、1回につき5点減点とする。

### テキスト

保育実習指導の手引き（海星版）  
必要資料については随時プリントを配布する。

### 参考図書

あそびうた大全集 永岡書店  
手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに  
3. 4. 5歳児が夢中になる実践！造形遊び ナツメ社

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児の発達過程をしっかり把握し、保育実践の知識や技術をできるだけ多く身につけておく（絵本の読み聞かせ・制作・手あそび・歌など）

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育実習指導 I B			17813	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

保育実習の意義・目的および実習の内容を理解し、自らの課題を明確化する。なお実習を円滑に進めていくため実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、実習がより効果的に行えるようにする。また、子どもの人権と最善の利益、プライバシーなどの守秘義務について理解する。事後指導においては、自己評価を行い課題や学習目標を明確にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

### 授業の概要

実習の意義・目的・方法を理解し、実習内容・心構え・実習記録の意義と記録の仕方について学ぶ。なお実習を受けるにあたり各教科の講義で得た知識をもとに「児童福祉施設とは」を理解し、機能や保育士の役割、子どもの理解、日々の子どもの生活や遊びの援助の仕方について習得し、保育現場での実践に結びつけられるようにする。事後指導では、自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にしていく。

### 授業計画

- 1 実習の意義・目的・概要について理解する。
- 2 各施設の役割と機能を理解する。①
- 3 各施設の役割と機能を理解する。②
- 4 施設実習の準備と心構えを理解する。①
- 5 施設実習の準備と心構えを理解する。②
- 6 実習における観察・記録・評価の仕方を理解する。
- 7 実習記録の書き方を理解する。実践及び実習に関する諸手続
- 8 実習についての心構え、留意事項などの確認(実習事後の御礼状の書き方なども含む)
- 9 事後指導における実習の総括と自己評価、課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

実習施設についての概要を事前に調べる。手あそびを数多く知るようになり、絵本の読み聞かせの練習をしたりする。

### 課題・評価方法、その他

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席は、1回につき5点減点とする。遅刻は3点減点とする。

### テキスト

「施設実習 パーフェクトガイド」 わかば社  
「【改訂2版】これだけは知っておきたい保育のマナーと言葉」わかば社

### 参考図書

あそびうた大全集 永岡書店  
手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児の発達過程をしっかり把握し、保育実践の知識や技術をできるだけ多く身につけておく。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育実習指導Ⅱ			17821	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 民間保育士			

### 授業の到達目標

保育実習ⅠAを通して得た自己課題をもとに、保育技術面での向上を旨として学習し、出来る限り実践能力を養い保育実習Ⅱに取りくむことができるようにする。KAISEI パーソナリティのK（思いやり）とI（知性）、E（奉仕）を考え、A（自律）を養う。

### 授業の概要

保育実習ⅠAで修得した知識をもとに、保育実習Ⅱでは現場での保育実践を念頭に置き、保育指導案や保育実践に取り組めるように、必要な知識や技術を学ぶ。

### 授業計画

- 1 保育実習Ⅱの意義・目的を理解する
- 2 保育実習Ⅱに関する事務手続き、書類等の配布と指導  
個人票の書き方について
- 3 保育実習に向けての遊びの指導①
- 4 保育実習に向けての遊びの指導②
- 5 保育実習に向けての遊びの指導③
- 6 実習指導案の作成 実習指導案に基づいた保育内容の確認、実践
- 7 実習記録の書き方について
- 8 実習の心構え、留意事項(事後の実習園に対するお礼状の書き方等含む)
- 9 事後指導における実習の総括と自己評価 課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席1回につき5点減点。遅刻1回につき3点減点。

### テキスト

保育実習指導の手引き（海星版）  
必要資料については随時プリントを配布する。

### 参考図書

手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに  
あそびうた大全集 永岡書店  
3、4、5歳児が夢中になる実践！造形遊び ナツメ社

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児に関する保育実践の知識や技術ができるだけ多く身につけておく（絵本の読み聞かせ・制作・手あそび・歌など）

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
神経・生理心理学			17827	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
古谷 真樹	選択	2				

### 授業の到達目標

中枢神経や自律神経の構造と機能について理解し、注意や記憶、感情等の生理学的反応の機序、夢などのトピックから、心と脳の関係および高次脳機能障害の概要について説明できるようになる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

神経・生理心理学は複雑で多様な人間の心理とそれに伴う行動について、脳神経をはじめ生理指標から考察する学問である。中枢神経や自律神経の構造や機能といった基礎的な内容から医療や福祉、教育現場における応用まで幅広く学ぶ。

### 授業計画

- 1 神経心理学・生理心理学とは
- 2 中枢神経系(脳神経系の構造及び機能)
- 3 ニューロンと活動電位
- 4 高次脳機能障害とその原因疾患
- 5 高次脳機能障害(注意障害・記憶障害)
- 6 高次脳機能障害のリハビリテーション
- 7 睡眠中の認知活動
- 8 動機づけと脳神経系
- 9 自律神経系と情動
- 10 皮膚電気活動と筋電図
- 11 神経伝達物質
- 12 ホルモン
- 13 リラクゼーション法
- 14 テストバッテリー
- 15 まとめと試験
- 16

### 授業の方法

事前学修としてプリントに次回の内容を調べて提出してもらう。  
毎回、授業始めに復習の小テストを行う。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点60%（事前学修のプリントまとめ30%、小テスト30%）、定期試験40%

### 欠席について

1回欠席で5点減点（小テスト含む）、5回以上の欠席で不合格とする。

### テキスト

適宜紹介する。

演習科目〈演習科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	a	17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
浅井 由美	必修	2			

### 授業の到達目標

卒業研究計画書を作成する。卒業研究全体の3分の1を完成させる。研究する視点や態度、論理的に考え書く力を養う。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

自分の研究テーマに基づいて研究を進める。調査、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成などを通して、研究を深める。

### 授業計画

- 卒業研究テーマの確認
- 卒業研究の方法等の確認
- 卒業研究の執筆手順
- 卒業研究中間報告 1
- 卒業研究中間報告 2
- 卒業研究中間報告 3
- 卒業研究中間報告 4
- 卒業研究中間報告 5
- 卒業研究中間報告 6
- 卒業研究中間報告 7
- 卒業研究中間報告 8
- 卒業研究中間報告 9
- 卒業研究中間報告 10
- 今後の研究の進め方
- まとめ

### 授業の方法

プレゼンテーションやディスカッションを多くとり入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。  
平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき2点減点する。

### テキスト

なし。

### 参考図書

授業中に必要に応じて指示する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	b	17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
濱田 誠二郎	必修	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員		

### 授業の到達目標

漠然とした研究のテーマを先行文献や資料を読み深めることで、具現化する。仲間の研究過程を聞き合い、コミュニケーション能力も身につける。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）A（自律）を育成する。

### 授業の概要

参考図書、先行文献、関連資料の収集から始めてそれらの考え方の類似、相違を模索しながら、発見と納得による研究を進める。

### 授業計画

- テーマについて
- 先行文献について知る
- 先行文献の感想を発表し合う 1
- 先行文献の感想を発表し合う 2
- 問題と目的を明らかにする
- 問題と目的について討議する 1
- 問題と目的について討議する 2
- 問題と目的について討議する 3
- 問題と目的について討議する 4
- 研究の方法を知る
- 個々の研究方法を討議する 1
- 個々の研究方法を討議する 2
- 個々の研究方法を討議する 3
- 個々の研究方法を討議する 4
- 卒業研究のアウトラインを完成させる

### 授業の方法

学生相互で討議しながら、互いの考え方を客観的に捉えることができるようにする。

### 準備学修

テーマに関連するニュースや資料を、出典を明確にして収集すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

学内規定に準ずる

### テキスト

必要に応じて指示する

### 参考図書

必要に応じて指示する

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習IV	a		17113	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅井 由美	必修	2				

### 授業の到達目標

卒業研究を完成させる。研究する視点や態度と論理的に書く力を養う。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

プレゼンテーション、ディスカッションなどを通して、研究内容を深める。全体指導と個別指導を重ねて、卒業研究を完成させる。

### 授業計画

- 1 演習と卒業研究の進め方
- 2 研究発表と質疑応答 1
- 3 研究発表と質疑応答 2
- 4 研究発表と質疑応答 3
- 5 研究発表と質疑応答 4
- 6 研究発表と質疑応答 5
- 7 研究発表と質疑応答 6
- 8 研究発表と質疑応答 7
- 9 研究発表と質疑応答 8
- 10 研究発表と質疑応答 9
- 11 研究発表と質疑応答 10
- 12 卒業研究の要約
- 13 卒業研究の修正
- 14 卒業研究の発表
- 15 まとめ

### 授業の方法

プレゼンテーションやディスカッションを多くとり入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。  
平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき2点減点する。

### テキスト

なし。

### 参考図書

授業中に必要に応じて指示する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習IV	b		17113	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	必修	2				

### 授業の到達目標

自分のこだわり・気がかりを大切にテーマを決める。そのテーマにそって研究を続けながら文章表現の力をつける。それらの成果を卒業研究としてまとめる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）A（自律）を育成する。

### 授業の概要

個々のテーマに即してディスカッションを多く採り入れて指導する。さらに、正確な情報を選択、採用する資質能力を養い卒業研究を完成させる。

### 授業計画

- 1 卒業研究の概略説明
- 2 卒業研究の計画、作成の確認
- 3 卒業研究の報告と討議 1
- 4 卒業研究の報告と討議 2
- 5 卒業研究の報告と討議 3
- 6 卒業研究の報告と討議 4
- 7 卒業研究の報告と討議 5
- 8 卒業研究の報告と討議 6
- 9 卒業研究の報告と討議 7
- 10 卒業研究の報告と討議 8
- 11 卒業研究の報告と討議 9
- 12 論文推敲 1
- 13 論文推敲 2
- 14 最終報告と討議
- 15 まとめ

### 授業の方法

学生同士で論文の方向性や課題を発表し合い、コミュニケーション能力を高める手立てとする。

### 準備学修

参考文献を多く収集し、熟読すること

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

学内規定に準ずる

### テキスト

個々に応じて指示する

### 参考図書

個々に応じて推薦する

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門基礎科目〈専門基礎科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
発達心理学			17201	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	必修	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員			

### 授業の到達目標

人間の心身の発達と行動を、完成されたものとして丹念に記述するだけでなく、それが現状に至る経緯を跡付けるとともに、現在も変化あるものとして捉え、その形成を実践の中で支援することができる視点を育成する。特に以下の点を重視する。

- 1 認知機能の発達 2 自己と他者との関係の在り方と心理的発達 3 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 4 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 5 高齢者の心理  
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)、I(知性)、E(倫理)を養う。

### 授業の概要

人間の心身は、他者を含む環境との相互的関わりを通して発達していくことを、代表的な発達・学習理論を通じて紹介していく。また、精神活動の成立と展開にとつての初期経験の重要性、生涯発達という視点の大切さに触れながら、特に乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達等についての具体的な保育・教育実践の課題を考察する。さらに特に以下の点を重視する。

- 1 認知機能の発達 2 自己と他者との関係の在り方と心理的発達 3 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 4 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 5 高齢者の心理

### 授業計画

- 1 精神機能を発生的に把握するという事 生物としての発生
- 2 精神機能を発生的に把握するという事 遺伝と環境
- 3 発達段階論とPiagetの発達理論の成立
- 4 知的精神機能の発達:感覚運動期1(新生児期)
- 5 知的精神機能の発達:感覚運動期2(乳幼児期)・運動の発達
- 6 知的精神機能の発達:前操作期1(幼児期)・言語の発達
- 7 知的精神機能の発達:前操作期2(幼児期)・認知の発達
- 8 知的精神機能の発達:具体的操作期(学童期)・動機づけ・集団づくり
- 9 知的精神機能の発達:形式的操作期(学童期・青年期以降) 学習活動の在り方
- 10 初期経験と発達:野生児の例から
- 11 対人関係と発達:愛着、社会性、遊びの発達
- 12 対人関係の発達:コミュニケーション能力の発達

- 13 発達研究における生態学的視点
- 14 発達における障害の位置づけと診断・療育
- 15 人格としての生涯発達およびまとめ
- 16

### 授業の方法

講義と単元内容に相応した発達に関連する課題に毎時間回答しながら学習を進める。

### 準備学修

講義は各回が前回を前提として進められるので、毎回の講義内容をよく復習して授業に臨むようにしてください。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

欠席は1回につき5点の減点とする

### テキスト

必要な場合授業時に指示する

### 参考図書

佐藤眞子編 『人間関係の発達心理学2 乳幼児期の人間関係』培風館  
川島一夫、渡辺弥生編著 『図で理解する発達-新しい発達心理学への招待-』福村出版 2010

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
感情・人格心理学			17311	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

心理学の様々な理論、人格の形成要因や発達過程、感情が行動におよぼす影響、心の病などの視点から人格とは何かを学び、人間の個性を理解することで人間の心に関する理解を深める。「感情に関する理論及び感情喚起の機序」、「感情が行動に及ぼす影響」、「人格の概念及び形成過程」、「人格の類型、特性等」について学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI(知性)とE(倫理)を学ぶ。

### 授業の概要

人間の行動の仕方には個人差があることから人格という言葉が生まれた。その複雑な個人差を測定する方法を知るとともに、人格の形成過程や人格理論、さらには不適応の問題についても学び、自己と他者のより深い理解をめざす。

### 授業計画

- 1 はじめに:人格の定義と歴史
- 2 人格を理解する観点と理論Ⅰ:理論
- 3 人格を理解する観点と理論Ⅱ:類型論
- 4 人格を理解する観点と理論Ⅲ:特性論
- 5 人格の発達Ⅰ:人格形成の要因
- 6 人格の発達Ⅱ:ライフサイクル
- 7 人格と関係性
- 8 人間関係と性格(適性)
- 9 適性とやる気
- 10 適応と不適応
- 11 パーソナリティと不適応
- 12 交流分析とTEGⅡ他心理査定
- 13 感情とは何かⅠ-感情に関する理論および感情喚起の機序
- 14 感情とは何かⅡ-感情の進化と行動に及ぼす影響
- 15 総括

### 授業の方法

講義とグループワークを中心とする。また、適宜心理検査を紹介する。

### 準備学修

授業後の復習が必要である。

### 課題・評価方法、その他

定期試験(50%)、小レポート(20%)、出席状況(15%)、授業後の感想レポート(15%)

### 欠席について

欠席が5回以上で不合格とする。

### テキスト

適宜プリント資料として配布する。

### 参考図書

詫摩武俊・瀧本孝雄・鈴木乙史・松井豊『性格心理学への招待 自分を知り他者を理解するために』サイエンス社  
大山泰宏・佐々木玲仁『感情・人格心理学』NHK出版

### 留意事項

「授業」は授業者と学生の相互の協力のもとに成立するものであるから、学生諸君は要望、意見を忌憚なく述べて欲しい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
情緒障害児・知的障害児教育			17539	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員			

### 授業の到達目標

社会の縮図と言われる学校・園で、子どもたちが生きづらさを感じてきた要因について指導者の理解を深める。絡み合った要因を学校・園、家庭、関係諸機関とどのように連携してきたか、また、さらに将来的な支援のベクトルについて自分の考えを持つ。このクラスはKAISEIパーソナリティーのI（知性）とE（倫理）の観点から、インクルーシブ教育を理解し、実践する意欲を養う。

### 授業の概要

情緒・自閉症特別支援学級の教育課程上の課題を知り、試みられてきた問題解決策を検証する。学校・園に在籍する発達に課題がある子どもへの対応は、決してセオリー通りにはいかない。事例をできるだけ多く採り入れて、対応の共通点を見出して理解することが基礎・基本である。それらをベースにして支援の方法、留意点を解説する。

### 授業計画

- 1 発達に課題がある子の「困り感」への気づき
- 2 保育士・教師としてできる個別配慮
- 3 介助者が加わったときの役割
- 4 室内トラブルへの対応その1 解決のポイント
- 5 室内トラブルへの対応その2 立ち歩きやエスケープ
- 6 室内トラブルへの対応その3 人間関係のトラブル
- 7 室内トラブルへの対応その4 パニックを起こしたときの対処
- 8 保護者とともに子どもを育てるその1 保護者面談の進め方
- 9 保護者とともに子どもを育てるその2 親から学ぶ支援のあり方
- 10 周りの子どもやその保護者への対応その1 周辺の子ども
- 11 周りの子どもやその保護者への対応その2 保護者に対して
- 12 チーム支援その1 確かな情報を共有する
- 13 チーム支援その2 実態の把握方法
- 14 チーム支援その3 組織的支援の進め方
- 15 学校・園に合ったチェックリストを作成
- 16

### 授業の方法

講義が中心となるがペアトーク、グループトークを採り入れて各自の考えが発信できるよう工夫する。

### 準備学修

マスコミ等でとり上げられる子どもに関する記事について、複数の視点で考える習慣を期待する。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

学内規定に準ずる

### テキスト

杉山 登志郎 『子どもの発達障害と情緒障害』（健康ライブラリーイラスト版）

### 参考図書

必要に応じて紹介する。

### 留意事項

ユニバーサルデザイン、インクルーシブシステム等特別支援教育に係るマスコミ報道に興味・関心を持つ。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
福祉心理学			17543	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
新美 裕之	選択	2	認知症専門病院の心理師、児童養護施設・児童心理治療施設の主任セラピスト、臨床心理士・公認心理師			

### 授業の到達目標

- ・福祉心理学関連の法・制度・用語を理解できる。
- ・福祉現場において生じる問題及びその背景について理解できる。
- ・福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援について理解できる。
- ・虐待についての基本的知識を身につける。
- ・このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのS（奉仕）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

福祉心理学の分野は幅広く支援対象者もさまざまであり、必要となる支援内容も多岐にわたる。しかし人の安全・安心を保障し、安定した生活へと支援していくという点では共通している。このクラスでは福祉領域における心理臨床について、まずは福祉対象者への心理支援の必要性とあり方を総論的に学び、その後福祉心理学的心理支援の実践について実践内容を中心に学ぶ。その中で虐待をはじめとする福祉現場における心理社会的課題や必要な支援、さらには福祉現場で生じる問題とその背景についても理解し、実践的知識を身につける。

### 授業計画

- 1 第1章 社会福祉の展開と心理支援
- 2 第2章 総論：生活を支える心理支援
- 3 第3章 暴力被害者への心理支援
- 4 第4章 高齢者への心理支援
- 5 第5章 障害・疾病のある人への心理支援
- 6 第6章 生活困窮・貧困者への心理支援
- 7 第7章 児童虐待への心理支援の実践
- 8 第8章 子どもと親への心理支援の実践
- 9 第9章 認知症高齢者の心理支援の実践
- 10 第10章 ひきこもり・自殺予防の心理支援の実践
- 11 第11章 精神障害者への心理支援の実践
- 12 第12章 家族・職員への心理支援の実践
- 13 第13章 福祉分野での多職種協働と心理職の位置づけ
- 14 第14章 多職種協働実践事例報告
- 15 福祉心理学のまとめ
- 16

### 授業の方法

授業は基本的に各章のテキストの内容に沿って講義形式で進める。福祉現場への理解を深めるため、適宜レジュメを配布し、実践的知識の習得を目指す。

### 準備学修

webで参照すること

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

通常欠席は5回を超えると不合格とする。遅刻・早退は減点する。特例欠席において、補填を希望する場合には、必ずその旨を申し出ること。

### テキスト

野島一彦・繁樹算男 監修 中島健一 編 2018 公認心理師の基礎と実践⑩ 福祉心理学 遠見書房

### 留意事項

講義は基本的にテキストの各章の内容に沿って行う。テキストを購入すること。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育・教職実践演習 (小)			17686	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2	公立小学校教員			

### 授業の到達目標

保育・教職課程科目の学修や学校園での現場学習等を通じて、保育士・教員として必要な資質能力が、実践力としてどのように統合されたかを最終的に確認する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)とI(知性)の育成を目指す。

### 授業の概要

実習で学んだことを振り返り、課題を確認するとともに保育者・教育者としての役割と責務についての認識を深めていく。職務への使命感、社会性や対人関係能力、また、学級経営能力や指導力を高め、保育者・教育者としての資質の向上を目指す授業を進める。

### 授業計画

- 1 授業概要の説明、受講の心構え、これまでの学修の振り返り
- 2 保育・教職の意義や保育士・教員の役割、職務内容、子どもに対する責任等についての討議
- 3 社会性や対人関係能力(職場、保護者・地域との人間関係の構築等)についての講義・グループ討議
- 4 幼児・児童理解や学級経営についての講義・グループ討議
- 5 保育計画案・学級経営案の作成
- 6 保育計画案・学級経営案の発表とグループ討議
- 7 学校園現場の見学・調査①
- 8 学校園現場の見学・調査②
- 9 社会性、対人関係能力、幼児・児童理解、学級経営についてのグループ討議
- 10 保育・教科の指導力についての講義・グループ討議
- 11 模擬保育・模擬授業と討議①
- 12 模擬保育・模擬授業と討議②
- 13 事例研究とロールプレイング①
- 14 事例研究とロールプレイング②
- 15 目指す教師像と自己課題の確認

### 授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

### 準備学修

事前に課題を提示するので、レポートや作品等を作成すること。具体的な課題については、保育・教職(幼・小)の各担当教員から提示する。

### 課題・評価方法、その他

- ①レポートや作品等の提出物については、担当教員が指導助言を行う。
- ②評価方法は平常点70%、定期試験30%とする。

### 欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

### テキスト

必要に応じて指示する

### 参考図書

厚生労働省『保育所保育指針解説』、文部科学省『幼稚園教育要領解説』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説』フレール館、文部科学省『小学校学習指導要領』、わかば社『教職実践演習 これまでの学びと教師への歩み』

### 留意事項

自己目標・課題をもって意欲的に授業に臨むこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育実習指導(幼稚園) I	教職幼		17691	II	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳	選択	1				

### 授業の到達目標

幼児期の子どもの教育と幼稚園教諭の職務についての知識を身につける。その上で、教育実習の基本となる観察力や状況把握力を養い、実習での学びを深められるようにする。教育実習に向けて準備すべきことや心構えを学ぶ。実習記録や指導計画の作成をし、実践力を身につける。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA(自律)とK(思いやり)の育成をめざす。

### 授業の概要

教育実習に向けての事前指導および実習後の振り返りを行う。1週間の観察・参加実習にあたり、教育実習の目的・意義、特に実習記録のとり方について具体的に学ぶ。また、実習生の心得や遵守すべきことについて理解する。実習後の振り返りでは、子ども理解や幼稚園教諭の職務について理解を深めると共に、自らの課題を明確にし、資質向上をめざす。

### 授業計画

- 1 幼児教育・幼稚園教諭とは
- 2 教育実習の意義と目的、個人目的の設定
- 3 教育実習園の選択と決定
- 4 教育実習園の教育などの理解
- 5 教員に求められる資質
- 6 週間実習に向け、園への依頼の仕方
- 7 実習記録の取り方と記載について
- 8 実習記録の記載に際しての留意事項
- 9 実習に際しての具体的な留意事項
- 10 実習後について(礼状の作成など)
- 11 1週間実習を終えての成果や課題について協議①
- 12 1週間実習を終えての成果や課題について協議・発表②
- 13 実習記録について個人指導及び指導①
- 14 実習記録について個人指導及び指導②
- 15 実習記録について個人指導及び指導と3週間実習に向けての準備

### 授業の方法

テキストやプリントをもとに、具体的な内容で授業を進める。実習後は、実習園から返却された実習記録や評価をもとに、自らの成果

と課題を明確にする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①課題の提出を求め、授業内で評価と助言を行う。
- ②平常点70%、定期試験30%で評価する。

### 欠席について

基本的に欠席は認められない。必ず全回出席すること。やむを得ず欠席する時は必ず事前に申し出ること。その場合のみ1回につき3点の減点とする。

### テキスト

本学作成の「幼稚園教育実習の手引き」  
「あそびうた大全集200」永岡書店

### 参考図書

「保育とカリキュラム」ひかりのくに社  
幼稚園教育指導資料「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」チャイルド社

### 留意事項

免許取得のための教育実習に向けた授業であることを十分心得ておくこと。  
授業内で取り組む内容には、実習園へ提出する書類作成等も含まれる。そのため、提出期限を厳守すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
障害者・障害児心理学			17783	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

本講義では、障害をもつ子どもたちへの教育、障害理解のための心理社会的知識、特別支援教育の在り方を学ぶことを目的としている。「身体障害、知的障害及び精神障害の概要」と「障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援」について、特別支援教育の観点から学ぶ。このクラスは、KAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とI（知性）を考える。

### 授業の概要

特別支援教育の制度、背景、どのような取り組みがなされているのかを学ぶ。それだけでなく、障害理解のために必要な専門知識を身に付ける。それらを踏まえ、子どもの一生涯における発達と教育の在り方について考える。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 特別支援教育の現状
- 3 視覚障害の理解と特別支援教育
- 4 聴覚障害の理解と特別支援教育
- 5 言語障害の理解と特別支援教育
- 6 知的障害の理解と特別支援教育
- 7 発達障害の理解と特別支援教育 1
- 8 発達障害の理解と特別支援教育 2
- 9 肢体不自由の理解と特別支援教育
- 10 それぞれの障害の理解と特別支援教育 1
- 11 それぞれの障害の理解と特別支援教育 2
- 12 特別支援教育の変遷
- 13 生涯発達支援について 1
- 14 生涯発達支援について 2
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義形式を中心に、受講者が実際の教育現場でどのように実践するかを考える時間を設ける。

### 準備学修

毎日テキストを30分程度、読む。

### 課題・評価方法、その他

考える時間を設けた後は、担当教員からフィードバックを行う。平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

高橋 智 編著『インクルージョン時代の障害理解と生涯発達支援』（日本文化科学社）

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育実習指導（小学校）	教職小		17785	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	1	公立小学校教員			

### 授業の到達目標

小学校で教育実習を行う責任と心構えを認識するとともに、実習に必要な知識・技術を身に付ける。また、教育実習の成果と課題を振り返り、さらに身に付けるべき知識や技能等について理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

教育実習に必要な基礎的・基本的な知識、教育現場の現状や実習中の心構え等について講義を進める。また、具体例や実践を通して、小学校教師の様々な仕事と職責について学ぶ。

### 授業計画

- 1 受講の心構え・授業内容についてのガイダンス、小学校教育実習を受ける前に
- 2 実習校との事前打合せ、小学校の組織と日程
- 3 実習中の心得(勤務、礼儀、言葉遣い、服装、持ち物)
- 4 実習中の心得(学級経営、給食指導、休み時間)
- 5 児童や教職員との接し方
- 6 実習記録の書き方
- 7 学習指導と生徒指導
- 8 算数科模擬授業(低学年)
- 9 算数科模擬授業(高学年)
- 10 教育実習の成果と課題
- 11

### 授業の方法

書く活動と発表を多く取り入れる。

### 準備学修

テキストの指定ページを予習したり、指導案を作成したりしておくこと。詳細については、Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①指導案と模擬授業について、評価とアドバイスをを行う。
- ②評価方法は平常点70%、定期試験30%とする。

### 欠席について

欠席は10点減点し、遅刻は3点減点する。

### テキスト

石橋裕子・梅澤実・林幸範『小学校教育実習ガイド』萌文書林

### 参考図書

文部科学省『小学校学習指導要領解説』東洋館出版社

### 留意事項

小学校教育実習の知識や技術を修得し、教師としての心構えを学ぶ授業であることを認識して授業に臨むこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。



専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC	17437	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「社会」)(箕野) 私立中学高等学校教員(科目「英語」)(宮副)		

### 授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI(知性)を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)、In(国際性)を養う。(宮副)

### 授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)

英米の児童文学の文化と歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外ではフランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

### 授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其一 桃太郎」
- 2 「金太郎」・「酒呑童子伝説」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 有島武郎「一房の葡萄」
- 5 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 6 岡田淳「童退治の騎士になる方法」
- 7 日本の現代児童文学について
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
- 10 ナーサリーライム(マザーグース)
- 11 L.M.オルコット『若草物語』
- 12 R.L.スティーブンソン『宝島』
- 13 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 14 ペアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

### 授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。(箕野)

講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。(宮副)

### 準備学修

Web参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験(レポート)30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。(箕野)

平常点30% レポート(2回)50% 提出物等20%、で評価する。(宮副)

レポートは2回であるが、ミニレポートの提出も2~3回求める。

### 欠席について

規定に従う。

### テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)

『英米児童文化55のキーワード』白井澄子、笹田裕子編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。(宮副)

### 参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと言葉		17439	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

### 授業の到達目標

(1) 人間の言葉の意義と機能では、人間の言葉の意義と機能を理解し、言葉の発達過程とその特徴について理解すること (2) 言葉に対する感覚を豊かにする実践では、言葉の感覚を豊かにする指導について基礎的な知識や、言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉を育む基礎的に実践を身に付ける (3) 言葉を育て、想像する楽しさを広げる児童文化財と実践について、その意義について説明できるように、児童文化財を教材とした基礎的な実践を身に付ける。以上を目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)を養う。

### 授業の概要

領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的な知識を身に付ける。人間らしさの特徴でもある言葉の意義と機能を理解し、幼児の言葉を豊かに育み、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識と技能を身に付ける。

### 授業計画

- 1 人間の言葉とその機能及び意義
- 2 子どもの言葉の発達過程
- 3 言葉に対する感覚を豊かにすることの重要性
- 4 言葉に対する感覚を豊かにする保育の実践(情報機器及び教材の活用を含む)
- 5 子どもの言葉を豊かに育む児童文化財とその意義
- 6 子どもの言葉を豊かに育む絵本・物語・紙芝居
- 7 子どもの言葉を豊かに育む教材を使った保育の実践(情報機器及び教材の活用を含む)
- 8 子どもの言葉による伝え合いと小学校教育への接続
- 9

### 授業の方法

講義とディスカッション、発表を取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出や教材提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年 株式会社フレーベル館  
厚生労働省『保育所保育指針解説』平成30年 株式会社フレーベル館  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』平成30年 株式会社フレーベル館

### 参考図書

太田光洋、古相正美、野中千都『保育ニュー・スタンダード 保育内「言葉」一話し、考え、つながる言葉の力を育てる』2021年 株式会社同文書院 その他適宜配布する

### 留意事項

日頃から、絵本に親しみ読書量を増やすように努めること。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュⅡ	PC	17469	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
天野 史子	選択	2	児童英語講師、児童英語・小学校英語指導者養成指導、小学校英語活動支援員		

### 授業の到達目標

キッズ・イングリッシュⅠで体験した指導法を活用し、年齢・発達過程にあった指導案を作成する。学生自身が、将来、幼稚園、小・中学校、高校、英会話学校等での指導に役立つ授業創りを考え、幼稚園、小学校などで、実際に授業を体験する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）を考える。

### 授業の概要

春学期で体験した指導法とその意義を理解し、児童期の学習者の特性と英語授業のあり方を踏まえた音声、文字、語彙・表現、文法指導についての知識と技術を活用し、指導案作成、教材教具作成、模擬授業を行う。その上で、実際に小学校現場などでの授業体験を通じて、学生自身が将来の児童英語指導者としての実践力を身につける。

### 授業計画

- 1 児童の発達段階にあった英語活動を創る(1) [指導案作成のポイント]
- 2 児童の発達段階にあった英語活動を創る(2) [絵カード・教具・ワークシート作成法]
- 3 児童の発達段階にあった英語活動を創る(3) [指導案草案発表]
- 4 実習授業指導案作成(1)『教材研究』
- 5 実習授業指導案作成(2)『教具作成』
- 6 実習授業指導案作成(3)『評価の観点と振り返りカード作成』
- 7 実習授業指導案発表と模擬授業
- 8 第1回 小学校英語活動 実習授業
- 9 実習リフレクション
- 10 実習授業指導案作成(4)『教材研究・指導案発表』
- 11 実習授業指導案作成(5)『教具作成』
- 12 実習授業指導案作成(6)『評価の観点と振り返りカード作成』
- 13 実習授業指導案発表と模擬授業
- 14 第2回小学校英語活動 実習体験
- 15 まとめ 授業評価、ポートフォリオ作成
- 16

### 授業の方法

指導案作成、教材・ワークシート作成、模擬授業をした上で、小学校英語活動の指導・支援を実際に現場で体験する。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、レポート30%

### 欠席について

参加・発表型授業であり、小学校英語活動実習を行うので必ず出席すること

### テキスト

授業時にハンドアウト、及び、教材配布

### 参考図書

『小学校英語教育の進め方』岡秀夫、金森強 成美堂  
『小学校英語の教育法 理論と実践』アレン玉井光江 大修館書店  
『小学校英語 はじめる教科書』小川隆夫・東仁美 mpi

### 留意事項

子どもに英語を教える授業を、自らが積極的に創る。実習に出かけるときは、指導者としてふさわしい服装・態度で臨むこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等音楽4		17477	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
南 夏世	選択	2			

### 授業の到達目標

豊かな感性と表現を育てることができる指導者を目指すために、領域「表現」についてのねらい・内容を理解し、子どもの発達や現代の環境等を踏まえた幅広い表現活動が展開できるよう教材を研究し、実践する方法を修得する。この授業ではKAISEIパーソナリティのI（知性）とA（自律）とS（奉仕）を身につける。

### 授業の概要

領域「表現」の目標・内容を学び、子どもの成長に合わせた活動内容や指導法を修得する。まず合奏の演習を通して、手拍子・リズム奏・リズム遊び等からリズムについての理解を深め、合わせて合奏譜を各自で作成することにより、楽典・読譜の基礎を固める。そして、日々の活動に必要な弾き歌いの演習を通して、実習に向けて模擬授業の実践を行う。さらに、実習や表現活動に必要なピアノ演習やグループのテーマによる活動の練習から、総括として現場で実践するための指導力を身につけていく。

### 授業計画

- 1 領域「表現」の概説。子どもの成長と音楽の関わりについて。
- 2 わらべうたと子どもの歌など歌唱教材研究と演習。
- 3 季節の歌など歌唱教材研究と演習。
- 4 季節の歌など歌唱教材研究と演習。
- 5 打楽器の奏法とリズム合奏。
- 6 合奏演奏と編曲法。
- 7 合奏演奏と編曲法。楽譜の書き方。
- 8 合奏演奏と編曲法。楽譜の書き方。
- 9 表現活動のためのピアノ個人レッスン。楽典。
- 10 指導の実践。
- 11 指導の実践。
- 12 表現活動のためのピアノ個人レッスン。楽典。
- 13 さまざまな表現活動とそのまとめ。
- 14 グループが定めたテーマによる表現活動の総合演習。
- 15 グループが定めたテーマによる表現活動の総合演習。
- 16

### 授業の方法

実技が中心である。個人であるいはグループで発表や実演を行う。

### 準備学修

Webを参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①項目ごとにテスト、発表を実施し、フィールドバックを行う。
- ②平常点70%、定期試験30% レポート提出も求める。

### 欠席について

授業毎の発表や演習が評価対象になるので、できるだけ欠席しないこと。

### テキスト

『弾こう♪歌おう♪子どもとともに』(YAMAHA MUSIC MEDIA)  
『リズム曲集』(サーベル社)

### 参考図書

授業時に指示する。

### 留意事項

初回に配る個人カードに毎回の学習や演習を必ず記録し、定期試験の際に提出すること。  
音楽に合わせた身体表現発表が適宜あるので、動きやすい服装で受講すること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもの理解と援助			17412	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅田 裕子	選択	1	公立保育所保育士 私立こども園保育アドバイザー			

### 授業の到達目標

保育実践において、子ども一人一人の発達や学びを把握することの意義について理解する。子どもが、生活や遊びの中で、何を体験し学んでいくのか、子どもを理解するための基本的な考え方を学ぶ。合わせて子どもの心身の発達や保育実践について学ぶと共に保育における発達援助の基本について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

子どもの発達と学びをとらえ、子どもを理解する際に必要となる様々な視点や方法について、具体的な事例や演習を通して学び、考察する。また特別な配慮を要する子どもへの援助や保幼小の接続、保護者支援など、子どもをめぐる課題についても理解を深めるようにする。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 子どもの発達と保育実践① 子ども理解における発達の把握
- 3 子どもの発達と保育実践② 保育者のかかわりと子どもの発達
- 4 生活や遊びを通じた学びの過程① 子どもの生活と学び
- 5 生活や遊びを通じた学びの過程② 子供の遊びと学び
- 6 保育における発達援助① 基本的な生活習慣の獲得と発達援助
- 7 保育における発達援助② 特別な配慮を要する子どもへの理解と援助
- 8 まとめ・定期試験

### 授業の方法

事例を多く取り入れ講義を進める。またグループ討議や意見発表を行う。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50% 定期試験50%

### 欠席について

欠席数は成績評価に反映する。

### テキスト

必要に応じて、資料を配布する。

### 参考図書

保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、幼稚園教育要領解説（フレーベル館）  
子ども理解と保育実践（萌文書林）

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等音楽2			17421	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
南 夏世	選択	2				

### 授業の到達目標

幼児・児童の豊かな感性と表現を育むために、実践に必要な音楽の基礎的能力を高めることがねらいである。子どもの発達や現代の環境をふまえ、幅広い表現活動が展開できる保育者を目指し、「楽典」「歌唱・弾き歌い」「ピアノ演奏」を軸に、個人の音楽技能を伸ばす。

このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を身につける。

### 授業の概要

「楽典」については、コード学習に加え、調性やカデンツの学習と演習を重ねる。「歌唱・弾き歌い」については、弾き歌いのレパートリーを増やすとともに、楽曲にふさわしい伴奏型でコード奏ができるように演習する。さらに、「ピアノ演奏」については、各自の進度に応じたピアノ曲を、表情豊かに演奏できるようにピアノ技能を高めていく。その際、各自の目標として定められている曲数を合格しなければならない。

### 授業計画

- 1 コード復習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 2 調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 3 調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 4 調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 5 調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 6 調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 7 調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 8 コード伴奏と実演。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 9 弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 10 弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 11 弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 12 こどもの発達と歌唱教材。連弾。
- 13 こどもの発達と歌唱教材。連弾。
- 14 様々な表現活動について。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 15 様々な表現活動について。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 16

### 授業の方法

前半は音楽の基礎学習と歌唱・弾き歌い等の演習をクラス全体で行

い、後半はピアノの個人レッスンを行う。

### 準備学修

Webを参照すること

### 課題・評価方法、その他

- ① 毎時間ピアノレッスンをし、フィールドバックを行う。
- ② 平常点70% 定期試験30%  
定期テストは、ピアノ演奏、弾き歌い、筆記の3項目を実施する。授業内で行われる連弾・コード等の小テストは平常点に反映する。
- ③ 個人の進度に応じて与えられた課題を終えなければ定期試験を受けることはできない。

### 欠席について

欠席回数が評価に大きく関与する。5回を越えると単位修得できない。

### テキスト

弾き歌いテキスト「マイレパートリー」（yamaha music media corporation）  
ピアノテキスト「大学ピアノ教本」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム1」等は各自の進度に応じて使用する。

### 参考図書

授業内で随時提示する。

### 留意事項

配布する「個人カード」に各自の進度を記入し、毎回持参すること。これがなければテストを受けられない。  
授業の前には、必ず爪を切っておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワー、またはピアノ補講時間を活用すること。  
日時については、教務課前掲示板を確認すること。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
司法・犯罪心理学			17831	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
十倉 利廣	選択	2	法務省心理専門職として犯罪アセスメントや処遇に従事する。少年鑑別所長、矯正研修所長等を歴任する。			

### 授業の到達目標

- ・司法・犯罪分野の制度及び同分野の心理臨床の領域を概観できる。
- ・犯罪原因やメカニズムに関する諸理論を理解できる。
- ・警察関係機関、家庭裁判所（少年及び家事）、少年鑑別所、少年院、刑事施設（刑務所）、保護観察所、被害者支援領域における心理臨床業務に関する知識を習得する。
- ・非行・犯罪に関するアセスメント及び処遇技法に関する基礎知識を習得する。
- ・この授業を通して、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を身につける。

### 授業の概要

司法・犯罪領域における心理臨床の理論や業務を理解するために、犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を身につけるとともに、司法・犯罪分野の問題に対して必要な心理支援についての基本的知識を身につける。

### 授業計画

- 1 司法・犯罪心理学の基礎知識
- 2 犯罪心理学理論の進展 1
- 3 犯罪心理学理論の進展 2
- 4 各種犯罪 1 (窃盗)
- 5 各種犯罪 2 (薬物犯罪)
- 6 各種犯罪 3 (性犯罪)
- 7 各種犯罪 4 (暴力犯罪)
- 8 捜査心理学 1 (プロファイリング)
- 9 捜査心理学 2 (虚偽検出, 証言)
- 10 精神鑑定
- 11 家庭裁判所における心理臨床
- 12 少年鑑別所における心理臨床
- 13 少年院・刑務所における心理臨床
- 14 犯罪被害者支援
- 15 まとめ及び試験

### 授業の方法

講義を中心とする。資料等について、Web上で提供する。  
なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、授業方

法が変更されることがある。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

適宜レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。  
平常点70%、定期試験30%  
なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、評価方法が変更されることがある。

### 欠席について

原則として、欠席数が5回を超える場合は成績評価対象外とする。

### テキスト

毎回講義資料を配布する。

### 留意事項

なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、授業方法や評価方法等が変更されることがあるので、留意しておくこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
健康・医療心理学			17835	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石川 慎一	選択	2	精神科、心療内科における診療、保健所での精神保健相談、児童福祉施設での精神医療、産業医活動。			

### 授業の到達目標

- ① ストレスと心身の疾病との関係
  - ② 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援
  - ③ 保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援
  - ④ 災害時に必要な心理に関する支援
- 以上を習得し、公認心理師資格の取得を目標に行われる講義である。  
このクラスではKAISEIパーソナリティの、K（思いやり）とI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

公認心理師の国家資格の受験資格要件に必要な科目の1つを提供する。健康保健・医療分野における、心理職に必要とされる心理学的概念とその操作を学習し、そのもとで展開される実際の活動を幅広く理解する。健康心理学、医療心理学の基礎概念である、健康とは何か、疾病予防の考え方、健康増進に対する心理学的なアプローチ、ストレスと心理支援を獲得し、多職種協働の行動様式で実践される健康・医療の様々な現場における心理支援の実践について領域ごとに学ぶ。

### 授業計画

- 1 ガイダンス
- 1章 健康医療心理学
- 2章 健康心理学におけるアセスメントと支援
- 3章 ストレスマネジメント
- 4章 各種の心理支援法
- 5章 医療心理学
- 6章 医療心理学におけるアセスメントと支援
- 7章 精神科、児童精神科(精神科コンサルテーション・リエゾン)
- 8章 院内独立型心理室
- 9章 心療内科
- 10章 小児科(母子保健含む)
- 11章 緩和医療
- 12章 産業保健
- 13章 地域保健活動の実践
- 14章 災害医療
- 15章 多職種協働と医療連携

15 1-15章 総括

### 授業の方法

講義形式で行う。

### 準備学修

テキストの予習復習、レポートの提出。

### 課題・評価方法、その他

出席・レポート：60点（各授業、出席2点・レポート2点x15回）  
終了時課題：40点  
\*提出物は期限内に提出されたもののみ採点  
\*レポートは所定の電子ファイルのみで採点  
\*出席点は実際に講義に参加した場合のみ加算

### 欠席について

各授業への欠席、遅刻で2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格。

### テキスト

宮脇稔他編『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社

### 留意事項

本講義は公認心理師カリキュラムの必修科目である。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
産業・組織心理学			17847	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
安岡 勇輝	選択	2				

### 授業の到達目標

人が幸福に働くとはどういうことか、働く上での心理的問題をどう考えるかについて、産業・組織倫理学の知見をもとに深めていく。特に職場における問題（キャリア形成に関することを含む）に対して必要な心理に関する支援や、組織における人の行動について取り扱う。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

産業・組織心理学の知見を学びながら、人が幸福に働くためには何が必要なのか、働く上での心理的問題にどう対応し、どのように支援していくかについて学習する。また、消費者のニーズはいかに成立するのか、その過程についても学習する。

### 授業計画

- 1 産業・組織心理学の歴史
- 2 ワーク・モチベーション
- 3 採用と面接
- 4 人事評価
- 5 キャリア発達①
- 6 キャリア発達②
- 7 職場のコミュニケーションと人間関係①
- 8 職場のコミュニケーションと人間関係②
- 9 リーダーシップ
- 10 消費者行動とマーケティング
- 11 仕事の能率と安全①
- 12 仕事の能率と安全②
- 13 職場のストレスとメンタルヘルス①
- 14 職場のストレスとメンタルヘルス②
- 15 試験

### 授業の方法

レジメと教科書を用いて、講義形式で授業を進める。

### 準備学修

事前に産業・組織心理学の基本的な分野について予習を進めておく

こと。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

通常欠席は5回を超えると不合格とする。遅刻・早退は減点する。特例欠席において、補填を希望する場合には、必ずその旨を申し出る事。

### テキスト

山口裕幸・金井篤子 2007 よくわかる産業・組織心理学 ミネルヴァ書房

### 参考図書

太田信夫 監修 金井篤子 編集 2017 シリーズ心理学と仕事 産業・組織心理学

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
精神疾患とその治療			17851	IV	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石川 慎一	選択	2	精神科、心療内科における診療、保健所での精神保健相談、児童福祉施設での精神医療、産業医活動。			

### 授業の到達目標

- ①精神疾患総論（代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。）
  - ②向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化
  - ③医療機関との連携
- 以上を習得し、公認心理師資格の取得を目標に行われる講義である。このクラスでは、海星パーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

精神医学の考え方、精神医学的診断、精神疾患の治療方法である、薬物療法（向精神薬の種類、作用・副作用等）や心理療法（心理療法の種類、本人や家族への支援等）等について概説する。また、代表的な精神疾患について成因、特徴、症状、経過、治療について解説する。さらに、精神医学の応用例として、コンサルテーションリエゾン、多職種協働、医療連携について学び、公認心理師の精神科医療での役割や業務について理解する。

### 授業計画

- 1 精神疾患とは
- 2 精神症状のみかた・精神疾患の診断
- 3 精神疾患と薬物療法
- 4 心理療法について
- 5 統合失調症
- 6 うつ病、双極性障害
- 7 強迫症、不安症群
- 8 適応障害
- 9 神経発達症群
- 10 児童・思春期における心理的問題
- 11 女性の心理的問題
- 12 高齢期における心理的問題
- 13 公認心理師の役割
- 14 リエゾン精神医学、多職種協働
- 15 まとめ

### 授業の方法

テキストを用いた講義形式で行う。毎回課題が出される。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

出席・レポート：60点（各授業、出席2点・レポート2点x15回）  
 終了時課題：40点  
 \*提出物は期限内に提出されたもののみ採点  
 \*レポートは所定の電子ファイルのみで採点  
 \*出席点は実際に出席した場合に加点

### 欠席について

各授業への欠席、遅刻で2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格。

### テキスト

公認心理師カリキュラム準拠 精神疾患とその治療 三村将ら編 医歯薬出版

### 参考図書

専門医がやさしく語る はじめての精神医学 改訂第2版 渡辺雅幸 中山書店 2007

### 留意事項

本講義は公認心理師カリキュラムの必修科目である。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等体育		17513	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
山本 正実	選択	2	公立小学校教員		

## 授業の到達目標

小学校学習指導要領、及び幼稚園要領に基づき、教材の実技を体験する。教材の概略を知って、運動学習の工夫を学ぶ。グループワークを通してKSAISEIパーソナリティK（思いやり）とA（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

## 授業の概要

小学校体育の教材内容に繋がる実技を通して、運動の楽しさを感じ取る。またグループ活動を通じて、他への思いやりや仲間とのつながりの大切さを学ぶ予定である。

## 授業計画

- オリエンテーション。自己紹介。初等体育の学習内容について概略を講義、班分け・準備運動をする。
- 体づくり運動系 体ほくしの運動の実技をする。
- 体づくり運動系 体の動きを高める運動の実技をする。
- 陸上運動系 ①走の運動遊び ②障害走 等をする。
- 陸上運動系 ①幅、高跳び遊び ②投の運動 ③リレー 等の実技をする。
- 集団行動について学び、その実技をする。
- 器械運動系 固定施設を使った運動遊び・マット運動の実技をする。
- 器械運動系 跳び箱運動の実技をする。
- 器械運動系 マット・跳び箱運動実技をする。
- ボール運動系 鬼遊び、ドッジボール・ボール蹴り等のゲームをする。
- ボール運動系 ベースボール型のゲームをする。
- ボール運動系 ネット型のゲームをする。
- ボール運動系 ゴール(サッカー)型のゲームをする。
- ボール運動系 ゴール(バスケットボール)型のゲームをする。
- 学習のまとめ、体育学習の工夫等について実技・講義をする。

## 授業の方法

体育の実技を行う。グループ活動を主として、運動の方法や工夫を話し合い、ともに楽しく運動する予定である。

## 準備学修

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇、令和2年度版「神戸市小学校体育指導の手引き」を元にした資料等を読み、体育指導について、事前学習及び、復習等を60時間行う。

## 課題・評価方法、その他

平常点30点、毎時の小テスト（学習カード等）70点

## 欠席について

欠席はなるべくしない。実技なので参加することに意義がある。

## テキスト

使用しない

## 参考図書

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇 令和2年度版神戸市小学校体育指導のてびき

## 留意事項

登校できるなら欠席をしない。見学も学習であることを学ぶ予定である。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと健康		17514	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

## 授業の到達目標

- 乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する
- 乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する
- 安全な生活と怪我や病気の予防を理解する
- 乳幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する、以上の4点について理解し、保育指導力（立案・実施・評価・改善）につなげる力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）K（思いやり）を養う。

## 授業の概要

健康の定義、乳幼児期の健康の意義について詳説する。また、安全教育や怪我・事故については日頃の報道内容に注目し、ICTを活用したり協働学習での発表やディスカッションを行ったりしてPBL（課題解決型）学習を行う。そして、運動を遊びや日常生活に取り入れる保育実践から領域「健康」の内容を理解し、領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を身に付ける。

## 授業計画

- 健康の定義と乳幼児の健康
- 乳幼児期の心身の発達とその特徴
- 乳幼児期の生活習慣の形成とその意義
- 乳幼児期の安全教育とリスク・ハザード
- 乳幼児期の怪我や事故の特徴と応急処置・病気の予防
- 乳幼児期の運動発達とその特徴
- 乳幼児期の日常生活と集団生活における運動遊び
- まとめを行ってから試験をする

## 授業の方法

参考資料を配布する。運動遊びの指導案の分析や協働学習と発表を取り入れる。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

## 欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき1点減点

## テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

## 参考図書

適宜紹介する

## 留意事項

日頃から自分の心と体の健康維持に留意し、保育者として子どもに明るく元気な姿で毎日接することができるように努める。また、乳幼児期の体や運動、事故に関する情報に着目し、その特徴を捉えるようにすること。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等体育科指導法			17745	Ⅱ/Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 正実	選択	2	公立小学校教員			

### 授業の到達目標

体育科の学習指導案を作成し、体育科の模擬授業を行う力を養う。併せて、授業観察力を培う。グループワークを主として行い、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

### 授業の概要

小学校体育科の目標、指導計画、学習指導法、教材内容の扱い方を把握する。理解した知識を基に学習指導計画を立て、模擬授業を実施する。また、授業を観察するポイントを理解する。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション。「先生を目指す」ということ。目指す体育授業①
- 2 体育実技を通して「小学校学習指導要領、体育編の内容」に触れる。目指す体育授業②
- 3 小学校学習指導要領・体育編の内容を知る。目指す体育授業③。
- 4 運動の特性について 目指す体育授業④
- 5 学習評価について 目指す体育授業⑤
- 6 授業参観から指導案作りを学ぶ 目指す体育授業⑥
- 7 学習指導案の書き方について
- 8 指導案を作成する。〈外1〉
- 9 指導案を作成する。〈外2〉
- 10 指導案を作成する。〈外3〉
- 11 模擬授業を実施する。〈外1〉
- 12 模擬授業を実施する。〈外2〉
- 13 模擬授業を実施する。〈外3〉
- 14 模擬授業を振り返る。体育授業における教師のマネジメント
- 15 学習のまとめ。これからの体育学習について

### 授業の方法

少人数グループでの話し合い、調べ学習、作業等を主とする。模擬授業に伴う体育の実技も実施予定である。

### 準備学修

文部科学省 「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育

編」、令和2年度版「神戸市小学校体育指導の手引き」等を読み、学習指導計画案等を事前に調べ、予習・復習等60時間を費やすこと。

### 課題・評価方法、その他

- ①学習指導計画案と模擬授業、体育授業のマネジメント等について、評価とアドバイスをを行う。
- ②評価方法は平常点45点、学習指導計画案30点、模擬授業25点とする。

### 欠席について

原則欠席をしない事。登校できる程度なら実技・模擬授業見学でも出席すること。

### テキスト

使用しない。

### 参考図書

文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編」令和2年度版「神戸市小学校体育指導の手引き」

### 留意事項

実技も実施するので、運動のできる服装の用意をする。学外にて、体育授業の参観を行う予定である。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
道徳教育指導論	教職小		17749	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭中学校教頭小学校校長			

### 授業の到達目標

道徳教育の基本的な概念を学習し、道徳的な実践力を養う。さらに学校での道徳教育の指導法を考察し、道徳教育指導案の作成と授業を経験する。このクラスではKAISEIパーソナリティI（知性）を養う。

### 授業の概要

道徳の意義や原理を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また、多様な道徳教育の指導法を学修し、実際の教科書を使用して指導案検討を行う。

### 授業計画

- 1 道徳教育の目標・特別の教科 道徳
- 2 道徳の歴史
- 3 道徳の指導案を考える・内容項目について
- 4 道徳教育と国際理解教育
- 5 諸外国の道徳教育の状況・指導案演習
- 6 道徳科の指導・指導案演習
- 7 子ども達をつなぐ授業手法・指導案演習
- 8 モラルジレンマ・指導案演習
- 9 いじめ問題を考える①・指導案演習
- 10 いじめ問題を考える②・模擬授業
- 11 いじめ問題を考える③・指導案演習
- 12 いじめ問題を考える④・情報モラル・指導案演習
- 13 安全防災教育・指導案演習
- 14 防災教育・指導案演習
- 15 まとめテスト(指導案作成)

### 授業の方法

毎回配布するレジュメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義とグループワークでの演習なども取り入れる。

### 準備学修

過去に学校で学習した道徳の時間や道徳的な行事を思い返しておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

やむをえず欠席する時は事前事後に届けること

### テキスト

文部科学省編「中学校学習指導要領解説（特別の教科道徳編）」最新版

### 参考図書

神戸市立小学校採用の道徳の教科書「きみがいちばんひかるとき」1～6年用（光村図書）  
神戸市立中学校採用の道徳の教科書「中学道徳 あすを生きる」1～3年用（日本文教出版）

### 留意事項

授業中に配布した資料をもとに、毎回レポートを作成します

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもの保健			17643	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
俊野 尚彦	選択	2	医師			

### 授業の到達目標

子どもの特徴、成長発達、病気の経過、子どもを取り巻く環境の理解などを深める必要がある。そのために以下の項目を理解する。

- 1.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
- 2.子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。
- 3.子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。
- 4.子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。

このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を目指す。

### 授業の概要

解剖生理から心の発達、疾病、子供を取り巻く社会制度やビジネスなどについて解説する。

学生自らも情報を集めていく。

※授業計画表は参考記載。予定は受講人数や状況に応じて適宜変更する。

### 授業計画

- 1 子どもの心身の健康と保健の意義 (1)生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的
- 2 子どもの心身の健康と保健の意義 (2)健康の概念と健康指標
- 3 子どもの心身の健康と保健の意義 (3)現代社会における子どもの健康に関する現状と課題
- 4 子どもの心身の健康と保健の意義 (4)地域における保健活動と子ども虐待防止
- 5 子どもの身体的発育・発達と保健 (1)身体発育及び運動機能の発達と保健
- 6 子どもの身体的発育・発達と保健 (2)生理機能の発達と保健
- 7 子どもの心身の健康状態とその把握 (1)健康状態の観察
- 8 子どもの心身の健康状態とその把握 (2)心身の不調等の早期発見
- 9 子どもの心身の健康状態とその把握 (3)発育・発達の把握と健康診断(I)
- 10 子どもの心身の健康状態とその把握 (3)発育・発達の把握と健康診断(II)
- 11 子どもの心身の健康状態とその把握 (4)保護者との情報共有
- 12 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (1)主な疾病の特徴(I)

- 13 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (1)主な疾病の特徴(II)
- 14 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (1)主な疾病の特徴(III)
- 15 子どもの疾病の予防及び適切な対応 (2)子どもの疾病の予防と適切な対応

### 授業の方法

スライドや板書を用いた講義。ゲスト講義や体験・グループワークを予定している。

受講人数や要望に応じて適宜考慮する。

### 準備学修

授業内容に関するニュース（研究、難病、社会問題など）に関心を持つ。

PC、特にWordやPowerPoint等を各学生が使用することがある。

### 課題・評価方法、その他

評価方法

①出席を重視

②積極性・授業中の発表や質問など

※状況によってレポートや小テストなどを課す可能性がある。

### 欠席について

神戸海星女子学院大学の欠席条件に合わせる。

### テキスト

新版よくわかる子どもの保健 丸尾良浩/竹内義博 ミネルヴァ書房

### 参考図書

病気が見える Vol15 小児科

### オフィスアワー

授業後

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもの健康と安全			17647	Ⅱ/Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について理解する。関連するガイドライン（※）や近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。子どもの体調不良等に対する適切な対応や保育における感染症対策について具体的に理解する。子どもの発達や状態等に即した適切な対応について具体的に理解する。子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について具体的に理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」（平成23年3月厚生労働省）

「2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドライン」（平成30年3月 厚生労働省）

「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」（平成28年3月

内閣府・文部科学省・厚生労働省）等

### 授業の概要

子どもの安全で衛生的な生活を保障し、日々快適に過ごせるための健康・安全に係る保健活動の計画や実践について学ぶ。保健的観点を踏まえた保育環境及び援助、関連するガイドライン（※）や近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に理解する。子どもの体調不良等に対する適切な対応（応急処置や救急処置及び救急蘇生法含む）、感染症対策について具体的に理解する。保育における保健的対応の中で3歳未満児、個別的な配慮を要する子ども、障がいのある子どもへの対応について学ぶ。健康及び安全の管理の実施体制について具体的に理解する。

### 授業計画

- 1 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助 保険における健康及び安全管理①
- 2 保育における健康及び安全管理②
- 3 救急処置及び蘇生法 感染症対策について
- 4 小児救急法【演習】
- 5 小児救急法【演習】

- 6 保育における保健的対応、健康及び安全の管理について
- 7 沐浴指導【演習】まとめ
- 8 まとめ 定期試験

### 授業の方法

講義及び演習を中心とする。グループワークも取り入れる。

### 準備学修

日頃より衛生管理や安全管理を認識し、自己の健康管理にも留意する。

事前に必ずテキストを熟読しておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点40% 課題レポート10% 定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

「子どもの健康と安全」 ななみ書房

### 参考図書

文部科学省「幼稚園教育要領解説」、厚生労働省「保育所保育指針解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」授業時に随時紹介する。

### 留意事項

演習については事前に連絡する。小児救急法（演習）の参加を必須とする。

欠席の場合は別途課題提出。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。



関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
人体の構造と機能及び疾病			17855	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
俊野 尚彦	選択	2	医師			

### 授業の到達目標

公認心理師の大学で修得すべき資格要件科目を満たす授業として、以下の理解を到達目標とする。  
 ・心身機能と身体構造およびさまざまな疾患や障害  
 ・がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾患  
 このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を目指す。  
 また、自らで心理的な支援に関連する様々な分野についての情報に触れ興味し他者に伝達出来るようになる。

### 授業の概要

できるだけ難解な専門分野に偏らず日々の生活や社会人となってからも役立つような授業を目指す。  
 ※授業計画表は参考程度に記載している。受講人数や状況に応じて適宜変更する。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 医学総論
- 3 医学総論
- 4 人体の正常構造と機能
- 5 人体の正常構造と機能
- 6 主要な症候と疾病
- 7 主要な症候と疾病
- 8 主要な症候と疾病
- 9 主要な症候と疾病
- 10 主要な症候と疾病
- 11 心理的支援が必要な主な疾病
- 12 心理的支援が必要な主な疾病
- 13 心理的支援が必要な主な疾病
- 14 まとめ
- 15 まとめ

### 授業の方法

スライドや板書を用いてテキストに沿って解説していく。  
 適宜、ゲスト講義、グループワークや症例検討を行う。  
 生理学・医学に関するニュース（研究、難病、社会問題など）に関心を持つ。

### 準備学修

生理学・医学に関するニュース（研究、難病、社会問題など）に関心を持つ。  
 PC、特にWordやPowerPoint等を各学生が使用することがある。

### 課題・評価方法、その他

- ①出席
- ②積極性・授業中の発表など
- ※状況によってレポート小テストを課す可能性がある。

### 欠席について

神戸海星女子学院大学の欠席条件に合わせる。

### テキスト

第21巻 人体の構造と機能及び疾病（公認心理師の基礎と実践）単行本  
 2019/9/25 斎藤清二 他 遠見書房

### 参考図書

公認心理師カリキュラム準拠 人体の構造と機能及び疾病 武田克彦他 医歯薬出版株式会社

### オフィスアワー

授業後

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
関係行政論			17859	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
安岡 勇輝	選択	2	学校心理士SV 臨床心理士 上級教育カウンセラー、小学校長、教育委員会			

### 授業の到達目標

心理・社会福祉に関する支援を求められる分野を理解する。さらに、代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、発達を踏まえた主体的な臨床活動を支える基本的な考え方を理解する。  
 本授業で扱う領域は以下の通りである。  
 ①保健医療分野に関する制度  
 ②福祉分野に関する制度  
 ③教育分野に関する制度  
 ④司法・犯罪分野に関する制度  
 ⑤産業・労働分野に関する制度  
 このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

公認心理師に求められる法律・制度は、社会のニーズに応じて刻々と変わっている。柔軟な姿勢で臨めるよう指導する。  
 クライエントが課題を乗り越える支援として法律の基本をきちんと押さえる。

### 授業計画

- 1 公認心理師に関する法規紹介と全体像を理解する。
- 2 教育分野では、教育基本法を頂点とする各法律の中で、公認心理師が担うべき内容を理解する。
- 3 学校教育と教育委員会な関係、チームワークについて理解する。
- 4 学習指導要領の特に総則について理解を深め、学校教育への支援の在り方を学ぶ。
- 5 保健医療分野では、医療制度の概略を理解する。
- 6 公認心理師が主にかかわるであろう精神保健福祉法、医療観察法の内容を理解する。
- 7 高齢化社会に向けて、益々介護保険法の知識が必要となると思われるので、事例を入れながら理解を深める。
- 8 児童虐待が激増している社会状況を踏まえ、児童福祉法の概略を理解する。
- 9 インクルーシブシステムが様々な現場で認知され始めたことを受け、障害児(者)の福祉関連法規を理解する。
- 10 増々の高齢化社会に向け、高齢者福祉領域のニーズは格段に増え

- つつある。心理職の関わり方を理解する。
- 11 若者の犯罪が急増している現代、少年法、犯罪被害者支援法等について理解する。
- 12 家族崩壊や夫婦離婚、それらに関連する子どもの養育問題等、司法、犯罪分野の知識理解を深める。
- 13 産業・労働分野、特に労働者のメンタルヘルスは重要である。そこで、これらの関連法規を理解する。
- 14 男女共同参画、で女性も企業にとって活躍している現代において、多忙な家庭生活が予想される。産業・労働分野における心の健康について深く考える。
- 15 労働者を守る「労働三法」についてきちんと知識を蓄えて、支援できるよう理解を深める。講義後に全体を振り返り、試験を課す。

### 授業の方法

法規の文言は難解な語句が多いので、事例を加えながら解説していく。

### 準備学修

社会の出来事に日ごろから関心を持つこと

### 課題・評価方法、その他

レポート、発表、定期試験

### 欠席について

学内基準に準拠

### テキスト

野島一彦・繁榎算男 監修 元永拓郎 編 黒川達雄 法律監修  
 2018 公認心理師の基礎と実践 関係行政論

### 参考図書

授業で指示する

### オフィスアワー

授業で指示する

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子ども家庭支援の心理学			17763	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
島田 麻美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師			

### 授業の到達目標

生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。子どもの精神保健とその課題について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

生涯発達という視点から、発達の諸特徴や発達課題、初期経験の重要性について学ぶ。また、社会や文化の時代的変化とともに変容し、多様化してきた家族・家庭について理解を深める。保育者として、人の生涯発達について理解した上で、家庭の持つ意味と現状、そしてさまざまな課題を抱える子どもや家庭の理解と支援につながる力を身につけることを目指す。テーマに関連する事例を挙げ、具体的な支援場面へどうつなげていくかを考える。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション、生涯発達とは
- 2 乳幼児期から学童期前期にかけての発達
- 3 学童期後期から青年期にかけての発達
- 4 成人期から老年期にかけての発達
- 5 家族関係・親子関係の理解
- 6 子育ての経験と親としての育ち
- 7 子育てを取り巻く社会的状況
- 8 ライフコースと仕事・子育て
- 9 多様な家庭とその理解
- 10 特別な配慮を要する家庭への支援①
- 11 特別な配慮を要する家庭への支援②
- 12 子どもの精神保健とその課題
- 13 子どもの生活・生育環境とその影響
- 14 子どもの心の健康にかかわる問題
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

グループ発表後は、担当教員よりフィードバックを行う。  
平常点30%、課題レポート20%、定期試験50%

### 欠席について

学内の規定に従う。

### テキスト

適宜プリントを配布する。

### 参考図書

原信夫・井上美鈴編著『子ども家庭支援の心理学』北樹出版  
松本園子他『子ども家庭支援の心理学』ななみ書房

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子育て支援			17768	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者支援（相談、助言、情報提供、行動見本の揭示等の支援（保育相談支援））について、その特性と展開を具体的に理解する。保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例を通して具体的に理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）I（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

保育士の行う子育て支援の特性を理解し、実践事例を考察しながら、保育士の行う子育て支援の展開として、支援計画や環境構成、支援の実際・記録・評価・カンファレンスについて理解を深める。また、保育士の行う子育て支援とその実際として具体例を挙げ、双方向の討議を取り入れて意見交換できるようにする。様々な子どもに対する対応やその家庭に対する支援について理解する。まとめとして、「子どもの最善の利益」を保障するための6つの視点からこれからの子育て支援について考察する。

### 授業計画

- 1 保育所・幼稚園・認定こども園における子育て支援の必要性
- 2 子育て支援の基本について
- 3 環境構成を活用した子育て支援
- 4 子育て支援のむずかしさ
- 5 保育者の「役割の二重性」と子育て支援の葛藤
- 6 「子どもの最善の利益」を保障するための6つの視点
- 7 保育士の行う子育て支援の実際
- 8 まとめ 定期試験

### 授業の方法

保育実践の事例を取り入れ講義を行う。グループ討議等を行い、課題意識を持って主体的に取り組めるようにする。

### 準備学修

Webで参照とすること。

### 課題・評価方法、その他

平常点40% 課題レポート10% 定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

「保育の専門性を生かした子育て支援」わかば社

### 参考図書

授業内で紹介する。

### 留意事項

毎回の出席と主体的な取り組みを心がけること。地域の子育て支援について調べておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・言葉			17633	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

乳幼児期の言葉の発達の概要を理解する。言葉を獲得し思いを伝え合うようになるための環境や遊び、指導援助の方法について学ぶ。発達を理解し、生活の流れに即した教材選定力や保育指導案の作成力と実践力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK(思いやり)とI(知性)を養う。

### 授業の概要

乳幼児の言葉の発達を詳説し、視聴覚教材を活用して、さらにイメージを確かなものにする。そして、言葉の育ちを促す絵本やお話の教材研究や、保育指導案作成と模擬保育を行う。また、発達に即した教材制作を通して言葉を育む環境を整え、乳幼児の豊かな言葉と言語活動を育てる保育を学ぶようにする。

### 授業計画

- 1 領域「言葉」について
- 2 乳幼児の言葉の育ちを支える要因
- 3 1歳未満児の発達と言葉の獲得
- 4 1歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 5 満1歳以上満3歳未満児の発達と言葉の獲得
- 6 満1歳以上満3歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 7 満3歳以上の幼児の発達と言葉の獲得
- 8 満3歳以上の幼児の言葉の発達を促す保育と教材
- 9 言葉の獲得において特別な支援を要する乳幼児への保育
- 10 豊かな言葉を育む児童文化(歌、手遊び、言葉遊び)(情報機器及び教材の活用を含む)
- 11 豊かな言葉を育む児童文化(絵本や紙芝居)
- 12 豊かな言葉を育む児童文化(人形劇やペープサート、パネルシアターやエプロンシアター等)
- 13 模擬保育実践とカリキュラムマネジメント
- 14 伝え合い分かり合う楽しい劇遊び(情報機器及び教材の活用を含む)
- 15 まとめを行ってから試験をする

### 授業の方法

講義を主とするが、言葉を育む保育実践についての発表を加える。また、教材を制作し教育実習や保育実践にいかす。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①課題シートの提出を求め、模擬保育(乳児用・幼児用読み聞かせ指導案や教材の作成を含む)を行う。講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

岸井勇雄・無藤隆、湯川秀樹[監修]太田光洋[編著]『保育・教育ネオシリーズ20 保育内容・言葉 第三版』2018年(株)同文書院

### 参考図書

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』 株式会社フレーベル館

### 留意事項

保育の基礎技術を高めるため、わらべ歌や言葉遊び、絵本、幼児用テレビ番組などに日頃から親しんでおくこと。地域の図書館での企画展示やおはなし会などに関心をもち見ておくこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護 I			17639	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
曾田 里美	選択	2	児童養護施設職員			

### 授業の到達目標

社会的養護の理念、歴史、制度と実施体系等について理解する。社会的養護の背景にある社会や家庭における児童問題を学ぶとともに、社会的養護における児童の人権擁護と支援の実践について理解を深めることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのS(奉仕)を養う。

### 授業の概要

社会的養護とは何か、なぜ児童問題が起きるのか、社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割等について学ぶとともに、子どもたちを積極的に護るための実践を裏づける原理原則について学習する。特に、社会的に子どもを養育する施設では、子どもと家族の育成に積極的にかかわっていくための知見や技術が必要となっている。このため、(1)社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景、(2)社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割、(3)児童福祉施設などにおける養護の実践を理解し、児童観や施設養護観を身につける。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護トピックス
- 2 私たちが生きる社会
- 3 社会的養護の体系
- 4 施設への入所に至る経過
- 5 施設における生活①
- 6 施設における生活②
- 7 施設における生活③
- 8 施設における生活④
- 9 施設における支援—ライフストーリーワーク—
- 10 施設の利用方式
- 11 利用・契約制度を基本とする施設
- 12 社会的養護の歴史
- 13 施設における支援内容
- 14 里親制度
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義を主とするが、必要に応じて視聴覚教材等で社会的養護の現状

について理解を深める。また、ディスカッションや発表を取り入れ双方向の授業を行う。

### 準備学修

日ごろから、現代の子どもを取り巻く環境に対して関心を深めておくこと。

### 課題・評価方法、その他

評価方法は、平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

公欠以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

### テキスト

原田旬哉・杉山宗尚 編著『図解で学ぶ保育 社会的養護 I』萌文書林、2018、ISBN 9784893472793

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生徒指導論（進路指導を含む）	教職小	17753	Ⅱ/Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	中学校教諭 中学教頭 小学校校長		

### 授業の到達目標

生徒指導の理論と方法、教育相談、進路指導について学ぶ。この講座ではKAISEIパーソナリティのA（自律）でコミュニケーション能力を養い、事例研究の実践でK（思いやり：傾聴力）とI（知性）状況把握力を高める訓練をする。

### 授業の概要

教科書（文部科学省「生徒指導提要」）を参考資料として授業を進める。生徒指導の方法や生徒理解について考察し、実際の取り組み方を学んでいく。さらに、教育相談の手法を学び、進路指導、キャリア教育も生徒指導の視点から考察する。

### 授業計画

- 1 生徒指導の意義と目的・「生徒指導提要」の改訂
- 2 教職員の人権感覚・組織対応
- 3 教育の現場の実践から学ぶ
- 4 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導①
- 5 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導②
- 6 セクシャルマイノリティの理解
- 7 性に関する課題
- 8 いじめ問題・情報モラル
- 9 インターネット・携帯電話に関わる問題
- 10 少年非行①
- 11 少年非行②
- 12 自殺
- 13 安全防災教育・危機管理
- 14 進路指導とキャリア教育
- 15 まとめテスト

### 授業の方法

授業は「生徒指導提要（令和4年12月）」にそって、毎回配布するレジュメ・資料を中心にパワーポイントを使って講義を進める。また視聴覚教材を活用しながら学習を深める。講義を主とするが、グループワークなども取り入れる。

### 準備学修

テキスト「生徒指導提要（令和4年12月）」（文部科学省）を読むしておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること。

### テキスト

文部科学省編「生徒指導提要（令和4年12月）」

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

毎回の授業のレジュメと資料をファイルに整理し、最後に提出。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護Ⅱ		17640	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
曾田 里美	選択	1	児童養護施設職員		

### 授業の到達目標

現代の子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、それに伴い家庭での養育機能は脆弱化している。家庭養育だけでは子どもの養育は困難な状況となり、国や社会で子どもたちを養育・保護する「社会的養護」が重要となる。地域社会をも含めた施設養護および家庭養護の本質と機能を理解し、援助技術について実践的活動事例を通して学びを深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのS（奉仕）を養う。

### 授業の概要

家庭のもとを離れて施設や里親家庭で生活する社会的養護の子どもたちの背景や実情を理解するとともに、子どもたちが置かれている状況について想像力を働かせ、必要な関わりや支援につなげていくことを目指す。児童養護施設、児童虐待、里親、生い立ちの整理、子どもの貧困など社会的養護に関連する新聞記事や事例、映像などを通して、子どもやその家族の実態や問題の背景について理解を深める。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護Ⅱを学ぶにあたって
- 2 施設における生活と支援
- 3 児童養護施設の事例
- 4 「こうのとりのゆりかご」を通して考える社会的養護①
- 5 「こうのとりのゆりかご」を通して考える社会的養護②
- 6 乳児院の事例
- 7 里親家庭の事例
- 8 まとめ
- 9
- 10

### 授業の方法

講義とディスカッションを中心とする。双方向の授業のため積極的な参加を求める。

### 準備学修

日ごろから新聞、ニュース等で子どもを取り巻く問題に関心を深め

ておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

公欠以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

### テキスト

必要に応じて資料を配布する。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法			17684	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校勤務。指導主事経験あり。総合的な学習の時間では、国際理解のテーマで研究発表会も行う。			

## 授業の到達目標

教育課程の意義、法的根拠、外観を理解する。現行の教育課程編成の要点、配慮事項について、発表・討議を通して深めていく。また、総合的な学習の時間の意義や目標、各小学校の目標に沿った指導計画の作成、授業づくり・指導法についてのポイントを明確にしていく。

KaiseiパーソナリティーのI（知性）の育成を目指す。

## 授業の概要

学校現場での具体的な教育課程、カリキュラム・マネジメントの進め方を伝えていく。法令や学習指導要領解説と学校現場の実践と成果（そこにある課題や悩み、子供たちの姿、地域の教育力）とをつないで学生の理解を図っていく。また、総合的な学習の時間の指導法においては、目標に基づいた指導計画、単元計画の作り方、事例研究、指導案作りを進めていく。

## 授業計画

- 1 教育課程改定の経緯と基本原則
- 2 教育課程の基準
- 3 学習指導要領の改訂の変遷
- 4 特色ある教育の推進とカリキュラム・マネジメント
- 5 教育課程の編成
- 6 教育課程の授業改善
- 7 教育課程の改善と学校評価（教育課程におけるPDCA）
- 8 児童の発達支援（発達支援と個に応じた指導の充実）
- 9 道徳教育推進上の配慮事項（豊かな体験活動、家庭・地域社会・学校間の連携）
- 10 総合的な学習の時間の歴史と目標
- 11 総合的な学習の時間の指導計画
- 12 総合的な学習の時間の実践と評価
- 13 総合的な学習の時間の指導の具体的事例に学ぶ
- 14 総合的な学習の時間の単元計画を作成する。
- 15 教育課程論と総合的な学習の時間の指導法の振り返り・定期試験

## 授業の方法

学生の発表・論述を大切に、そこから生まれる疑問について理解を深めていく。学校現場での具体的な実践を常にはさむことで、現

場での取り組みについて共感を深めていく。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

課題：与えられたテーマに対して自分の考え、感想を含めたプレゼン発表を行う。

評価方法：平常点50% 定期試験50%

## 欠席について

欠席は1回につき4点減点。

## テキスト

小学校学習指導要領解説（平成29年告示）「総則」「総合的な学習の時間」 文部科学省

## 参考図書

必要に応じて、随時紹介する。

## 留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲を持って、授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育・教職実践演習（幼保）			17686	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳／森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

## 授業の到達目標

保育・教職課程科目の学修や学校園での現場学習等を通じて、保育士・教員として必要な資質能力が、実践力としてどのように統合されたかを最終的に確認する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とI（知性）の育成を目指す。

## 授業の概要

実習で学んだことを振り返り、保育力における自己の課題を確認するとともに保育者としての役割と責務についての認識を深める。職務への使命感、豊かな人間性や対人関係能力、また、学級経営能力や指導力の基礎を高め、保育者・教育者としての資質の向上を目指す。

## 授業計画

- 1 授業概要の説明、受講の心構え、これまでの学修の振り返り
- 2 保育・教職の意義や保育士・教員の役割、職務内容、子どもに対する責任
- 3 保育者の豊かな人間性と対人関係能力（職場、保護者・地域との人間関係の構築等）
- 4 幼児理解や学級経営
- 5 保育計画案・教材の作成
- 6 保育計画案・教材の発表
- 7 多様な保育・教育を考える①
- 8 多様な保育・教育を考える②
- 9 模擬保育と討議①
- 10 模擬保育と討議②
- 11 事例研究（ロールプレイと相互評価）①
- 12 事例研究（ロールプレイと相互評価）②
- 13 保育の現状と課題、社会の期待
- 14 保幼小の連携と実際
- 15 まとめを行ってから試験をする

## 授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

## 欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

## テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説 平成30年3月』

## 参考図書

適宜、紹介する。

## 留意事項

自己目標・課題をもって意欲的に授業に臨むこと。

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
司法・犯罪心理学			17831	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
十倉 利廣	選択	2	法務省心理専門職として犯罪アセスメントや処遇に従事する。少年鑑別所長、矯正研修所長等を歴任する。			

### 授業の到達目標

- ・司法・犯罪分野の制度及び同分野の心理臨床の領域を概観できる。
- ・犯罪原因やメカニズムに関する諸理論を理解できる。
- ・警察関係機関、家庭裁判所（少年及び家事）、少年鑑別所、少年院、刑事施設（刑務所）、保護観察所、被害者支援領域における心理臨床業務に関する知識を習得する。
- ・非行・犯罪に関するアセスメント及び処遇技法に関する基礎知識を習得する。
- ・この授業を通して、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を身につける。

### 授業の概要

司法・犯罪領域における心理臨床の理論や業務を理解するために、犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を身につけるとともに、司法・犯罪分野の問題に対して必要な心理支援についての基本的知識を身につける。

### 授業計画

- 1 司法・犯罪心理学の基礎知識
- 2 犯罪心理学理論の進展 1
- 3 犯罪心理学理論の進展 2
- 4 各種犯罪 1 (窃盗)
- 5 各種犯罪 2 (薬物犯罪)
- 6 各種犯罪 3 (性犯罪)
- 7 各種犯罪 4 (暴力犯罪)
- 8 捜査心理学 1 (プロファイリング)
- 9 捜査心理学 2 (虚偽検出, 証言)
- 10 精神鑑定
- 11 家庭裁判所における心理臨床
- 12 少年鑑別所における心理臨床
- 13 少年院・刑務所における心理臨床
- 14 犯罪被害者支援
- 15 まとめ及び試験

### 授業の方法

講義を中心とする。資料等について、Web上で提供する。  
なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、授業方

法が変更されることがある。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

適宜レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。  
平常点70%、定期試験30%  
なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、評価方法が変更されることがある。

### 欠席について

原則として、欠席数が5回を超える場合は成績評価対象外とする。

### テキスト

毎回講義資料を配布する。

### 留意事項

なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、授業方法や評価方法等が変更されることがあるので、留意しておくこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
健康・医療心理学			17835	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石川 慎一	選択	2	精神科、心療内科における診療、保健所での精神保健相談、児童福祉施設での精神医療、産業医活動。			

### 授業の到達目標

- ① ストレスと心身の疾病との関係
  - ② 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援
  - ③ 保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援
  - ④ 災害時に必要な心理に関する支援
- 以上を習得し、公認心理師資格の取得を目標に行われる講義である。  
このクラスではKAISEIパーソナリティの、K（思いやり）とI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

公認心理師の国家資格の受験資格要件に必要な科目の1つを提供する。健康・医療分野における、心理職に必要とされる心理学的概念とその操作を学習し、そのもとで展開される実際の活動を幅広く理解する。健康心理学、医療心理学の基礎概念である、健康とは何か、疾病予防の考え方、健康増進に対する心理学的なアプローチ、ストレスと心理支援を獲得し、多職種協働の行動様式で実践される健康・医療の様々な現場における心理支援の実践について領域ごとに学ぶ。

### 授業計画

- 1 ガイダンス
- 1章 健康医療心理学
- 2章 健康心理学におけるアセスメントと支援
- 3章 ストレスマネジメント
- 4章 各種の心理支援法
- 5章 医療心理学
- 6章 医療心理学におけるアセスメントと支援
- 7章 精神科、児童精神科(精神科コンサルテーション・リエゾン)
- 8章 院内独立型心理室
- 9章 心療内科
- 10章 小児科(母子保健含む)
- 11章 緩和医療
- 12章 産業保健
- 13章 地域保健活動の実践
- 14章 災害医療
- 15章 多職種協働と医療連携

15 1-15章 総括

### 授業の方法

講義形式で行う。

### 準備学修

テキストの予習復習、レポートの提出。

### 課題・評価方法、その他

出席・レポート：60点（各授業、出席2点・レポート2点x15回）  
終了時課題：40点  
\*提出物は期限内に提出されたもののみ採点  
\*レポートは所定の電子ファイルのみで採点  
\*出席点は実際に講義に参加した場合のみ加算

### 欠席について

各授業への欠席、遅刻で2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格。

### テキスト

宮脇稔他編『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社

### 留意事項

本講義は公認心理師カリキュラムの必修科目である。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理的アセスメント		17344	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士		

### 授業の到達目標

心理的アセスメントの目的及び倫理、そして心理的アセスメントの観点及び展開について学ぶ。心理的アセスメントの方法（観察、面接及び心理検査）を実際に体験し、その分析結果を適切な記録及び報告としてまとめることが出来るようになる。基本的な心理検査を通じて自己分析し、自己理解につなげる。また、子ども理解を深めるために、子どもの発達状況を捉える発達検査や知能検査について知り、実施方法を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

基本的な心理検査・発達検査・知能検査等を、検査者・被検査者の両方の立場で体験し、検査の背景・実施方法・検査結果のまとめ方を学び、身に付ける。課題ごとに検査結果の所見をレポートにして提出する。

### 授業計画

- 1 はじめに：心理検査法概論
- 2 東大式エゴグラム
- 3 矢田部・ギルフォード性格検査
- 4 コーネルメディカルインデックス
- 5 BIG FIVE尺度
- 6 津守・稲毛式乳幼児発達診断1
- 7 津守・稲毛式乳幼児発達診断2
- 8 遠城寺式乳幼児分析的発達診断検査
- 9 新版K式発達検査①
- 10 新版K式発達検査②
- 11 新版K式発達検査③
- 12 WISC知能検査①
- 13 WISC知能検査②
- 14 WISC知能検査③
- 15 総括・期末試験

### 授業の方法

毎回テーマとなる検査を実施し、検査結果の所見をレポートで提出させる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

全てのレポート作成と提出で合格となるため、欠席は認められない。やむを得ず欠席した場合は必ず教員指定の日時に補習を受けること。

### テキスト

資料を毎回の授業中に配布予定。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

検査についての事前学習・事後学習を行い、理解を深めること。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。オフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
心理調査・データ処理法		17345	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
新美 裕之	選択	2	認知症専門病院の心理師、児童心理治療施設・児童養護施設の主任セラピスト、臨床心理士・公認心理師		

### 授業の到達目標

- ・心理学における調査法の基本的な考え方を理解する。
- ・実際に調査を行い、得られたデータを統計的な解析に持ち込み、評価できるまでの心理統計的な技法と理論を活用する力を身につける。
- ・このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

心理学研究法のとりわけ調査法について、統計的な手法を用い、データ解析を取り入れた研究方法について学ぶ。論文などの具体的な調査を参考にしつつ、調査の実施法について、問題の設定、質問紙の作成、データの収集、統計解析手法、結果の解釈、結果の表現にいたるまでのプロセスを実践的に学んでゆく。また、その際に必要な研究倫理についても学ぶ。

### 授業計画

- 1 質問紙法による人間理解：心理学の各研究法の特徴について学ぶ
- 2 質問紙作成の基礎：心理学の各研究法の特徴と各研究法の長所と短所について、比較しながら学ぶ
- 3 質問紙法の実施方法①：項目作成の基礎と、回答方法の種類について学ぶ
- 4 質問紙法の実施方法②：質問紙法の実施法、特にサンプリングの方法について学ぶ
- 5 質問紙法の実施方法③：質問紙法の実施法の種類と長所・短所、また研究における倫理などについても学ぶ
- 6 コーディングと入力：コーディングと入力の仕方について学ぶ
- 7 心理尺度の作成：心理尺度の作成と、尺度の信頼性と妥当性について学ぶ
- 8 量的資料収集のための質問紙作成：量的資料収集のための質問紙の作成について学ぶ
- 9 質的資料収集のための質問紙作成：質的資料収集のための質問紙の作成、文章完成法と自由記述法を学ぶ
- 10 心理尺度の作成：項目分析と信頼性と妥当性の検討について学ぶ
- 11 データの処理法①質的データの集計：実際のデータを用いながら、質的データの取り扱いについて学ぶ
- 12 データの処理法②平均値の比較：平均値の比較について、t検定を

### 学ぶ

- 13 データの処理法③相関分析：相関分析について学ぶ
- 14 質問紙法の実践：質問紙法の実践について学ぶ
- 15 質問紙法のまとめ：授業の振り返り、まとめを行う

### 授業の方法

単元内容に相応した、質問紙の作成、調査の実施、統計などの具体的な手順を教科書を中心に、レジュメ等の資料を用いて講義形式で学習を進める。

### 準備学修

webで参照すること

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

通常欠席は5回を超えると不合格とする。遅刻・早退は減点する。特例欠席において、補填を希望する場合には、必ずその旨を申し出ること。

### テキスト

鎌原雅彦・宮下一博・大野木裕明・中澤潤 1998 心理学マニュアル 1 質問紙法 北大路書房

### 留意事項

この講義を受講する学生は「情報リテラシーⅡ」「統計学入門」および「心理統計学」についても受講すること。授業はテキストに沿って進めるため、テキストを購入すること。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
情緒障害児・知的障害児教育			17539	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員			

### 授業の到達目標

社会の縮図と言われる学校・園で、子どもたちが生きづらさを感じてきた要因について指導者の理解を深める。絡み合った要因を学校・園、家庭、関係諸機関とどのように連携してきたか、また、さらに将来的な支援のベクトルについて自分の考えを持つ。このクラスはKAISEIパーソナリティーのI（知性）とE（倫理）の観点から、インクルーシブ教育を理解し、実践する意欲を養う。

### 授業の概要

情緒・自閉症特別支援学級の教育課程上の課題を知り、試みられてきた問題解決策を検証する。学校・園に在籍する発達に課題がある子どもへの対応は、決してセオリー通りにはいかない。事例をできるだけ多く採り入れて、対応の共通点を見出して理解することが基礎・基本である。それらをベースにして支援の方法、留意点を解説する。

### 授業計画

- 1 発達に課題がある子の「困り感」への気づき
- 2 保育士・教師としてできる個別配慮
- 3 介助者が加わったときの役割
- 4 室内トラブルへの対応その1 解決のポイント
- 5 室内トラブルへの対応その2 立ち歩きやエスケープ
- 6 室内トラブルへの対応その3 人間関係のトラブル
- 7 室内トラブルへの対応その4 パニックを起こしたときの対処
- 8 保護者とともに子どもを育てるその1 保護者面談の進め方
- 9 保護者とともに子どもを育てるその2 親から学ぶ支援のあり方
- 10 周りの子どもやその保護者への対応その1 周辺の子ども
- 11 周りの子どもやその保護者への対応その2 保護者に対して
- 12 チーム支援その1 確かな情報を共有する
- 13 チーム支援その2 実態の把握方法
- 14 チーム支援その3 組織的支援の進め方
- 15 学校・園に合ったチェックリストを作成
- 16

### 授業の方法

講義が中心となるがペアトーク、グループトークを採り入れて各自の考えが発信できるよう工夫する。

### 準備学修

マスコミ等でとり上げられる子どもに関する記事について、複数の視点で考える習慣を期待する。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

学内規定に準ずる

### テキスト

杉山 登志郎 『子どもの発達障害と情緒障害』（健康ライブラリーイラスト版）

### 参考図書

必要に応じて紹介する。

### 留意事項

ユニバーサルデザイン、インクルーシブシステム等特別支援教育に係るマスコミ報道に興味・関心を持つ。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
福祉心理学			17543	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
新美 裕之	選択	2	認知症専門病院の心理師、児童養護施設・児童心理治療施設の主任セラピスト、臨床心理士・公認心理師			

### 授業の到達目標

- ・福祉心理学関連の法・制度・用語を理解できる。
- ・福祉現場において生じる問題及びその背景について理解できる。
- ・福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援について理解できる。
- ・虐待についての基本的知識を身につける。
- ・このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのS（奉仕）とE（倫理）を養う。

### 授業の概要

福祉心理学の分野は幅広く支援対象者もさまざまであり、必要となる支援内容も多岐にわたる。しかし人の安全・安心を保障し、安定した生活へと支援していくという点では共通している。このクラスでは福祉領域における心理臨床について、まずは福祉対象者への心理支援の必要性とあり方を総論的に学び、その後福祉心理学的心理支援の実践について実践内容を中心に学ぶ。その中で虐待をはじめとする福祉現場における心理社会的課題や必要な支援、さらには福祉現場で生じる問題とその背景についても理解し、実践的知識を身につける。

### 授業計画

- 1 第1章 社会福祉の展開と心理支援
- 2 第2章 総論：生活を支える心理支援
- 3 第3章 暴力被害者への心理支援
- 4 第4章 高齢者への心理支援
- 5 第5章 障害・疾病のある人への心理支援
- 6 第6章 生活困窮・貧困者への心理支援
- 7 第7章 児童虐待への心理支援の実践
- 8 第8章 子どもと親への心理支援の実践
- 9 第9章 認知症高齢者の心理支援の実践
- 10 第10章 ひきこもり・自殺予防の心理支援の実践
- 11 第11章 精神障害者への心理支援の実践
- 12 第12章 家族・職員への心理支援の実践
- 13 第13章 福祉分野での多職種協働と心理職の位置づけ
- 14 第14章 多職種協働実践事例報告
- 15 福祉心理学のまとめ
- 16

### 授業の方法

授業は基本的に各章のテキストの内容に沿って講義形式で進める。福祉現場への理解を深めるため、適宜レジュメを配布し、実践的知識の習得を目指す。

### 準備学修

webで参照すること

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

通常欠席は5回を超えると不合格とする。遅刻・早退は減点する。特例欠席において、補填を希望する場合には、必ずその旨を申し出ること。

### テキスト

野島一彦・繁樹算男 監修 中島健一 編 2018 公認心理師の基礎と実践⑩ 福祉心理学 遠見書房

### 留意事項

講義は基本的にテキストの各章の内容に沿って行う。テキストを購入すること。



関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
地域子育て支援 II		17503	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士		

### 授業の到達目標

子育て支援とは何か。子育て支援に対する保育者の役割が明確化され、幼稚園や保育所で子育て支援について様々な場や対象に即した支援を行っている。その中で地域の子育て家庭に対する支援について、実践を通し具体的に理解し、積極的に取り組んでいける保育者をめざす。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を考え、I（知性）を養う。

### 授業の概要

子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、幼稚園、保育所、地域で子育て支援が盛んに行われている状況の中、子育て支援とは何かを考え、保育者をめざしている学生が何故子育て支援が必要なのか、親子が求める子育て支援とは何かを考え、親子が育ちあうような子育て支援のあり方を学習する。また、子育て支援の実践を積極的に体験する。

### 授業計画

- 1 地域子育て支援 I の振り返り。
- 2 地域子育て支援の取り組みへの参加(1)
- 3 地域子育て支援の取り組みへの参加(2)
- 4 地域子育て支援の取り組みへの参加(3)
- 5 地域子育て支援の取り組みへの参加(4)
- 6 地域子育て支援の取り組みへの参加(5)
- 7 地域子育て支援の取り組みへの参加(6)
- 8 振り返りとまとめ。

### 授業の方法

演習を中心とし、実際体験によって理解を深める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。  
平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

必要資料については、随時プリントを配布する。

### 参考図書

子育ての変貌と次世代育成支援 原田正文著  
世界に学ぼう！子育て支援 汐見稔幸著  
地域で子育て 渡辺顕一郎編著  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

受講者は子育て支援に関心のあるもの。本学が行う子育て支援事業「海星子育てひろば」に参加し、実践を行い子育て支援の理解を深め、また、保育技術の向上を図る。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については、教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ボランティア論		17505	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
西橋 隆三	選択	2	元市職員（福祉事務所長・障がい児療育センター所長）、社会福祉士		

### 授業の到達目標

わが国のボランティア活動は、幅広い分野において多様な形態で展開されている。授業では、ボランティアの理念・原則・各分野の基本を学習しながら「興味」「関心のあるテーマ」などから主体的に多様なボランティア活動に参加することを目標とする。またボランティア論の講義を通じて、福祉の対象者への関心を高め、将来の社会参加や社会貢献に繋げることをめざす。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）A（自律）S（奉仕）を養う。

### 授業の概要

授業では、講義、討議などを織り込みながら、参加のモチベーションを主体的に高めることを促す。「自分にとってのボランティアは何か」「どんな活動ができるか」「ボランティアのあり方は」「ボランティアの意義と課題」などを授業を通じて考えていく。まず基本理念や歴史、組織や活動の実際についての概略を学んだあと、人と防災未来センターや国際協力機構関西センター（JICA関西）での学習により内容を深めていく。次に各分野のボランティア活動の現況を学び、社会福祉施設での授業やボランティア実習も行う。これらの多様な視点からの学びによりそれぞれにとってのボランティアの意義や参加意識を深めていくことがねらいである。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 ボランティアの基本理念(ボランティアを考えるために)
- 3 ボランティアの歴史
- 4 人と防災未来センター及び国際協力機構関西センター(JICA関西)での実習(土曜日)
- 5 災害とボランティア活動(阪神淡路大震災と東日本大震災など)
- 6 国際社会とボランティア活動(JICA関西の事業を中心に)
- 7 社会福祉施設でのボランティア活動
- 8 社会福祉施設での授業とボランティア実習1(土曜日)
- 9 社会福祉施設での授業とボランティア実習2(土曜日)
- 10 子どもの貧困とボランティア活動
- 11 環境問題とボランティア活動
- 12 地域社会とボランティア活動
- 13 医療福祉とボランティア活動
- 14 プレゼンテーション(ボランティア論で学んだことを発表)

15 まとめとしての講義の後、ボランティア論のレポート提出を求める。

### 授業の方法

講義を主体としながらディスカッション、プレゼンテーションや視聴覚教材を取り入れていく。また人と防災未来センターや国際協力機構関西センター（JICA関西）での実習及び社会福祉施設での実習に参加する。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点40%、プレゼンテーション10%、レポート50%で評価します。

### 欠席について

欠席が5回を超えた場合は、不合格とする。

### テキスト

特に指定はしない。必要な資料を配布する。

### 参考図書

必要な参考図書については授業の中で提示する。

### 留意事項

1. 人と防災未来センターと国際協力機構関西センター（JICA関西）での学習に参加すること（土曜日1回）
2. 社会福祉法人での授業とボランティア活動を体験すること（土曜日1回）

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育原理	教職小		17521	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
澤井 一夫	選択	2	県教育委員会勤務			

### 授業の到達目標

- 1 教育の理念と目的について理解する。
  - 2 教育に関する歴史及び思想について理解する。
  - 3 日本と諸外国の学校制度について理解する。
  - 4 現代社会における教育の現状と課題について理解する。
- このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

教育学上の重要な理念について理解した上で、教育思想及び学校制度の歴史の変遷について理解を深める。このことを踏まえ現在の社会における教育課題や学校教育の在り方について考察する。

### 授業計画

- 1 講義の進め方と講義概要について説明する。
- 2 人とは？教育とは？
- 3 学校の歴史 その1 諸外国の教育の思想と歴史
- 4 学校の歴史 その2 日本における学校制度の成立と展開
- 5 教育に関する法規
- 6 現行法における日本の学校教育の目的
- 7 教育課程と教育内容
- 8 学習指導要領の変遷
- 9 教師の仕事と専門性
- 10 よい授業とは
- 11 現代社会と教育問題－いじめ・不登校問題など
- 12 教育改革の新しい動きと方向について
- 13 日本と諸外国の教育制度
- 14 生涯学習の意義と生涯学習の機会
- 15 まとめとテスト

### 授業の方法

講義を中心に討議や発表を設ける。

### 準備学修

本講義は、「教育とは何か」「学校制度」などを歴史的な視点や諸外国との比較で研究し考察する。教育に関しての思想家や法規など耳慣れない事項がでてくるため、関連する事柄について予習と復習

を必ず行うこと。Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

学内の規定に準ずる。

### テキスト

- ・「問いからはじめる教育学」【改訂版】 勝野 正章・庄井 良信著 出版社：有斐閣
- ・取得を希望する校種の学習指導要領総解説  
その他 必要に応じて資料を配付

### 参考図書

- ・「はじめての子どもの教育原理」 福元真由美著 出版社：有斐閣
- ・「やさしい教育原理」 田嶋 一他著 出版社：有斐閣
- ・「教育の原理を学ぶ」 遠藤 克弥・山崎 真之著 出版社：川島書店

### 留意事項

教職を目指す学生として、講義内容をただ受容するだけでなく、自ら問題意識を持って主体的に研究し学ぶこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子ども家庭福祉			17523	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
久松 睦典	選択	2	公立中学校スクールカウンセラー			

### 授業の到達目標

現代を生きる子ども達の状況は、厳しい社会状況を反映し、大きく変化しつつある。社会の歪から子どもの発達を守り、健やかな成長を促すためには、社会、学校、家庭の三者教育のバランスのとれた教育と、それを積極的にバックアップする行政の取り組みの必要性が求められている。そうした状況下では、子育て支援や健全育成のためのより高度な専門的な知識を要求する「児童家庭福祉」の指導者としての資質が一層問われることになる。KAISEIパーソナリティのK（思いやり）をベースにしてコミュニケーション能力を養う。

### 授業の概要

最近の児童を取り巻く社会環境も変容し、価値観も大幅に多様化するとともに、様々な問題群も続出してきた。児童が社会構成の一員として、大人社会にあっても常に暖かく迎えられるよう児童家庭の問題と児童福祉に対する正しい概念を身につけなければならない。どのようにして地域社会の保障と支援が行えるか、児童福祉の今日的課題を考察し、その実態とその基本的な知識の習得、目的と方策を学ぶ。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 子ども家庭福祉とは
- 3 子ども家庭福祉のあゆみ
- 4 子どもと家庭の支援活動指針としての子どもの権利条約
- 5 子どもと家庭を支援する法律の体系
- 6 子どもと家庭を支援する制度の体系
- 7 子どもと家庭を支援する施設の体系
- 8 子どもと家庭を支援する専門職
- 9 子どもと家庭を支援する活動方法
- 10 子どもと家庭に関する問題と社会福祉の対応－虐待について
- 11 子どもと家庭に関する問題と社会福祉の対応－親子関係
- 12 子どもと家庭に関する問題と社会福祉の対応－非行
- 13 子どもと家庭に関する問題と社会福祉の対応－保育
- 14 子どもと家庭に関する問題と社会福祉の対応－一人親家庭
- 15 子どもと家庭に関する問題と社会福祉の対応－貧困

### 授業の方法

講義のテーマや単元に応じて作業課題を実施する。テーマについて、グループ討議し、発表する。またミニテストも実施する。

### 準備学修

できるだけ日常の新聞報道などで児童福祉に関する記事に目を通す。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

一回の欠席で3点、遅刻で2点減点し、欠席が5回以上で不合格とする。

### テキスト

吉田眞理編『児童の福祉を支える子ども家庭福祉』萌文書林

### 参考図書

適時紹介する。

### オフィスアワー

講義の前後

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	c		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

演習Ⅱで見出した研究テーマと研究計画に基づき、具体的な調査を通して研究テーマに迫る。そのため、的確なデータの収集と分析を行い考察を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、E（倫理）を養う。

### 授業の概要

研究計画に沿って、先行文献調査と実地調査の両方を実施する。また、適切な調査方法や分析方法について解説し、各自の調査を指導・支援する。調査結果についての発表や討議を踏まえ、今後の研究の見直しをもつようにする。

### 授業計画

- 1 演習Ⅲの進め方について
- 2 卒業研究・論文のまとめ方について
- 3 研究対象と調査期間について
- 4 研究方法と分析方法について
- 5 調査の進捗報告と討議①
- 6 調査の進捗報告と討議②
- 7 各自の先行文献調査のまとめ①
- 8 各自の先行文献調査のまとめ②
- 9 「問題と目的」の発表・討議①
- 10 「問題と目的」の発表・討議②
- 11 「研究方法」の発表・討議①
- 12 「研究方法」の発表・討議②
- 13 仮説と今後の見直しについて発表・調整①
- 14 仮説と今後の見直しについて発表・調整②
- 15 まとめを行ってから試験をする
- 16

### 授業の方法

各自の報告内容が授業の根幹となる。全体討議では積極的に自己の発表や他者への助言を行い学び合う姿勢を重視する。互いに研究推進へのよい刺激を受け、研究意欲と研究内容を高め合うようにする。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う
- ②平常点70%、定期試験30%
- ③卒業研究ルーブリックに中間自己評価を記入する

### 欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点とする。

### テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

各自で研究推進への確かな目標をもち、質的・量的調査について計画的に進めること。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	d		17109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

### 授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

### 授業の概要

卒業研究の作成に向けて文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。各自が自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、紹介する機会を通じて、自分の研究テーマと研究計画を作成する。心理学研究方法や分析の方法についても復習する。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 リサーチ1・発表・ディスカッション1
- 3 リサーチ2
- 4 リサーチ3
- 5 リサーチ4
- 6 各自の研究の問題と目的について設定・発表
- 7 各自の研究の手法、調査、手続きについて進行報告、ディスカッション1
- 8 進行報告2
- 9 進行報告3
- 10 調査報告1
- 11 調査報告2
- 12 調査報告3
- 13 結果のまとめ方について1
- 14 結果のまとめ方について2
- 15 結果のまとめ方について3

### 授業の方法

卒業研究の作成に向けて文献の収集、講読、要約、発表、討議を行う。各自が自分の研究テーマに関する先行研究を読解し、紹介する機会を通じて、自分の研究テーマと研究計画を作成する。心理学研究方法や分析の方法についても復習する。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

毎週の課題の提出状況と演習への参加状況を評価の対象とする。

### 欠席について

欠席1回につき5点、遅刻1回につき2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

### テキスト

各受講生の研究テーマに応じて、適宜紹介する。

### 参考図書

適宜紹介する。

### 留意事項

課題の提出は毎週とする。心理統計法を受講していることが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	c		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	必修	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

演習Ⅲに引き続き、具体的な調査結果に基づき考察を繰り返し、卒業研究としてまとめる。様々な視点から研究を見直すことや見解の違いを受け入れ、改善に向けて努力する。そして、自己の研究内容を高めるようにする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）A（自律）I（知性）E（倫理）を養う。

### 授業の概要

各自の調査における分析結果を発表・討議する。他者の考え方や見方、分析結果の読み取り方に触れることで、客観性をもたせ、考察をより深めるようにする。

### 授業計画

- 1 分析結果報告・仮説の検証①
- 2 分析結果報告・仮説の検証②
- 3 分析結果と考察①
- 4 分析結果と考察②
- 5 分析結果と考察③
- 6 分析結果と考察④
- 7 分析結果と考察⑤
- 8 研究のまとめと総合考察①
- 9 研究のまとめと総合考察②
- 10 今後の課題について
- 11 分析結果一覧表の作成
- 12 卒業研究の校正①
- 13 卒業研究の校正②
- 14 最終発表と調整
- 15 まとめ
- 16

### 授業の方法

各自の調査結果の報告とその読み取りに関して、個人やグループでの発表・討議を通して考察を深める。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①作成した資料の提出と発表を毎回実施し、そのフィードバックは授業内に行う
- ②平常点70%、定期試験30%
- ③卒業研究ルーブリックに最終自己評価を記入する

### 欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点する。

### テキスト

必要に応じて適宜紹介する。

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

口頭試問まで主体的に取り組み、研究に対する意欲と責任感を持ち続けること。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	d		17113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
中植 満美子	必修	2	臨床心理士、公認心理師、教育相談員（神戸市教育委員会）、スクールカウンセラー（神戸市）、施設心理士			

### 授業の到達目標

心の理解者として、また、心の研究者として心がけるべき見方や考え方を身につけ、具体的なデータに基づきながら分析、考察の方法を学ぶ。他者と考えや疑問を共有できるような姿勢を習得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）とI（知性）とE（倫理）とを養う。

### 授業の概要

卒業研究作成のために、全体指導と個別指導を実施する。研究経過の発表や討議を重ねながら、卒業研究を完成させる。

### 授業計画

- 1 調査結果のまとめ1
- 2 調査結果のまとめ2
- 3 調査結果のまとめ3
- 4 結果報告1
- 5 結果報告2
- 6 結果報告3
- 7 結果報告4
- 8 まとめと考察1
- 9 まとめと考察2
- 10 まとめと考察3
- 11 要約作成・発表1
- 12 要約作成・発表2
- 13 要約作成・発表3
- 14 研究発表1
- 15 研究発表2

### 授業の方法

卒業研究の進捗状況の報告、プレゼンテーションと質疑応答が中心となる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

課題の提出状況、演習への参加状況を評価の対象とする。

### 欠席について

1回の欠席につき5点、遅刻につき2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格とする。

### テキスト

受講生の研究テーマに応じて適宜紹介する。

### 参考図書

適宜紹介する

### 留意事項

心理統計法を受講していることが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC	17437	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「社会」)(箕野) 私立中学高等学校教員(科目「英語」)(宮副)		

### 授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI(知性)を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)、In(国際性)を養う。(宮副)

### 授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)

英米の児童文学の文化と歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外ではフランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

### 授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其一 桃太郎」
- 2 「金太郎」・「酒呑童子伝説」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 有島武郎「一房の葡萄」
- 5 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 6 岡田淳「童退治の騎士になる方法」
- 7 日本の現代児童文学について
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
- 10 ナーサリーライム(マザーグース)
- 11 L.M.オルコット『若草物語』
- 12 R.L.スティーブンソン『宝島』
- 13 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 14 ペアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本

15 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

### 授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。(箕野)

講義と発表形式で授業を実施する。講義だけでなく、学生の発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。(宮副)

### 準備学修

Web参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験(レポート)30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。(箕野)

平常点30% レポート(2回)50% 提出物等20%、で評価する。(宮副)

レポートは2回であるが、ミニレポートの提出も2~3回求める。

### 欠席について

規定に従う。

### テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)

『英米児童文化 55のキーワード』白井澄子、笹田裕子編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。(宮副)

### 参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと言葉		17439	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

### 授業の到達目標

(1) 人間の言葉の意義と機能では、人間の言葉の意義と機能を理解し、言葉の発達過程とその特徴について理解すること (2) 言葉に対する感覚を豊かにする実践では、言葉の感覚を豊かにする指導について基礎的な知識や、言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉を育む基礎的に実践を身に付ける (3) 言葉を育て、想像する楽しさを広げる児童文化財と実践について、その意義について説明できるように、児童文化財を教材とした基礎的な実践を身に付ける。以上を目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)を養う。

### 授業の概要

領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的な知識を身に付ける。人間らしさの特徴でもある言葉の意義と機能を理解し、幼児の言葉を豊かに育み、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識と技能を身に付ける。

### 授業計画

- 1 人間の言葉とその機能及び意義
- 2 子どもの言葉の発達過程
- 3 言葉に対する感覚を豊かにすることの重要性
- 4 言葉に対する感覚を豊かにする保育の実践(情報機器及び教材の活用を含む)
- 5 子どもの言葉を豊かに育む児童文化財とその意義
- 6 子どもの言葉を豊かに育む絵本・物語・紙芝居
- 7 子どもの言葉を豊かに育む教材を使った保育の実践(情報機器及び教材の活用を含む)
- 8 子どもの言葉による伝え合いと小学校教育への接続
- 9

### 授業の方法

講義とディスカッション、発表を取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出や教材提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年 株式会社フレーベル館  
厚生労働省『保育所保育指針解説』平成30年 株式会社フレーベル館  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』平成30年 株式会社フレーベル館

### 参考図書

太田光洋、古相正美、野中千都『保育ニュー・スタンダード 保育内「言葉」一話し、考え、つながる言葉の力を育てる』2021年 株式会社同文書院 その他適宜配布する

### 留意事項

日頃から、絵本に親しみ読書量を増やすように努めること。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと表現（造形）		17510	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

### 授業の到達目標

(1) 乳幼児の表現の発達過程を理解できるように、表出から表現に至る乳幼児の心身の発達を説明できることや、表現を豊かにする題材、事物との出会いの重要性を説明できるようになること、  
(2) 保育における身体・音楽・造形等の多様な表現に関する知識・技能を身に付けるように、イメージを豊かに育み、情緒を安定させ自分らしい表現ができることや、多様な表現を組み合わせたり、鑑賞したりして豊かな感性を育むことの説明ができるようになることを目指す。また協同活動により豊かな表現につなげていくことの大切さがわかることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）の育成を目指す。

### 授業の概要

豊かな感性や表現する力を養う領域「表現」の指導の基盤となる、幼児期の表現やその発達、創造性や感性を育む環境構成等の知識・技能・表現力を身に付ける。

### 授業計画

- 1 領域「表現」のねらいと内容、造形表現の理解
- 2 乳幼児の表出から表現へかく・つくるに着目した発達の特徴と過程
- 3 身近な自然を体感し、身体感覚を通して表現する
- 4 素材の特性を知り、発達に即して具体的な表現にいかす
- 5 イメージを豊かにする題材、事物との出会いと環境構成
- 6 鑑賞活動と豊かな感性（情報機器及び教材の活用を含む）
- 7 仲間と創る総合的な表現活動の楽しさ—絵本や物語をいかしたパフォーマンス・アーツへ—
- 8 乳幼児の素朴な表現の分析・評価、定期試験
- 9

### 授業の方法

講義に加え、実技や鑑賞活動を取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること

### 課題・評価方法、その他

①課題レポートや作品の提出を求め、授業内にフィードバックを行う。  
②平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき2点の減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

### 参考図書

樋口一成『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』2018年（株）萌文書林、その他適宜配布する

### 留意事項

日頃から作ったり描いたりすることを生活に取り入れ、様々な自然・人工素材に親しんだりしておく

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等英語		17511	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。		

### 授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。  
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的な項目に従って身に付ける。毎回「10分間 Classroom English」を行う。

### 授業計画

- 1 小学校英語教育の目的(1)小学校学習指導要領の理解
- 2 小学校英語教育の目的(2)世界の言語政策事情
- 3 小学校英語教育の目的(3)異文化理解
- 4 小学校英語教育の目的(4)児童文学
- 5 第2言語習得研究(1)年齢と言語習得
- 6 第2言語習得研究(2)学習と環境
- 7 第2言語習得研究(3)学習者要因、指導者要因
- 8 第2言語習得研究(4)児童期の第2言語習得における語彙習得
- 9 第2言語習得研究(5)児童期の第2言語習得における文法習得
- 10 第2言語習得研究(6)児童期の第2言語習得における音声習得
- 11 技能の育成(1)リスニング
- 12 技能の育成(2)スピーキング
- 13 技能の育成(3)リーディング
- 14 技能の育成(4)ライティング
- 15 まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

### 授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

### 欠席について

3分の2以上の出席が必要。

### テキスト

テキストは授業内で購入すること。  
適宜プリントを配布する。

### 参考図書

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著）mpi松香フォニックス 2021  
『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年  
その他、必要に応じて、随時紹介する。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等体育		17513	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
山本 正実	選択	2	公立小学校教員		

## 授業の到達目標

小学校学習指導要領、及び幼稚園要領に基づき、教材の実技を体験する。教材の概略を知って、運動学習の工夫を学ぶ。グループワークを通してKSAISEIパーソナリティK（思いやり）とA（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

## 授業の概要

小学校体育の教材内容に繋がる実技を通して、運動の楽しさを感じ取る。またグループ活動を通じて、他への思いやりや仲間とのつながりの大切さを学ぶ予定である。

## 授業計画

- オリエンテーション。自己紹介。初等体育の学習内容について概略を講義、班分け・準備運動をする。
- 体づくり運動系 体ほくしの運動の実技をする。
- 体づくり運動系 体の動きを高める運動の実技をする。
- 陸上運動系 ①走の運動遊び ②障害走 等をする。
- 陸上運動系 ①幅、高跳び遊び ②投の運動 ③リレー 等の実技をする。
- 集団行動について学び、その実技をする。
- 器械運動系 固定施設を使った運動遊び・マット運動の実技をする。
- 器械運動系 跳び箱運動の実技をする。
- 器械運動系 マット・跳び箱運動実技をする。
- ボール運動系 鬼遊び、ドッジボール・ボール蹴り等のゲームをする。
- ボール運動系 ベースボール型のゲームをする。
- ボール運動系 ネット型のゲームをする。
- ボール運動系 ゴール(サッカー)型のゲームをする。
- ボール運動系 ゴール(バスケットボール)型のゲームをする。
- 学習のまとめ、体育学習の工夫等について実技・講義をする。

## 授業の方法

体育の実技を行う。グループ活動を主として、運動の方法や工夫を話し合い、ともに楽しく運動する予定である。

## 準備学修

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇、令和2年度版「神戸市小学校体育指導の手引き」を元にした資料等を読み、体育指導について、事前学習及び、復習等を60時間行う。

## 課題・評価方法、その他

平常点30点、毎時の小テスト（学習カード等）70点

## 欠席について

欠席はなるべくしない。実技なので参加することに意義がある。

## テキスト

使用しない

## 参考図書

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇 令和2年度版神戸市小学校体育指導のてびき

## 留意事項

登校できるなら欠席をしない。見学も学習であることを学ぶ予定である。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもと健康		17514	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

## 授業の到達目標

- 乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する
- 乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する
- 安全な生活と怪我や病気の予防を理解する
- 乳幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する、以上の4点について理解し、保育指導力（立案・実施・評価・改善）につなげる力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）K（思いやり）を養う。

## 授業の概要

健康の定義、乳幼児期の健康の意義について詳説する。また、安全教育や怪我・事故については日頃の報道内容に注目し、ICTを活用したり協働学習での発表やディスカッションを行ったりしてPBL（課題解決型）学習を行う。そして、運動を遊びや日常生活に取り入れる保育実践から領域「健康」の内容を理解し、領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を身に付ける。

## 授業計画

- 健康の定義と乳幼児の健康
- 乳幼児期の心身の発達とその特徴
- 乳幼児期の生活習慣の形成とその意義
- 乳幼児期の安全教育とリスク・ハザード
- 乳幼児期の怪我や事故の特徴と応急処置・病気の予防
- 乳幼児期の運動発達とその特徴
- 乳幼児期の日常生活と集団生活における運動遊び
- まとめを行ってから試験をする

## 授業の方法

参考資料を配布する。運動遊びの指導案の分析や協働学習と発表を取り入れる。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

## 欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき1点減点

## テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

## 参考図書

適宜紹介する

## 留意事項

日頃から自分の心と体の健康維持に留意し、保育者として子どもに明るく元気な姿で毎日接することができるように努める。また、乳幼児期の体や運動、事故に関する情報に着目し、その特徴を捉えるようにすること。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容総論			17555	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渡邊 恵梨佳	選択	1				

## 授業の到達目標

幼児の興味や関心、発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解し、多様な保育者像、環境、考え方と出逢うことによって、自分なりの保育者像・環境イメージを持てるようになる。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示されている内容について十分に理解するとともに、教育・保育の歴史の変遷や現在の取り巻く状況を理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

## 授業の概要

幼稚園・保育所等就学前教育における子ども理解、保育の計画、環境の構成、援助の実践について知識や理解を深め、保育者として保育を構想する力や実践力を身につける。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解し、幼児教育の基本や環境を通して行う教育を踏まえて、5領域の保育内容の考え方や指導方法についての基本的事項を習得する。

## 授業計画

- 1 オリエンテーション:幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園等について
- 2 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の理解
- 3 保育内容の歴史の変遷
- 4 子どもの発達特性(個と集団の育ちを支える保育)
- 5 幼児教育の目指すもの(環境を通して行う保育・教育)
- 6 現代の保育の課題(養護と教育が一体的に展開する保育)
- 7 保育の内容と指導計画
- 8 遊びを体験する(1)手遊び(教材収集)
- 9 遊びを体験する(2)作ったもので遊ぶ(教材研究)
- 10 遊びを体験する(3)手遊びと製作(グループ発表)
- 11 保育内容の展開(1)小学校との接続を踏まえた保育
- 12 保育内容の展開(2)家庭や地域との連携をふまえた保育
- 13 保育内容の展開(3)子育て支援、保育の多様な展開
- 14 保育内容の展開(4)特別な支援を必要とする子どもの保育
- 15 まとめ:保育・教育を取り巻く現状と課題や今後の展望

## 授業の方法

講義とグループワークを中心とする。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

- ①課題の提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点70% 定期試験30%で評価する。

## 欠席について

学内規定に準ずる。

## テキスト

適宜配布する。

## 参考図書

「幼稚園教育要領解説」(文部科学省)「保育所保育指針解説」(厚生労働省)「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(内閣府・文部科学省・厚生労働省)

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・表現(造形表現)			17601	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	1	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

## 授業の到達目標

乳幼児の造形表現遊びを指導するための理論と保育実践例を学び、自らの表現力・鑑賞力を高める。教材や用具の扱い方の基礎基本を理解し環境を構成する力や作品を読み取る力、保育指導案を立案し実践する力を身に付ける。KAISEIパーソナリティのK(思いやり)とI(知性)の育成を目指す。

## 授業の概要

造形表現における乳幼児の発達や特徴について詳述する。造形表現で扱う材料用具の基礎基本事項と技法について演習を行い、鑑賞活動を通して感性をより高める。教材研究を継続して行い、保育指導案作成のポイントを学び、実践力を身に付ける。造形表現に使う材料を自ら収集し、それらを使って模擬保育や協同学習を行う。授業での制作物の一部は地域や学内の子育ての支援活動に活かす。

## 授業計画

- 1 領域「表現」のねらいと内容、乳幼児の造形表現の意義について
- 2 造形表現における乳幼児の発達と他領域との関連
- 3 情報機器、視聴覚教材の活用法及び保育指導案の構成と展開
- 4 地域や美術館との連携、小学校教育への接続
- 5 園行事やごっこ遊び、お話の世界と造形表現
- 6 様々な技法や身近な材料、自然物を使った楽しい造形表現
- 7 模擬保育の実践とカリキュラムマネジメント
- 8 まとめを行ってから試験をする

## 授業の方法

講義と実習を中心とする。学修のまとめとして模擬保育を行い学び合いの機会をもつ。

## 準備学修

Webを参照すること。

## 課題・評価方法、その他

- ①製作遊びの作品提出、ワークシート、収集した教材の提出、保育指導案の作成と実践を課題とする。講義においてフィードバックを行う。

- ②平常点70%、定期試験30%

## 欠席について

欠席1回につき5点減点、遅刻1回につき2点減点とする。

## テキスト

樋口一成『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』2018年(株)萌文書林

## 参考図書

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』 株式会社フレーベル館

## 留意事項

日頃の生活において身近な素材や自然に触れる経験を積み、感性を磨いたり、鑑賞する機会をもったりすること。



関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論（幼保）			17613	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2				

### 授業の到達目標

教職の意義や教員（保育者）の役割を理解する。接続する学校教育や教員（保育者）をめぐる今日的な課題と対応の事例などから学校教育に期待される役割や、今後の教員（保育者）に求められる資質能力について学び自らの適性を見出す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

### 授業の概要

社会の急激な変化に伴い様々な課題に直面している学校教育や就学前教育の現状について詳述し、調査、発表の機会をもつ。チームとして諸課題に対応する学校の在り方や教員・保育士の職務内容、職務上や身分上の義務について理解し、自ら目指す教師・保育者像を明確にもつようにする。

### 授業計画

- 1 教職・保育者論の概要について
- 2 教職・保育職の意義
- 3 幼児教育と小学校教育
- 4 教員の歴史、女性と教職・保育職
- 5 学校園の組織と運営
- 6 教員（保育者）の職務内容
- 7 教員（保育者）に課せられる職務上・身分上の義務と身分保障
- 8 学び続ける教員（保育者）へ（教員・保育者のライフステージと研修制度）
- 9 国際化・情報化と教員（保育者）の役割
- 10 学校園における社会体験とキャリア教育
- 11 様々な問題行動とカウンセリングマインド
- 12 特別な支援を要する乳幼児への対応
- 13 チーム学校（園）の意義と実際について
- 14 今後の教員（保育者）に求められる資質・能力（専門職としての教員）
- 15 まとめを行ってから試験をする

### 授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。またワークシート他の作成により自己の考えを深め、知識の定着を図る。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①課題レポートの提出を2回求め、講義中にフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

古橋和夫（編）『新訂 教職入門 未来の教師に向けて』2018年（株）萌文書林

### 参考図書

秋田喜代美、佐藤学編著『新しい時代の教職入門』改訂版 有斐閣  
アルマ、文部科学省『小学校学習指導要領』『幼稚園教育要領』、  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・  
保育要領』

### 留意事項

保育士資格と幼稚園教諭免許の併有による「保育教諭」としての社会要請も高まりつつある。教員・保育士を目指す養成校の学生として意識を高くもって授業に臨んでもらいたい。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育学原理			17617	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

幼児教育の意義や目的、歴史、今日の幼児教育の課題について理解する。また、幼児教育における「環境」「遊び」の意義や、幼稚園教育要領についての理解を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

### 授業の概要

幼児教育の意義や目的、歴史を学び、そのことを踏まえた上で、幼稚園教育要領を読み解く。幼児教育の実践の様子から、環境構成や遊びにつながる遊びの重要性や、課題を見出しディスカッションや発表を通して、関心を深めていく。

### 授業計画

- 1 幼児教育の意義
- 2 幼児教育の目的
- 3 子どもの発達と人間形成
- 4 子ども観・教育観の変遷
- 5 諸外国の教育の歴史
- 6 日本の教育の歴史
- 7 子どもの教育に関わる制度と仕組み
- 8 現代の教育課題①
- 9 現代の教育課題②
- 10 幼稚園教育の基本と役割
- 11 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- 12 幼児教育の内容・方法・計画と評価
- 13 多様な幼児教育実践から学ぶ①
- 14 多様な幼児教育実践から学ぶ②
- 15 まとめを行ってから試験をする

### 授業の方法

参考資料を配布する。DVD視聴やディスカッション、発表を取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき2点減点、遅刻1回につき減点1点

### テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』株式会社フレール館

### 参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

### 留意事項

『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』は保育者になる上で重要な資料となる。保育の概要を理解し保育者を目指す学生として自学自修に励むこと

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・言葉			17633	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

乳幼児期の言葉の発達の概要を理解する。言葉を獲得し思いを伝え合うようになるための環境や遊び、指導援助の方法について学ぶ。発達を理解し、生活の流れに即した教材選定力や保育指導案の作成力と実践力を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

乳幼児の言葉の発達を詳説し、視聴覚教材を活用して、さらにイメージを確かなものにする。そして、言葉の育ちを促す絵本やお話の教材研究や、保育指導案作成と模擬保育を行う。また、発達に即した教材制作を通して言葉を育む環境を整え、乳幼児の豊かな言葉と言語活動を育てる保育を学ぶようにする。

### 授業計画

- 1 領域「言葉」について
- 2 乳幼児の言葉の育ちを支える要因
- 3 1歳未満児の発達と言葉の獲得
- 4 1歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 5 満1歳以上満3歳未満児の発達と言葉の獲得
- 6 満1歳以上満3歳未満児の言葉の発達を促す保育と教材
- 7 満3歳以上の幼児の発達と言葉の獲得
- 8 満3歳以上の幼児の言葉の発達を促す保育と教材
- 9 言葉の獲得において特別な支援を要する乳幼児への保育
- 10 豊かな言葉を育む児童文化(歌、手遊び、言葉遊び)(情報機器及び教材の活用を含む)
- 11 豊かな言葉を育む児童文化(絵本や紙芝居)
- 12 豊かな言葉を育む児童文化(人形劇やペープサート、パネルシアターやエプロンシアター等)
- 13 模擬保育実践とカリキュラムマネジメント
- 14 伝え合い分かり合う楽しい劇遊び(情報機器及び教材の活用を含む)
- 15 まとめを行ってから試験をする

### 授業の方法

講義を主とするが、言葉を育む保育実践についての発表を加える。また、教材を制作し教育実習や保育実践にいかす。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①課題シートの提出を求め、模擬保育（乳児用・幼児用読み聞かせ指導案や教材の作成を含む）を行う。講義の中でフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点の減点とする。

### テキスト

岸井勇雄・無藤隆、湯川秀樹[監修]太田光洋[編著]『保育・教育ネオシリーズ20 保育内容・言葉 第三版』2018年（株）同文書院

### 参考図書

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』 株式会社フレーベル館

### 留意事項

保育の基礎技術を高めるため、わらべ歌や言葉遊び、絵本、幼児用テレビ番組などに日頃から親しんでおくこと。地域の図書館での企画展示やおはなし会などに関心をもち見ておくこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会的養護 I			17639	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
曾田 里美	選択	2	児童養護施設職員			

### 授業の到達目標

社会的養護の理念、歴史、制度と実施体系等について理解する。社会的養護の背景にある社会や家庭における児童問題を学ぶとともに、社会的養護における児童の人権擁護と支援の実践について理解を深めることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのS（奉仕）を養う。

### 授業の概要

社会的養護とは何か、なぜ児童問題が起きるのか、社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割等について学ぶとともに、子どもたちを積極的に護るための実践を裏づける原理原則について学習する。特に、社会的に子どもを養育する施設では、子どもと家族の育成に積極的にかかわっていくための知見や技術が必要となっている。このため、（1）社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景、（2）社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割、（3）児童福祉施設などにおける養護の実践を理解し、児童観や施設養護観を身につける。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション 社会的養護トピックス
- 2 私たちが生きる社会
- 3 社会的養護の体系
- 4 施設への入所に至る経過
- 5 施設における生活①
- 6 施設における生活②
- 7 施設における生活③
- 8 施設における生活④
- 9 施設における支援—ライフストーリーワーク—
- 10 施設の利用方式
- 11 利用・契約制度を基本とする施設
- 12 社会的養護の歴史
- 13 施設における支援内容
- 14 里親制度
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義を主とするが、必要に応じて視聴覚教材等で社会的養護の現状

について理解を深める。また、ディスカッションや発表を取り入れ双方向の授業を行う。

### 準備学修

日ごろから、現代の子どもを取り巻く環境に対して関心を深めておくこと。

### 課題・評価方法、その他

評価方法は、平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

公欠以外の欠席は原則認めない。欠席は成績評価において減点する。

### テキスト

原田旬哉・杉山宗尚 編著『図解で学ぶ保育 社会的養護 I』萌文書林、2018、ISBN 9784893472793

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・環境		17721	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士		

### 授業の到達目標

近年の社会の変化にともなって、子どもを取り巻く様々な環境も従来とは変わり続けている。この現状をしっかり受け止め、子どもを取り巻く環境のあり方や保育者の役割を理解する。環境が成長過程に影響することが理解でき、その時期にふさわしい環境の構成あるいは環境の取り入れ方が分かるようになる。幼児に影響を与える人的指導場面として保育者が大きな存在となることを踏まえ、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の領域「環境」に「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」と述べられている。子どもたちが園内外の“自然・文化・人・もの・事象・文字・記号”などに自ら触れ、生きる力を育む直接的体験を積み重ねられる環境を準備するために、保育者自身が様々な環境に対し興味や関心をもち理解し、子どもの主体性を引き出す為にどのような環境づくりをしていけばいいのか、指導案作成と模擬保育等を通して、保育者自身も常に主体性を持って環境について学び、専門的な能力を身につけていけるようにする。

### 授業計画

- 1 保育と「環境」
- 2 領域「環境」とは
- 3 子どもの育ちと領域「環境」(DVD視聴「子どもを育む保育の環境」)
- 4 教室を出ての実験体験とグループワーク
- 5 子どもを取り巻く自然環境
- 6 生き物とのかかわりにおける子どもの育ち(DVD視聴「動物を知る」)
- 7 子どもを取り巻く人的環境
- 8 子どもを取り巻く人的環境(事例検討)
- 9 子どもを取り巻く物的環境
- 10 子どもの活動をひきだす保育環境(数量・図形・文字・標識への興味と認識の育ち)
- 11 子どもの活動をひき出す保育環境(教室を出て実験体験、DVD視聴)
- 12 子どもを育む環境
- 子どもを取り巻く社会的環境

- 13 環境を通した保育の内容・教材研究
- 14 子どもを守り育てる環境
- 気になる子どもと環境
- 15 環境を通した教育・保育の現在の課題 まとめ
- 16

### 授業の方法

講義を中心とし、内容に沿ったDVD視聴や事例の中から、グループで話し合ったり意見発表を多く取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%。  
レポートの提出や振り替えりテストなどについて講義の中でフィードバックを行う。

### 欠席について

欠席数は成績評価に反映する

### テキスト

「保育内容 環境 あなたならどうしますか？」岡澤陽子、杉本裕子、平野麻衣子、松山洋平、山下文一、萌文書林

### 参考図書

保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領解説 フレーベル館  
3,4,5歳児が夢中になる実践「造形遊び」 平田智久監修 ナツメ社  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

教室を出ての実験体験等を含むので、授業計画が変更する可能性がある為、教務課前のボードをよく注意して見ておくこと

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育指導法		17725	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

### 授業の到達目標

幼児期の教育・保育の実践にあたり、基本となる教育内容の再認識と指導力の習得をめざす。この科目ではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

幼児期の教育の基本を再認識するとともに、視覚教材を通して、子どもの生活や遊びの具体について学ぶ。また教材研究と演習、指導案作成と模擬保育を通して、教師の役割について実践的な習得をめざす。

### 授業計画

- 1 幼児の生活と幼稚園の役割、幼児期の発達の特徴
- 2 領域「健康」と指導法①
- 3 領域「健康」と指導法②
- 4 領域「人間関係」と指導法①
- 5 領域「人間関係」と指導法②
- 6 領域「環境」と指導法①
- 7 領域「環境」と指導法②
- 8 領域「言葉」と指導法①
- 9 領域「言葉」と指導法②
- 10 領域「表現」と指導法①
- 11 領域「表現」と指導法②
- 12 子どもの遊びを見取り、保育を構想する
- 13 模擬保育とカリキュラムマネジメント①
- 14 模擬保育とカリキュラムマネジメント②
- 15 まとめを行ってから試験をする

### 授業の方法

幼稚園生活の様子をDVDを視聴したり、フォトカンファレンスをしたりしながら学修を進める。また、教材作成、実技演習、グループディスカッションなどを通して、指導力の基礎を身に付ける。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①教材作成や指導案作成、模擬保育実践を行い、授業内で教員によるフィードバックを行う
- ②平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

### 参考図書

文部科学省『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』チャイルド本社

### 留意事項

自分の得意分野をいかす教材作成や指導案作成・保育実践を自信をもって行うことを期待する

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等国語科指導法			17661	Ⅱ/Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
藤田 昌央	選択	2	公立小学校教員、教育委員会指導主事			

## 授業の到達目標

小学校「国語科」の教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行い、実践する方法を身に付ける。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）、I（知性）の育成を目指す。

## 授業の概要

国語科の目標と内容、授業方法、授業の構造、指導計画等、小学校における国語科学習指導法を把握するための講義を行う。また、教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解したうえで、教科書教材の指導案の作成や模擬授業を通して、国語科の指導力を身に付ける。

## 授業計画

- 1 受講の心構え・授業規律・授業内容についてのガイダンス、授業の見直しと到達目標の確認
- 2 指導要領と国語科の目標・内容(国語科で付けたい力)
- 3 国語科の学習計画、指導法と評価
- 4 知識及び技能①「言葉の特徴や使い方」
- 5 知識及び技能②「情報の扱い方」|「伝統的な言語文化」
- 6 知識及び技能③「書写」|「読書」
- 7 話すこと・聞くことの内容と指導
- 8 書くことの内容と指導
- 9 音読・朗読の指導
- 10 読むこと(説明的な文章)の指導
- 11 読むこと(文学的な文章)の指導
- 12 模擬授業(選択学年)
- 13 模擬授業(選択学年)
- 14 模擬授業(選択学年)
- 15 国語科におけるICT機器の活用(デジタル教科書及び教材の活用を含む)
- 16

## 授業の方法

発表やディスカッション、実際の指導を想定した模擬指導、模擬授

業を多く取り入れる。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

- ①毎時間のふりかえりとレポート(3回)の提出を求め、授業の中でフィードバックを行う。
- ②指導案と模擬授業について、批評とアドバイスをを行う。
- ③評価方法は平常点70%、定期試験30%とする。

## 欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

## テキスト

文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」東洋館出版  
「国語四上かがやき」光村図書

## 参考図書

必要に応じて、随時紹介する。

## 留意事項

出席と授業態度(模擬授業の準備やレポート等を含む)を重視する。小学校国語科の指導法を身に付けようとする意欲をもって授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
特別支援教育(幼小)			17683	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2				

## 授業の到達目標

特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を理解し、学習上又は生活上の困難を把握し、個別の教育的ニーズに対して、他の教職員・他職種・関係機関と連携しながら組織的に対応していくための支援方法を説明することができる。  
この授業では、KAISEIパーソナリティのA(自律)とI(知性)の育成を目指す。

## 授業の概要

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒への理解を深め、よりよい教育方法や支援のありかたについて理解する。このためには、ライフステージを見通した支援について学習する。また、障害種別ごとに障害特性の正確な理解について学ぶ。これらの基礎的な学習をふまえて、個別の教育ニーズに対応していくための支援方法について、検討していく。

## 授業計画

- 1 ライフステージを見通した支援について
- 2 障害の理解と支援  
発達障害①について
- 3 障害の理解と支援  
発達障害②について
- 4 障害の理解と支援  
知的障害について
- 5 障害の理解と支援  
言語障害について
- 6 障害の理解と支援  
肢体不自由について
- 7 障害の理解と支援  
聴覚障害について
- 8 障害の理解と支援  
視覚障害について
- 9 障害の理解と支援  
病弱について
- 10 障害の理解と支援  
重症心身障害や医療的ケアについて
- 11 障害児保育の基本について

- 12 発達をめざしたさまざまな連携について
- 13 小学校との接続について
- 14 思春期・青年期にむけて
- 15 これからの障害児保育・教育について
- 16

## 授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

授業後に提出する課題60%  
定期試験40%

## 欠席について

1回の欠席で5点減点とする。

## テキスト

特別支援学級はじめての第一歩 坂本裕著

## 参考図書

適宜紹介する。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等図画工作科指導法			17737	Ⅱ/Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
初田 隆	選択	2	公立中学校教員・国立大学付属小学校教員			

### 授業の到達目標

小学校学習指導要領にある図画工作科の低・中・高学年それぞれの目標を理解し、教材研究や模擬授業等をおして指導上必要な知識と技術を習得し、授業実践できる力を身に付けることが到達目標である。このクラスではKAISEIパーソナリティーのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

講義やディスカッション、模擬授業、教材研究をおして図画工作科の指導内容や指導方法、評価等について学ぶ。

### 授業計画

- 1 図画工作科の目標等と役割
- 2 図画工作科の年間計画、授業設計、指導案を考える。
- 3 児童画における造形発達と心理投影
- 4 教科内及び他教科との横断的学習の可能性
- 5 図画工作科としての言語活動と評価
- 6 絵画の表現形式
- 7 絵画表現に関する教材研究－感覚横断的な学習を手がかりに
- 8 版画の表現技法と版を用いた教材
- 9 モダンテクニックを用いた教材の可能性
- 10 様々な材料、用具を使った立体・工作の表現
- 11 立体・工作に関する用具の安全な使用方法
- 12 造形遊びに関する用具や材料の使用法と場所の活用方法
- 13 身近な作品や展示物、美術館を活用した効果的な鑑賞指導と授業設計
- 14 図画工作科の意義と現代的課題
- 15 まとめと定期テスト

### 授業の方法

講義と作品制作（教材研究）

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%定期試験30%の割合で評価する。評価の観点は知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿勢等である。

### 欠席について

欠席1回について3点減点、遅刻1回について1点減点

### テキスト

日本文教出版『図画工作3・4上』『図画工作3・4下』

### 参考図書

文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等家庭科指導法			17741	Ⅱ/Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅井 由美	選択	2				

### 授業の到達目標

小学校における家庭科教育に必要な実践的指導力を身に付ける。学習指導要領に示された小学校家庭科の目標と内容、その指導上の留意点を理解する。小学校家庭科とその背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。小学校家庭科の学習指導の理論と方法を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる。このクラスではKAISEIパーソナリティーのI（知性）を養う。

### 授業の概要

小学校家庭科の目標と内容、家庭科教育のために必要な学習指導の理論と方法、教材研究などを学ぶ。さらに、子どもの発達段階や生活実態を踏まえた、また情報機器及び教材を活用した授業設計と学習指導案の作成を学び、模擬授業を行う。

### 授業計画

- 1 小学校家庭科の目標と内容
- 2 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」に関する指導上の留意点
- 3 「消費生活・環境」に関する指導上の留意点
- 4 小学校家庭科の評価
- 5 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」に関する教材研究
- 6 「消費生活・環境」に関する教材研究
- 7 子どもの発達・生活と家庭科教育
- 8 小学校家庭科の施設・設備（情報機器含む）
- 9 小学校家庭科の学習指導の理論と方法
- 10 小学校家庭科の学習指導計画
- 11 小学校家庭科の学習指導案の作成
- 12 「家族・家庭生活」「衣食住の生活」の模擬授業
- 13 「消費生活・環境」の模擬授業
- 14 模擬授業の検討・改善
- 15 まとめ

### 授業の方法

講義に加えて、ディスカッションと模擬授業をとりいれる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点する。

### テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 家庭編』東洋館出版

### 参考図書

必要に応じて授業中に指示する。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲し板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生活文化概論		17405	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士		

### 授業の到達目標

子どもの生活は、遊びそのものであり、子どもの人格は遊びを通して形成されるものであるとも言える。日本は四季に富み、四季にまつわる様々な子どもを取り巻く記念日・行事がある。この素晴らしい日本の文化を後世に伝えていくことの重要性を理解し、子どもの生活文化の様々な側面を学ぶことを目的とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を考える。

### 授業の概要

現代社会に生きる子どもたちの生活や文化に焦点をあて、そこに生きる子どもたちの諸相を見ていく。体験的学習を織り交ぜ、学生が自らの体験を通して、子ども文化のイメージがもてるようにする。

### 授業計画

- 1 授業の目的 生活科を踏まえて考える生活文化概論
- 2 子ども文化の意義、定義とその構造
- 3 子どもを取り巻く生活環境の変化
- 4 子どもを取り巻く生活環境について
- 5 現代の子どもたちの遊びと生活
- 6 集団遊びの重要性
- 7 異年齢集団の遊びの重要性
- 8 自然とのかかわりについて(教室を出ての実験)
- 9 自然の中での遊びの重要性
- 10 伝承遊びについて
- 11 児童文化財について
- 12 1年を通して、季節の子ども文化と遊び
- 13 季節の遊びについて(お正月)
- 14 子どもを取り巻く「ひと」「もの」「こと」
- 15 まとめ・定期試験

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

必要書類については、随時プリントを配布する。

### 参考図書

子どもとあそび 仙田満著 岩波新書  
 児童文化 皆川美恵子、武田京子著 ななみ書房  
 子どもに伝えたい年中行事・記念日 萌文書林

### 留意事項

実践を多く取り入れるため、授業計画についてはかなり変更があるので、教務課前掲示板を確認しておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育・学校心理学	PC	17411	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
濱田 誠二郎	選択	2	臨床心理士、学校心理士S V、公立小教員		

### 授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、教育現場において生じる問題や背景、また、心理社会的課題及び必要な支援を発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方として理解する。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を具体的には、教育現場において生じる問題や背景、また、心理社会的課題及び必要な支援心理学的な切り口で捉える。子どもの健やかな成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

### 授業計画

- 1 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
- 2 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
- 3 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバーグの理論と方法
- 4 幼児期から青年期において、社会性の発達
- 5 幼児期から青年期における現代の発達課題
- 6 認知発達、認知機構の変遷
- 7 主体的な学びの開発と体系化
- 8 主体的、対話的で深い学びの実践例
- 9 学習内容、発達に応じた適切な学習形態
- 10 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
- 11 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
- 12 学習成果の可視化
- 13 主体的な学習、思考力を育む学習集団
- 14 発達障害の理解と支援
- 15 まとめと振り返り

### 授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

### 準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき5点減点とする

### テキスト

必要に応じて指示する。

### 参考図書

授業で指示する

### 留意事項

マスクミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育相談(カウンセリングを含む)	教職小	17497	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
濱田 誠二郎	選択	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員		

### 授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方を理解する。  
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を心理学的な切り口で捉える。子どもの健全な成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

### 授業計画

- 1 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
- 2 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
- 3 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバークの理論と方法
- 4 幼児期から青年期において、社会性の発達
- 5 幼児期から青年期における現代の発達課題
- 6 認知発達、認知機構の変遷
- 7 主体的な学びの開発と体系化
- 8 主体的、対話的で深い学びの実践例
- 9 学習内容、発達に応じた適切な学習形態
- 10 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
- 11 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
- 12 学習成果の可視化
- 13 主体的な学習、思考力を育む学習集団
- 14 発達障害の理解と支援
- 15 まとめと振り返り

### 授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

### 準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

学内規定に準ずる

### テキスト

『教育相談ワークブック』桜井美加・齋藤ユリ・森平直子 著 北樹出版

### 参考図書

授業中に紹介する

### 留意事項

マスクミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
地域子育て支援 I		17502	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士		

### 授業の到達目標

子育て支援とは何か。子育て支援に対する保育者の役割が明確化され、幼稚園や保育所で子育て支援について様々な場や対象に即した支援を行っている。その中で地域の子育て家庭に対する支援について、実践を通し具体的に理解し、積極的に取り組んでいける保育者を目指す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とS（奉仕）を考え、I（知性）を養う。

### 授業の概要

子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、幼稚園、保育所、地域で子育て支援が盛んに行われている状況の中、子育て支援とは何かを考え、保育者を目指している学生が何故子育て支援が必要なのか、親子が求める子育て支援とは何かを考え、親子が育ちあうような子育て支援のあり方を学習する。また、子育て支援の実践を積極的に体験する。

### 授業計画

- 1 子育て支援とは何か。(DVD視聴「子育て支援とは？」)
- 2 地域子育て支援事業拠点における支援
- 3 地域子育て支援の取り組みへの参加(1)
- 4 地域子育て支援の取り組みへの参加(2)
- 5 地域子育て支援の取り組みへの参加(3)
- 6 地域子育て支援の取り組みへの参加(4)
- 7 地域子育て支援の取り組みへの参加(5)
- 8 振り返りとまとめ。

### 授業の方法

演習を中心とし、実際体験によって理解を深める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。  
平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

必要資料については、随時プリントを配布する。

### 参考図書

子育ての変貌と次世代育成支援 原田正文著  
世界に学ぼう！子育て支援 汐見稔幸著  
地域で子育て 渡辺顕一郎編著  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

受講者は子育て支援に関心のあるもの。本学が行う子育て支援事業「海星子育てひろば」に参加し、実践を行い子育て支援の理解を深め、また、保育技術の向上を図る。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については、教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
地域子育て支援 II		17503	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士		

## 授業の到達目標

子育て支援とは何か。子育て支援に対する保育者の役割が明確化され、幼稚園や保育所で子育て支援について様々な場や対象に即した支援を行っている。その中で地域の子育て家庭に対する支援について、実践を通し具体的に理解し、積極的に取り組んでいける保育者を目指す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を考え、I（知性）を養う。

## 授業の概要

子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、幼稚園、保育所、地域で子育て支援が盛んに行われている状況の中、子育て支援とは何かを考え、保育者を目指している学生が何故子育て支援が必要なのか、親子が求める子育て支援とは何かを考え、親子が育ちあうような子育て支援のあり方を学習する。また、子育て支援の実践を積極的に体験する。

## 授業計画

- 1 地域子育て支援 I の振り返り。
- 2 地域子育て支援の取り組みへの参加(1)
- 3 地域子育て支援の取り組みへの参加(2)
- 4 地域子育て支援の取り組みへの参加(3)
- 5 地域子育て支援の取り組みへの参加(4)
- 6 地域子育て支援の取り組みへの参加(5)
- 7 地域子育て支援の取り組みへの参加(6)
- 8 振り返りとまとめ。

## 授業の方法

演習を中心とし、実際体験によって理解を深める。

## 準備学修

webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。  
平常点70%、定期試験30%

## 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

## テキスト

必要資料については、随時プリントを配布する。

## 参考図書

子育ての変貌と次世代育成支援 原田正文著  
世界に学ぼう！子育て支援 汐見稔幸著  
地域で子育て 渡辺顕一郎編著  
あそびうた大全集 永岡書店

## 留意事項

受講者は子育て支援に関心のあるもの。本学が行う子育て支援事業「海星子育てひろば」に参加し、実践を行い子育て支援の理解を深め、また、保育技術の向上を図る。

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については、教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ボランティア論		17505	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
西橋 隆三	選択	2	元市職員（福祉事務所長・障がい児療育センター所長）、社会福祉士		

## 授業の到達目標

わが国のボランティア活動は、幅広い分野において多様な形態で展開されている。授業では、ボランティアの理念・原則・各分野の基本を学習しながら「興味」「関心のあるテーマ」などから主体的に多様なボランティア活動に参加することを目標とする。またボランティア論の講義を通じて、福祉の対象者への関心を高め、将来の社会参加や社会貢献に繋げることを目指す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）A（自律）S（奉仕）を養う。

## 授業の概要

授業では、講義、討議などを織り込みながら、参加のモチベーションを主体的に高めることを促す。「自分にとってのボランティアは何か」「どんな活動ができるか」「ボランティアのあり方は」「ボランティアの意義と課題」などを授業を通じて考えていく。まず基本理念や歴史、組織や活動の実際についての概略を学んだあと、人と防災未来センターや国際協力機構関西センター（JICA関西）での学習により内容を深めていく。次に各分野のボランティア活動の現況を学び、社会福祉施設での授業やボランティア実習も行う。これらの多様な視点からの学びによりそれぞれにとってのボランティアの意義や参加意識を深めていくことがねらいである。

## 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 ボランティアの基本理念(ボランティアを考えるために)
- 3 ボランティアの歴史
- 4 人と防災未来センター及び国際協力機構関西センター(JICA関西)での実習(土曜日)
- 5 災害とボランティア活動(阪神淡路大震災と東日本大震災など)
- 6 国際社会とボランティア活動(JICA関西の事業を中心に)
- 7 社会福祉施設でのボランティア活動
- 8 社会福祉施設での授業とボランティア実習1(土曜日)
- 9 社会福祉施設での授業とボランティア実習2(土曜日)
- 10 子どもの貧困とボランティア活動
- 11 環境問題とボランティア活動
- 12 地域社会とボランティア活動
- 13 医療福祉とボランティア活動
- 14 プレゼンテーション(ボランティア論で学んだことを発表)

15 まとめとしての講義の後、ボランティア論のレポート提出を求める。

## 授業の方法

講義を主体としながらディスカッション、プレゼンテーションや視聴覚教材を取り入れていく。また人と防災未来センターや国際協力機構関西センター（JICA関西）での実習及び社会福祉施設での実習に参加する。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

平常点40%、プレゼンテーション10%、レポート50%で評価します。

## 欠席について

欠席が5回を超えた場合は、不合格とする。

## テキスト

特に指定はしない。必要な資料を配布する。

## 参考図書

必要な参考図書については授業の中で提示する。

## 留意事項

1. 人と防災未来センターと国際協力機構関西センター（JICA関西）での学習に参加すること（土曜日1回）
2. 社会福祉法人での授業とボランティア活動を体験すること（土曜日1回）



関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・環境		17721	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士		

### 授業の到達目標

近年の社会の変化にともなって、子どもを取り巻く様々な環境も従来とは変わり続けている。この現状をしっかり受け止め、子どもを取り巻く環境のあり方や保育者の役割を理解する。環境が成長過程に影響することが理解でき、その時期にふさわしい環境の構成あるいは環境の取り入れ方が分かるようになる。幼児に影響を与える人的指導場面として保育者が大きな存在となることを踏まえ、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の領域「環境」に「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」と述べられている。子どもたちが園内外の“自然・文化・人・もの・事象・文字・記号”などに自ら触れ、生きる力を育む直接的体験を積み重ねられる環境を準備するために、保育者自身が様々な環境に対し興味や関心をもち理解し、子どもの主体性を引き出す為どのような環境づくりをしていけばいいのか、指導案作成と模擬保育等を通して、保育者自身も常に主体性を持って環境について学び、専門的な能力を身につけていけるようにする。

### 授業計画

- 1 保育と「環境」
- 2 領域「環境」とは
- 3 子どもの育ちと領域「環境」(DVD視聴「子どもを育む保育の環境」)
- 4 教室を出ての実験体験とグループワーク
- 5 子どもを取り巻く自然環境
- 6 生き物とのかかわりにおける子どもの育ち(DVD視聴「動物を知る」)
- 7 子どもを取り巻く人的環境
- 8 子どもを取り巻く人的環境(事例検討)
- 9 子どもを取り巻く物的環境
- 10 子どもの活動をひきだす保育環境(数量・図形・文字・標識への興味と認識の育ち)
- 11 子どもの活動をひき出す保育環境(教室を出て実験体験、DVD視聴)
- 12 子どもを育む環境  
子どもを取り巻く社会的環境

- 13 環境を通した保育の内容・教材研究
- 14 子どもを守り育てる環境  
気になる子どもと環境
- 15 環境を通した教育・保育の現在の課題 まとめ
- 16

### 授業の方法

講義を中心とし、内容に沿ったDVD視聴や事例の中から、グループで話し合ったり意見発表を多く取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%。  
レポートの提出や振り替えりテストなどについて講義の中でフィードバックを行う。

### 欠席について

欠席数は成績評価に反映する

### テキスト

「保育内容 環境 あなたならどうしますか？」岡澤陽子、杉本裕子、平野麻衣子、松山洋平、山下文一、萌文書林

### 参考図書

保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領解説 フレーベル館  
3,4,5歳児が夢中になる実践「造形遊び」 平田智久監修 ナツメ社  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

教室を出ての実験体験等を含むので、授業計画が変更する可能性がある為、教務課前のボードをよく注意して見ておくこと

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育指導法		17725	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士		

### 授業の到達目標

幼児期の教育・保育の実践にあたり、基本となる教育内容の再認識と指導力の習得をめざす。この科目ではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

幼児期の教育の基本を再認識するとともに、視覚教材を通して、子どもの生活や遊びの具体について学ぶ。また教材研究と演習、指導案作成と模擬保育を通して、教師の役割について実践的な習得をめざす。

### 授業計画

- 1 幼児の生活と幼稚園の役割、幼児期の発達の特徴
- 2 領域「健康」と指導法①
- 3 領域「健康」と指導法②
- 4 領域「人間関係」と指導法①
- 5 領域「人間関係」と指導法②
- 6 領域「環境」と指導法①
- 7 領域「環境」と指導法②
- 8 領域「言葉」と指導法①
- 9 領域「言葉」と指導法②
- 10 領域「表現」と指導法①
- 11 領域「表現」と指導法②
- 12 子どもの遊びを見取り、保育を構想する
- 13 模擬保育とカリキュラムマネジメント①
- 14 模擬保育とカリキュラムマネジメント②
- 15 まとめを行ってから試験をする

### 授業の方法

幼稚園生活の様子をDVDを視聴したり、フォトカンファレンスをしたりしながら学修を進める。また、教材作成、実技演習、グループディスカッションなどを通して、指導力の基礎を身に付ける。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①教材作成や指導案作成、模擬保育実践を行い、授業内で教員によるフィードバックを行う
- ②平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

### 参考図書

文部科学省『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』チャイルド本社

### 留意事項

自分の得意分野をいかす教材作成や指導案作成・保育実践を自信をもって行うことを期待する

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子ども家庭支援論			17759	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅井 由美	選択	2				

### 授業の到達目標

子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。保育の専門性をいかした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。子育て家庭に対する支援の体制について理解する。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養うとともに、K（思いやり）を考える。

### 授業の概要

家族の機能、家庭の意義や役割、少子高齢社会・男女共同参画社会における家族関係や家庭生活の変化、地域社会の変容、家族と家庭を取り巻く社会的・経済的状況について概観する。子ども家庭支援の意義と役割、保育士による子ども家庭支援の意義と基本、子育て家庭に対する支援体制や支援方法等について解説する。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開や関係機関との連携を考える。

### 授業計画

- 1 子ども家庭支援の意義と必要性
- 2 子ども家庭支援の目的と機能
- 3 子ども家庭支援における保育士等の役割
- 4 保育士に求められる基本的態度
- 5 保育の特性と保育士の専門性をいかした子ども家庭支援
- 6 保護者との相互理解と信頼関係の形成
- 7 家庭の状況に応じた支援
- 8 地域の資源の活用と関係機関との連携・協力
- 9 子育て家庭の福祉をを図るための社会資源
- 10 子育て支援施策・次世代育成支援策
- 11 子ども家庭支援の内容と対象
- 12 保育所等利用児童の家庭への支援
- 13 地域の子育て家庭への支援
- 14 要保護児童等およびその家庭に対する支援
- 15 子ども家庭支援に関する現状と課題・まとめ

### 授業の方法

講義に加えてプレゼンテーションやディスカッションをとり入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点する。

### テキスト

松村和子編著『子ども家庭支援論』建帛社

### 参考図書

内閣府『少子化社会対策白書』  
授業中に必要に応じて指示する。

### 留意事項

「現代家族関係論」を先に履修しておくことが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳児保育 I			17778	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。乳児期（3歳未満児）の発育・発達と保育について学び、保育所や乳児院等における乳児保育の現状と課題についても理解する。なお健やかな成長を支えるための生活と遊びなど乳児保育の理論や知識・技術の具体的な事例を通して保育の内容を理解する。また、乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）E（倫理）を考える。

### 授業の概要

わが国における乳児保育の歴史の変遷と保育所・乳児院・家庭の現状を資料を基に把握し、保育所や乳児院の果たす役割、乳児保育を担当する保育者としての役割を理解する。また、乳児を集団で保育することについて、保育現場での具体的な課題、いわゆる保育環境や長時間保育での乳児の生活の仕方など援助の実態を理解し、乳児の保育にあたる保育者としての専門的な能力を身につけられるようにする。

### 授業計画

- 1 乳児保育とは（DVD視聴「乳幼児の発達と保育 0歳児」）
- 2 乳児保育の歴史と0・1・2歳児の保育の現状
- 3 思春期を見通した乳児の保育
- 4 愛されて育つということの意味（DVD視聴「アタッチメント関係」）
- 5 胎児の世界
- 6 乳児期の発達と保育内容（DVD視聴「乳児の成長記録」）
- 7 乳児期の発達と保育内容（DVD視聴「乳児の成長記録」）
- 8 乳児保育の実態
- 9 乳児期の環境と人間関係（DVD視聴「人とのかかわりの中で学ぶ」）
- 10 乳児期の環境（DVD視聴「物とのかかわりの中で学ぶ」）
- 11 乳児期の生活と保育
- 12 乳児の発達過程と援助
- 13 0・1・2歳児をめぐる現状と子育て支援  
さまざまな発達の考え方
- 14 保育所における全体的な計画と0・1・2歳児の指導計画

15 まとめ  
16

### 授業の方法

講義と演習を中心とし、内容に沿ったDVD視聴を取り入れたり、実際体験をする。

### 準備学修

Webで確認すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%  
レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

新時代の保育双書 乳児保育第4版 (株)みらい 大橋貴美子編

### 参考図書

乳児保育の基本 責任編集 汐見稔幸・小西行郎・榊原洋一 フレーベル館  
保育の内容・方法を知る 乳児保育〔新版〕 増田まゆみ編著 北大路書房  
保育所保育指針解説 フレーベル館  
乳児の生活と保育 ななみ書房

### 留意事項

教室を出ての実際体験等を含むため、授業計画の変更もある。授業課前のボードをよく注意して見ておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳児保育Ⅱ			17779	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

乳児保育Ⅰを踏まえて、乳児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助やかかわりについての理解を深め、養護と教育の一体性を考えた生活や遊びと、保育の方法について、実際体験を通して具体的に理解する。また、そのための指導計画のあり方を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）E（倫理）を考える。

### 授業の概要

乳児保育Ⅰでの授業を振り返りながら、乳児保育とはどういうものであるかを、実際体験や演習を通して再認識し、またその保育をする上での計画について理解を深め、乳児保育にあたる保育者として専門的能力を身につけられるようにする。

### 授業計画

- 1 乳児保育の基本 乳児保育はなぜ必要か。
- 2 乳児保育の基本 乳児保育の役割。
- 3 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 4 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 5 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 6 乳児保育の実際(教室を出て実際体験をする。DVD視聴)
- 7 乳児保育における計画の実際
- 8 乳児保育における配慮の実際
- 9
- 10

### 授業の方法

講義と演習を中心とし、内容に沿ったDVD視聴を取り入れたり、実際体験をする。

### 準備学修

Webで確認すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%  
レポート提出を求め、講義の中でのフィードバックを行う。

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

はじめて学ぶ 乳児保育 第3版 同文書院 志村聡子編著者

### 参考図書

保育所保育指針解説（フレーベル館）  
新時代の保育双書 乳児保育 第3版 （株）みらい 大橋貴美子編  
乳児の生活と保育（改訂版） ななみ書房 松本園子編著  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

教室を出ての実際体験もあるため、授業計画の変更もある。教務課前掲示板をよく注意しておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
障害児保育			17782	Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	2	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

- ①障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。
  - ②個々の特性や心身の発達等にに応じた援助や配慮について理解する。
  - ③障害児その他の配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。
  - ④障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。
  - ⑤障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。
- 以上をライフステージを見通して理解する。このクラスは、KAISEIパーソナリティK（思いやり）とI（知性）を考える。

### 授業の概要

障害児保育を支える理念を理解し、障害児その他の特別な配慮を要する子どもの理解と保育における発達の援助について、個々の特性を具体例を挙げて理解を深めていく。また、子どもの保育の実践として、指導計画及び個別の支援計画の作成や個々の発達を促す生活や遊びの環境、子ども同士の関わりと育ち合いについて、実践例から考えていく。グループディスカッションを通して、意見交換を行い、発表を行う。  
発表後、教員がフィードバックを行う。障害児その他の配慮を要する子どもの家庭支援について、具体例を挙げて解説する。最後に現状と課題について考察していく。

### 授業計画

- 1 障害児保育を支える理念
- 2 知的障害児の理解と支援
- 3 肢体不自由児・重症心身障害児・医療的ケアの理解と支援
- 4 視覚障害児・聴覚障害児の理解と支援
- 5 言語障害・場面緘黙のある子どもの理解と支援
- 6 発達障害児の理解と支援①(ASD)
- 7 発達障害児の理解と支援②(ADHD・LD)
- 8 生活課題を抱える家庭の子どもの理解と援助
- 9 子ども同士の関わりと育ち合いと子どもをみる視点
- 10 指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働

- 11 保護者や家族に対する理解と支援、保護者間の交流や支え合い
- 12 障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の連携・協働
- 13 小学校等との連携・就学に向けて
- 14 特別な配慮を必要とする子どもの保育に関わる現状と課題
- 15 まとめ 定期試験

### 授業の方法

講義を主とするが、双方向の討議も取り入れて受講者が主体的に参加できる形式も採り入れる。

### 準備学修

日常生活の一コマを、一つの考え方にこだわらずに複数の視点で考えてみる姿勢を望む。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

障害児保育演習ブック ミネルヴァ書房

### 参考図書

授業中に紹介する。

### 留意事項

国の障害者施策および事業に関心を持つ

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育実習指導 I A			17812	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

保育所実習の意義・目的および実習の内容を理解し、自らの課題を明確化する。なお保育所実習を円滑に進めていくため実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、実習がより効果的に行えるようにする。また、子どもの人権と最善の利益、プライバシーなどの守秘義務について理解する。事後指導においては、「保育実習Ⅱ」に向けての課題や学習目標を明確にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

### 授業の概要

保育所実習の意義・目的・方法を理解し、実習内容・心構え・実習記録の意義と記録の仕方について学ぶ。なお初めての保育所実習を受けるにあたり各教科の講義で得た知識をもとに「保育所とは」を理解し、保育所の機能や保育士の役割、子どもの理解、日々の子どもの生活や遊びの援助の仕方について習得し、保育現場での実践に結びつけられるようにする。事後指導では、「保育実習Ⅰ」の総括と自己評価を行い、「保育実習Ⅱ」に向けての新たな課題や学習目標を明確にし、より「保育実習Ⅱ」が効果的に行えるようにする。

### 授業計画

- 1 保育所実習の意義・目的・概要について理解する
- 2 保育所の役割と機能を理解する
- 3 発達過程の理解を深める
- 4 保育の計画について再認識し、理解を深める 実習指導案の書き方を知る
- 5 保育内容の実践
- 6 実習生個人票の作成およびオリエンテーションの受け方、事務手続きについて理解する
- 7 実習記録の書き方を知る
- 8 実習に際しての心構え、留意事項(事後の実習園に対するお礼状の書き方等含む)
- 9 事後指導における実習の総括と自己評価・課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席は、1回につき5点減点とする。

### テキスト

保育実習指導の手引き（海星版）  
必要資料については随時プリントを配布する。

### 参考図書

あそびうた大全集 永岡書店  
手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに  
3. 4. 5歳児が夢中になる実践！造形遊び ナツメ社

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児の発達過程をしっかり把握し、保育実践の知識や技術をできるだけ多く身につけておく（絵本の読み聞かせ・制作・手あそび・歌など）

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育実習指導 I B			17813	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

保育実習の意義・目的および実習の内容を理解し、自らの課題を明確化する。なお実習を円滑に進めていくため実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、実習がより効果的に行えるようにする。また、子どもの人権と最善の利益、プライバシーなどの守秘義務について理解する。事後指導においては、自己評価を行い課題や学習目標を明確にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

### 授業の概要

実習の意義・目的・方法を理解し、実習内容・心構え・実習記録の意義と記録の仕方について学ぶ。なお実習を受けるにあたり各教科の講義で得た知識をもとに「児童福祉施設とは」を理解し、機能や保育士の役割、子どもの理解、日々の子どもの生活や遊びの援助の仕方について習得し、保育現場での実践に結びつけられるようにする。事後指導では、自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にしていく。

### 授業計画

- 1 実習の意義・目的・概要について理解する。
- 2 各施設の役割と機能を理解する。①
- 3 各施設の役割と機能を理解する。②
- 4 施設実習の準備と心構えを理解する。①
- 5 施設実習の準備と心構えを理解する。②
- 6 実習における観察・記録・評価の仕方を理解する。
- 7 実習記録の書き方を理解する。実践及び実習に関する諸手続
- 8 実習についての心構え、留意事項などの確認(実習事後の御礼状の書き方なども含む)
- 9 事後指導における実習の総括と自己評価、課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

実習施設についての概要を事前に調べる。手あそびを数多く知るようになり、絵本の読み聞かせの練習をしたりする。

### 課題・評価方法、その他

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席は、1回につき5点減点とする。遅刻は3点減点とする。

### テキスト

「施設実習 パーフェクトガイド」 わかば社  
「【改訂2版】これだけは知っておきたい保育のマナーと言葉」わかば社

### 参考図書

あそびうた大全集 永岡書店  
手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児の発達過程をしっかり把握し、保育実践の知識や技術をできるだけ多く身につけておく。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。